

第69図 北区（1999・2001年度）ST5001・ST5002・ST5003・ST5004・ST5005・ST5006平・断面図

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。3層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓（ST5007）（第70図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドT-3に位置する。

規模と形状

検出長2.10m、最大幅0.70m、最大深度0.35mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓（ST5008）（第70図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドT-3に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅1.15m、最大深度0.65mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～5層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓（ST5009）（第70図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドT-2に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.80m、最大深度0.60mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壌墓（ST5010）（第70図）

位置

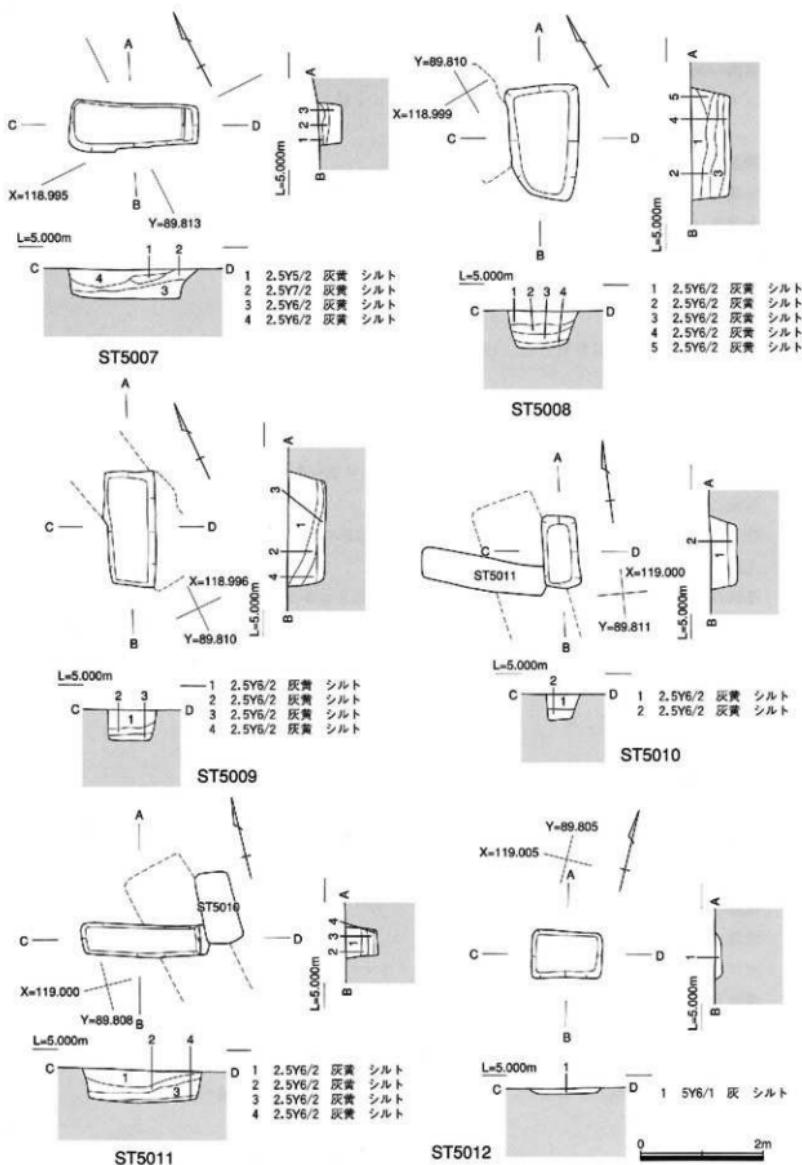
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドA-3に位置する。

規模と形状

検出長1.20m、最大幅0.55m、最大深度0.40mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰黄色を呈するシルト層である。



第70図 北区（1999・2001年度）ST5007・ST5008・ST5009・ST5010・ST5011・ST5012平・断面図

土壤墓（ST5011）（第70図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-2 に位置する。

規模と形状

検出長2.05m、最大幅0.55m、最大深度0.50m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壤墓（ST5012）（第70図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-2 に位置する。

規模と形状

検出長1.15m、最大幅0.75m、最大深度0.10m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土壤墓（ST5013）（第71図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-1 に位置する。

規模と形状

検出長2.30m、最大幅0.80m、最大深度0.75m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。4層、5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壤墓（ST5014）（第71図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-1 に位置する。

規模と形状

検出長2.35m、最大幅0.75m、最大深度0.65m の長方形である。

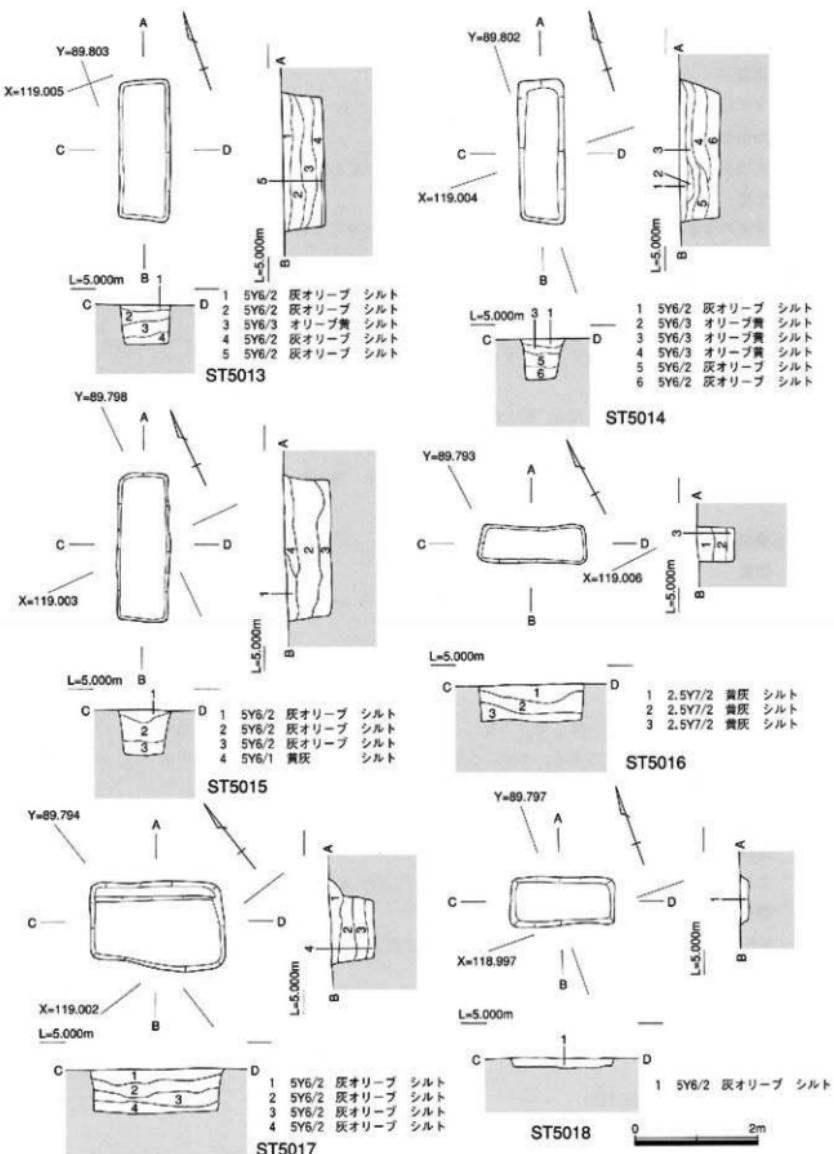
土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層～4層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。5層、6層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壤墓（ST5015）（第71図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド A-20 に位置する。



第71図 北区（1999・2001年度）ST5013・ST5014・ST5015・ST5016・ST5017・ST5018平・断面図

規模と形状

検出長2.45m、最大幅0.85m、最大深度0.75m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄灰色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST5016）（第71図）

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド e-III、小グリッド B-19に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.60m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST5017）（第71図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド A-19に位置する。

規模と形状

検出長2.20m、最大幅1.40m、最大深度0.70m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層～4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST5018）（第71図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド T-20に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.80m、最大深度0.15m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土壙墓（ST5019）（第72図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド T-19に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.65m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST5020）（第72図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドS-20に位置する。

規模と形状

検出長2.30m、最大幅1.00m、最大深度0.70mの長方形である。

土層

造構の堆積土は6層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。4層は灰色を呈するシルト層である。5層、6層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST5021）（第72図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドS-20に位置する。

規模と形状

検出長1.90m、最大幅0.85m、最大深度0.45mの長方形である。

土層

造構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。4層は、にぶい黄色を呈するシルト層である。5層は灰黄色を呈するシルト層である。

出土遺物・時期

94は須恵器の長頸壺である。外向上部は回転ナデ、下部は回転ヘラケズリが施されており、一部に自然釉が見られる。時期は古墳時代後期である。

土壙墓（ST5022）（第72図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドR-1に位置する。

規模と形状

検出長2.25m、最大幅0.90m、最大深度0.50mの長方形である。

土層

造構の堆積土は5層に分層した。1層～5層は灰黄色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST5023）（第72図）

位置

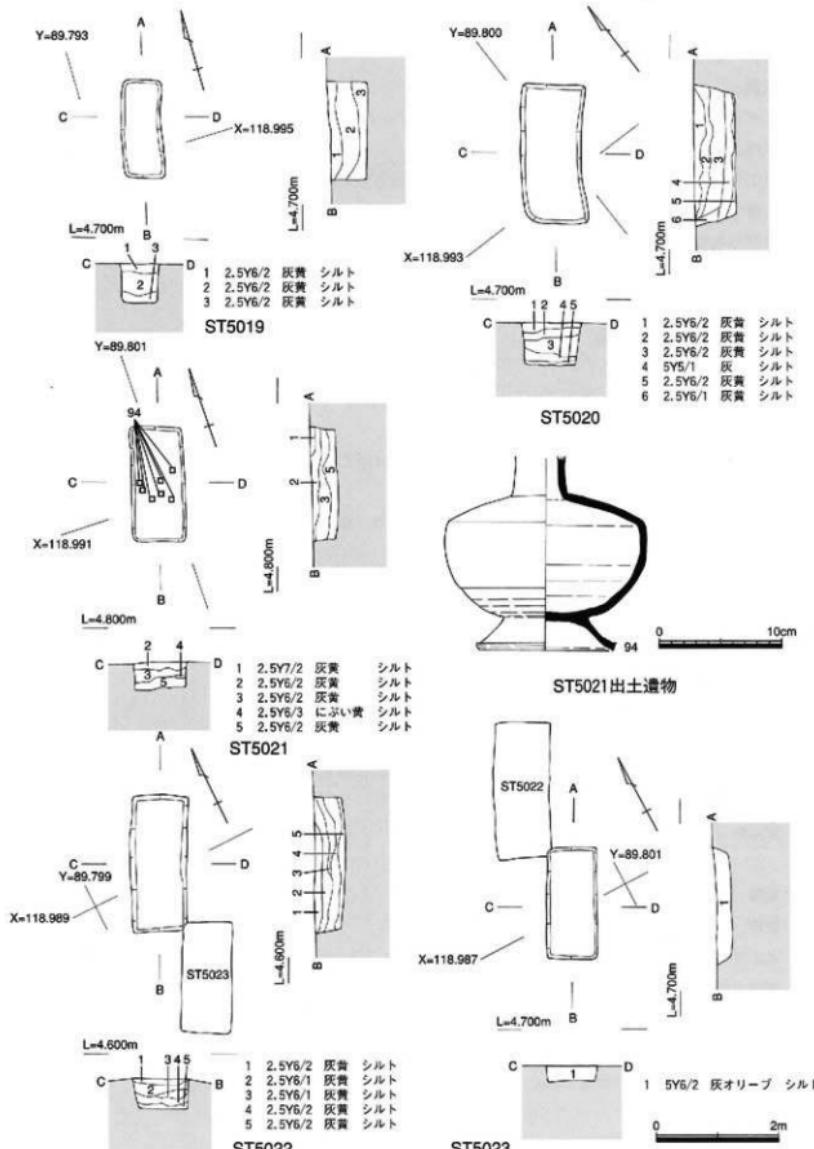
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドR-1に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.85m、最大深度0.25mの長方形である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。



第72図 北区(1999・2001年度) ST5019・ST5020・ST5021・ST5022・ST5023
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5021出土遺物

土塙墓（ST5024）（第73図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドR-1に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.65m、最大深度0.35mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。3層、4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土塙墓（ST5025）（第73図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドS-2に位置する。

規模と形状

検出長2.40m、最大幅0.90m、最大深度0.20mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土塙墓（ST5026）（第73図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA-17に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.75m、最大深度0.45mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰黄色を呈するシルト層である。

出土遺物

95は弥生土器の甕である。

土塙墓（ST5027）（第73図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA-16に位置する。

規模と形状

検出長1.25m、最大幅0.75m、最大深度0.45mの長方形である。

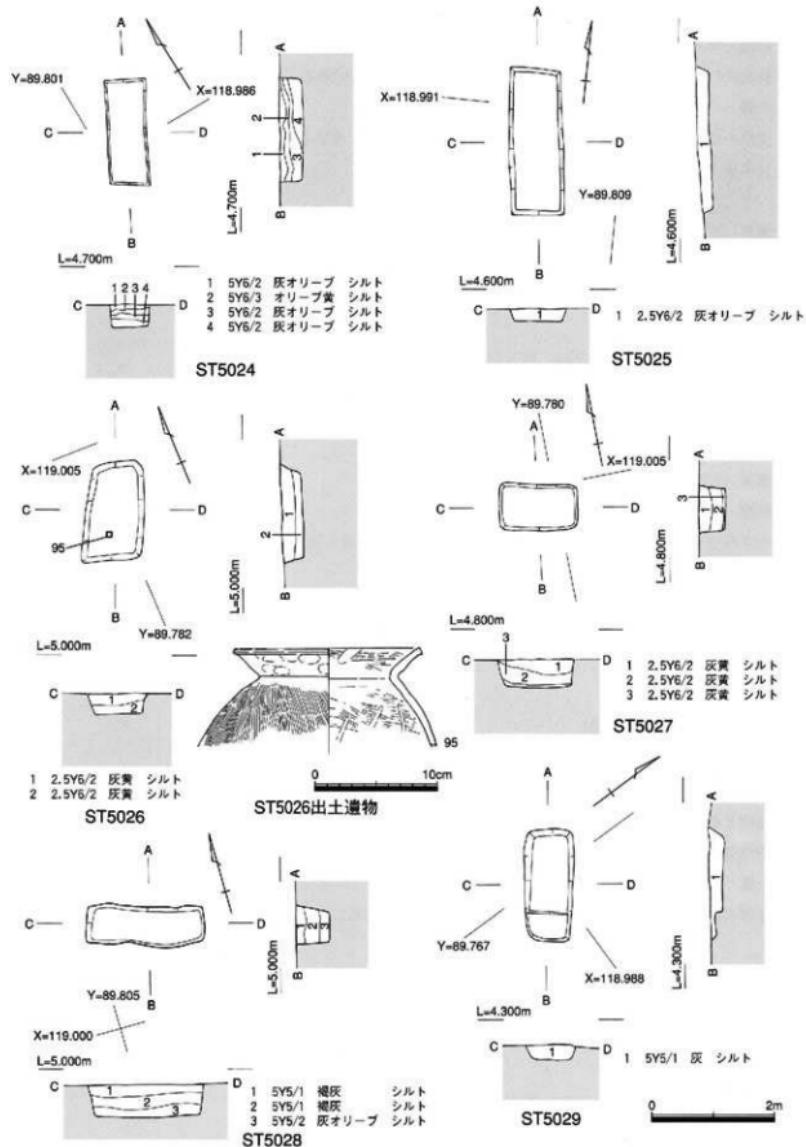
土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層～3層は灰黄色を呈するシルト層である。

土塙墓（ST5028）（第73図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドA-2に位置する。



第73図 北区（1999・2001年度）ST5024・ST5025・ST5026・ST5027・ST5028・ST5029
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5026出土遺物

規模と形状

検出長1.90m、最大幅0.65m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は褐色を呈するシルト層である。3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壤墓（ST5029）（第73図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド R-14に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.80m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

造構の堆積土は灰色を呈するシルトによる單一層である。

土壤墓（ST5030）（第74図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド R-14に位置する。

規模と形状

検出長2.05m、最大幅0.85m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

造構の堆積土は黄灰色を呈するシルトによる單一層である。

土壤墓（ST5031）（第74図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド S-13に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.80m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

造構の堆積土は灰色を呈するシルトによる單一層である。

土壤墓（ST5032）（第74図）

位置

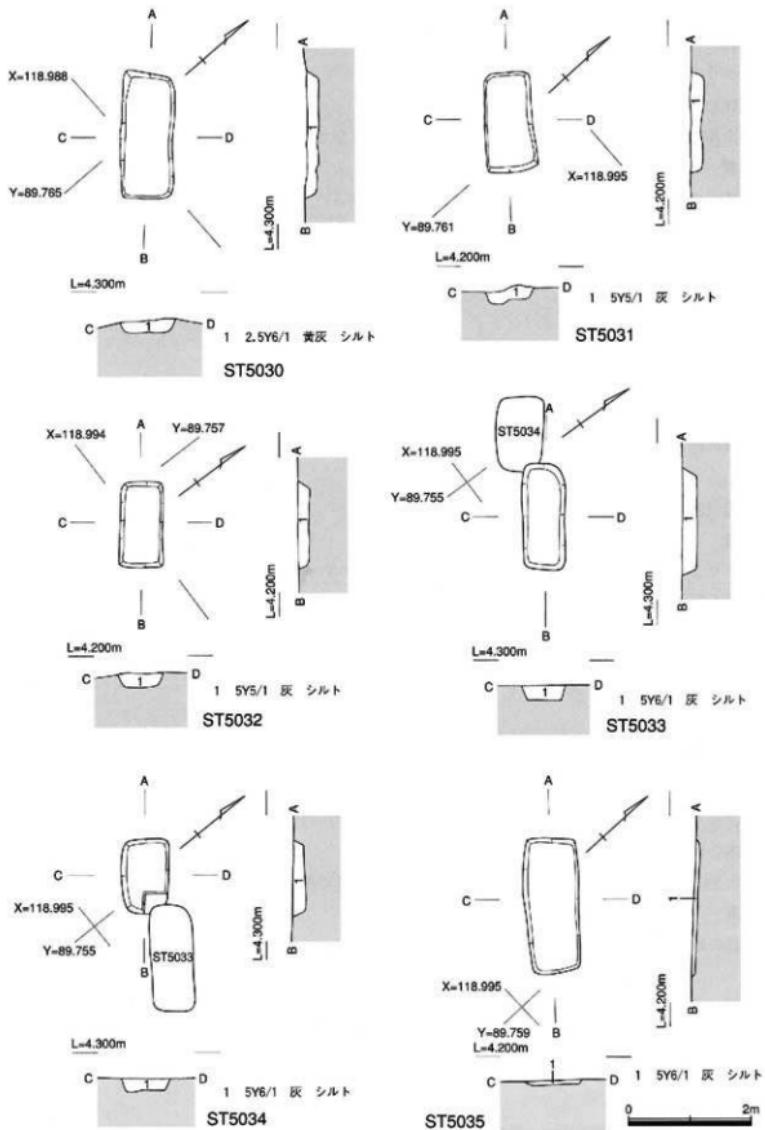
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド S-12に位置する。

規模と形状

検出長1.40m、最大幅0.70m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

造構の堆積土は灰色を呈するシルトによる單一層である。



第74図 北区（1999・2001年度）ST5030・ST5031・ST5032・ST5033・ST5034・ST5035平・断面図

土壤墓（ST5033）（第74図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド T-12に位置する。

規模と形状

検出長1.75m、最大幅0.70m、最大深度0.25mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壤墓（ST5034）（第74図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド T-11に位置する。

規模と形状

検出長1.25m、最大幅0.80m、最大深度0.20mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壤墓（ST5035）（第74図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド T-11に位置する。

規模と形状

検出長2.20m、最大幅0.90m、最大深度0.10mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

土壤墓（ST5036）（第75図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド T-11に位置する。

規模と形状

検出長0.55m、最大幅0.20m、最大深度0.10mの半円形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈するシルトによる単一層である。

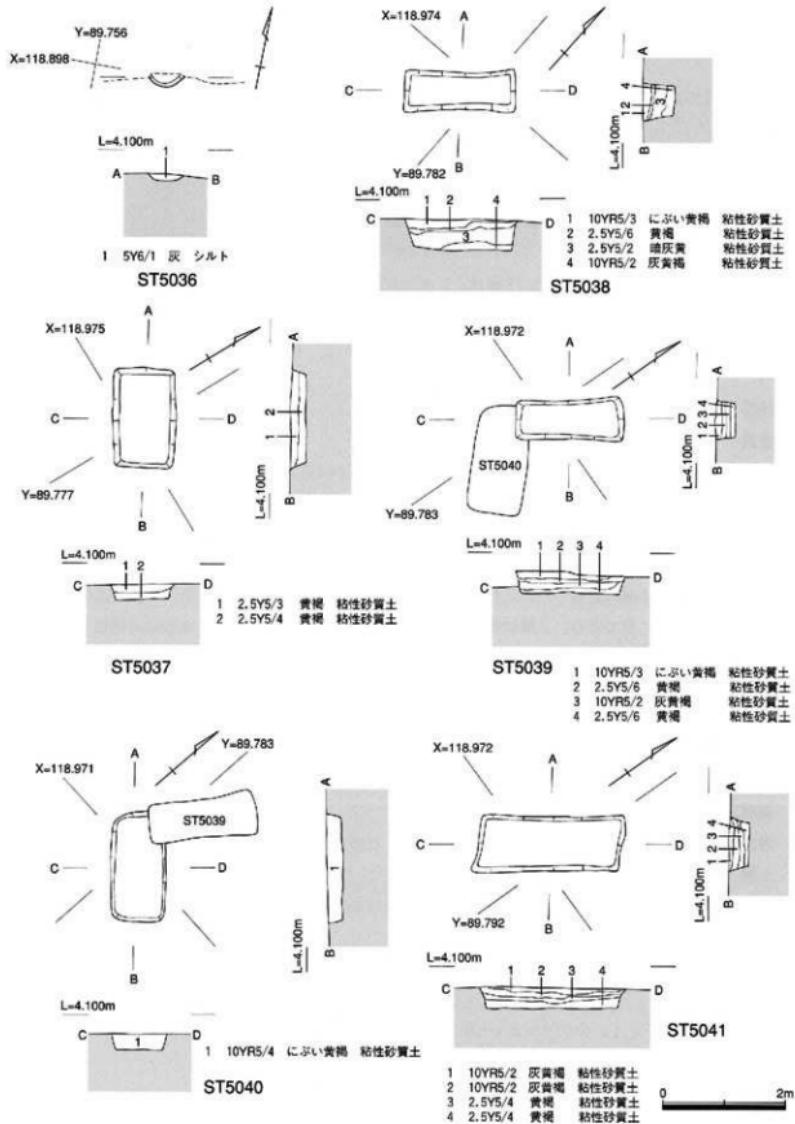
土壤墓（ST5037）（第75図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド P-16に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅1.00m、最大深度0.25mの長方形である。



第75図 北区（1999・2001年度）ST5036・ST5037・ST5038・ST5039・ST5040・ST5041平・断面図

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5038）（第75図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド O-17に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.60m、最大深度0.50mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は暗灰黄色を呈する粘性砂質土層である。4層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5039）（第75図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド O-17に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅0.60m、最大深度0.30mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5040）（第75図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド O-17に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅0.90m、最大深度0.25mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土による單一層である。

土壤墓（ST5041）（第75図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド O-19に位置する。

規模と形状

検出長2.35m、最大幅0.90m、最大深度0.30mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層、4層は

黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5042）（第76図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド N-18に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.70m、最大深度0.55mの長方形である。

土層

造構の堆積土は5層に分層した。1層～4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。5層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5043）（第76図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド N-17に位置する。

規模と形状

検出長2.05m、最大幅0.90m、最大深度0.30mの長方形である。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5044）（第76図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド N-1に位置する。

規模と形状

検出長2.10m、最大幅0.80m、最大深度0.40mの長方形である。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層、3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5045）（第76図）

位置

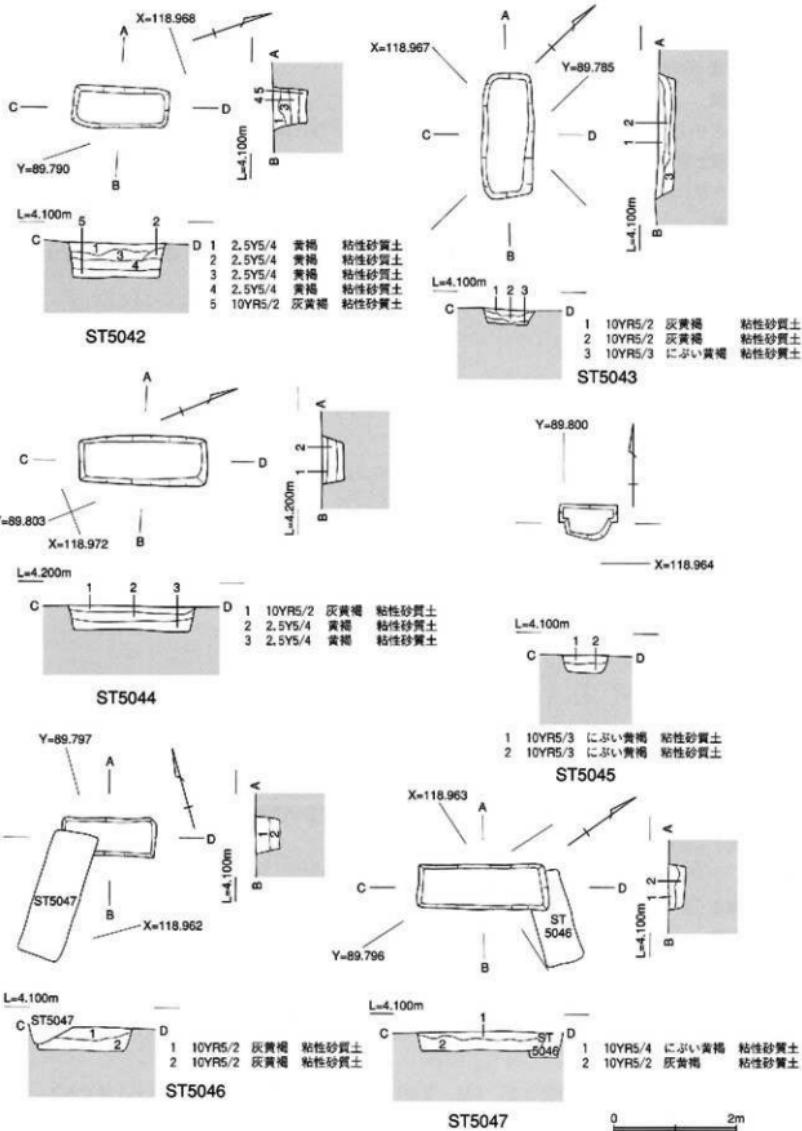
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド N-1に位置する。

規模と形状

検出長0.75m、最大幅0.60m、最大深度0.30mの台形である。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。



第76図 北区（1999・2001年度）ST5042・ST5043・ST5044・ST5045・ST5046・ST5047平・断面図

土壤墓（ST5046）（第76図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド M-19に位置する。

規模と形状

検出長1.55m、最大幅0.60m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5047）（第76図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド M-19に位置する。

規模と形状

検出長2.10m、最大幅0.75m、最大深度0.30m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5048）（第77図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド M-18に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.80m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は灰黄色を呈する粘性砂質土による單一層である。

土壤墓（ST5049）（第77図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド M-19に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.70m、最大深度0.25m の長方形である。

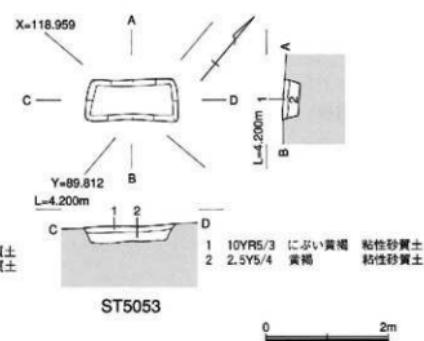
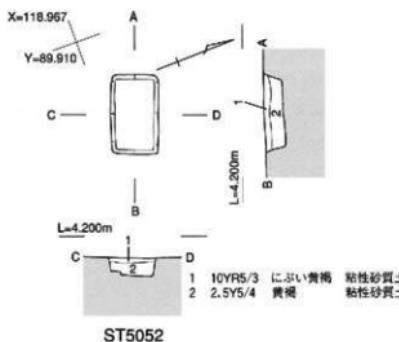
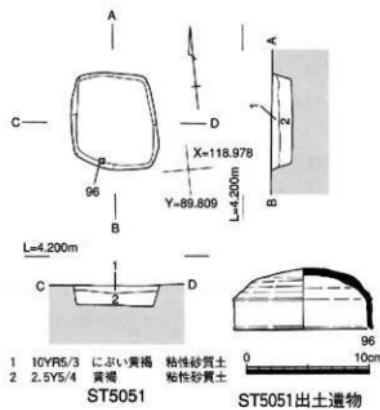
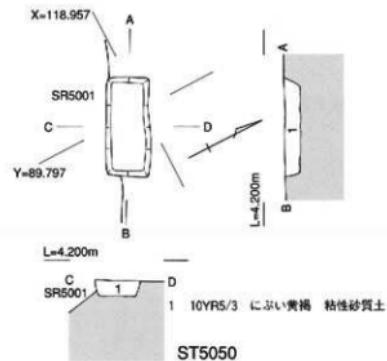
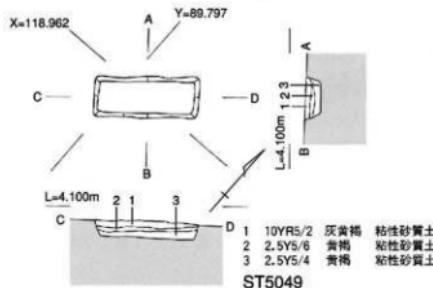
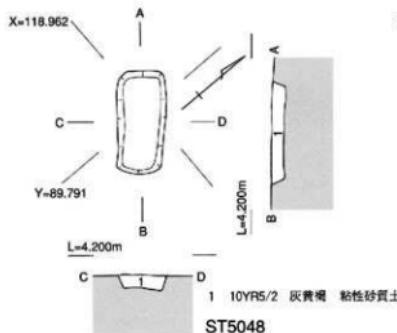
土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層、3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5050）（第77図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド L-19に位置する。



第77図 北区（1999・2001年度）ST5048・ST5049・ST5050・ST5051・ST5052・ST5053
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5051出土遺物

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.75m、最大深度0.25mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土による単一層である。

土壙墓（ST5051）（第77図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドM-2に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅1.40m、最大深度0.35mの正方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

出土遺物・時期

96は須恵器の杯蓋である。時期は古墳時代後期である。

土壙墓（ST5052）（第77図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドM-2に位置する。

規模と形状

検出長1.30m、最大幅0.80m、最大深度0.35mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓（ST5053）（第77図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドL-3に位置する。

規模と形状

検出長1.50m、最大幅0.65m、最大深度0.25mの長方形である。

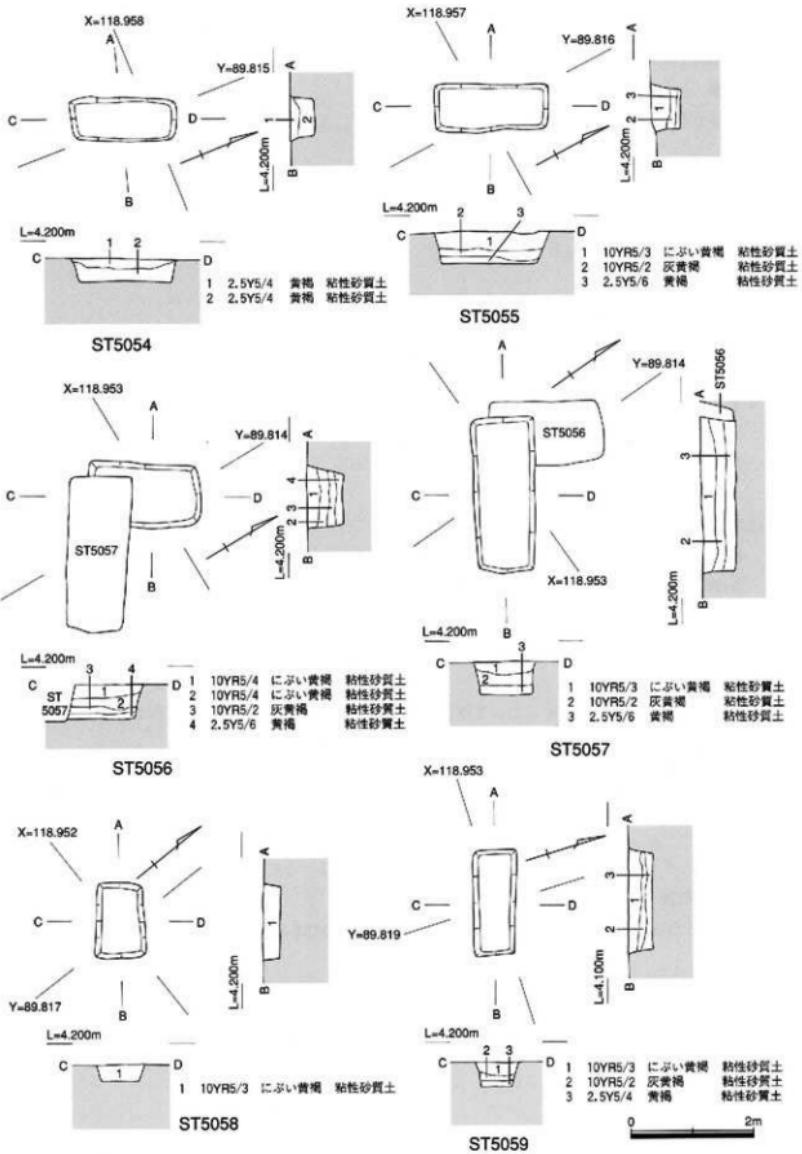
土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壙墓（ST5054）（第78図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドL-3に位置する。



第78図 北区（1999・2001年度）ST5054・ST5055・ST5056・ST5057・ST5058・ST5059平・断面図

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.70m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5055）（第78図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド L-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.75m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5056）（第78図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド K-3 に位置する。

規模と形状

検出長1.05m、最大幅0.80m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5057）（第78図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド K-3 に位置する。

規模と形状

検出長2.55m、最大幅1.00m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5058）（第78図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド K-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.25m、最大幅0.80m、最大深度0.30m の長方形である。

土層

造構の堆積土は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土による單一層である。

土壤墓（ST5059）（第78図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド K-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.70m、最大幅0.70m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5060）（第79図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド M-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.55m、最大幅0.75m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層～4層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5061）（第79図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド L-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.80m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層は灰黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5062）（第79図）

位置

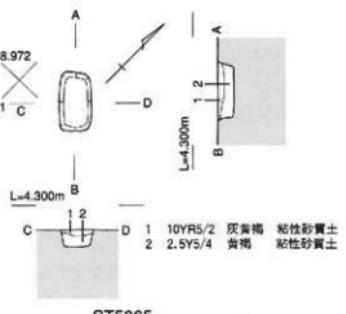
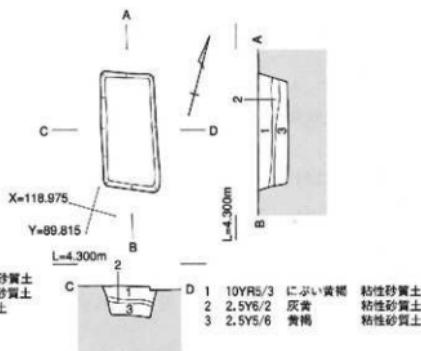
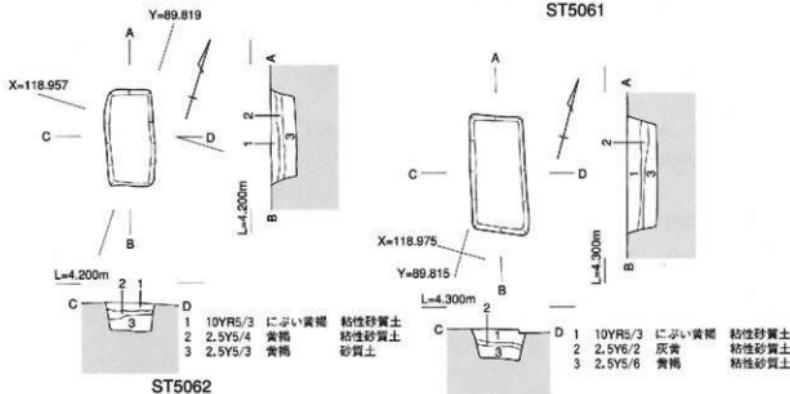
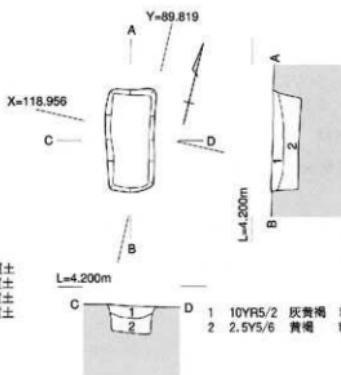
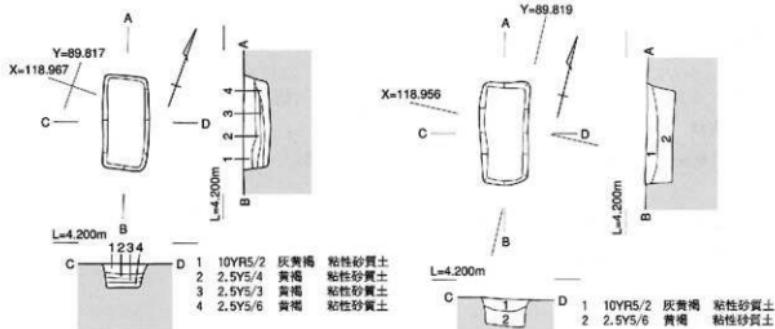
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド L-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.55m、最大幅0.80m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する砂質土層である。



0 2m

第79図 北区（1999・2001年度）ST5060・ST5061・ST5062・ST5063・ST5064・ST5065平・断面図

土壤墓（ST5063）（第79図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド P-3 に位置する。

規模と形状

検出長1.90m、最大幅0.90m、最大深度0.25m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄色を呈する粘性砂質土層である。3層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5064）（第79図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド O-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.35m、最大幅0.70m、最大深度0.50m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する粘性砂質土層である。2層は灰黄色を呈する粘性砂質土層である。

土壤墓（ST5065）（第79図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド O-5 に位置する。

規模と形状

検出長0.95m、最大幅0.55m、最大深度0.45m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は灰黄色を呈する粘性砂質土層である。2層は黄褐色を呈する粘性砂質土層である。

不明遺構（SX5001）（第80図）

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α-III、小グリッド C-19 に位置する。

規模と形状

検出長4.00m、最大幅3.4m、最大深度0.64m の正方形である。東側1/3は階段状に浅くなっている。

土層

遺構の堆積土は10層に分層した。1層は黄褐色を呈する砂質土層である。2層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。3層は黄褐色を呈する砂質土層である。4層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。5層、6層は黄褐色を呈する砂質土層である。7層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。8層は黄褐色を呈する砂質土層である。9層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。10層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。

出土遺物

97は竈の支脚である。外面にユビオサエ、ナデが施されている。98は上師器の蓋である。99は須恵器の杯蓋である。上部外面にヘラ記号がある。

時期

古墳時代後期である。

不明遺構内柱穴（SX5001EP01）（第80図）

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α-III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長0.42m、最大幅0.38m、最大深度0.04m の円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

不明遺構内柱穴（SX5001EP02）（第80図）

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α-III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長0.38m、最大幅0.34m、最大深度0.12m の円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

不明遺構内柱穴（SX5001EP03）（第80図）

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α-III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長0.50m、最大幅0.46m、最大深度0.08m の円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

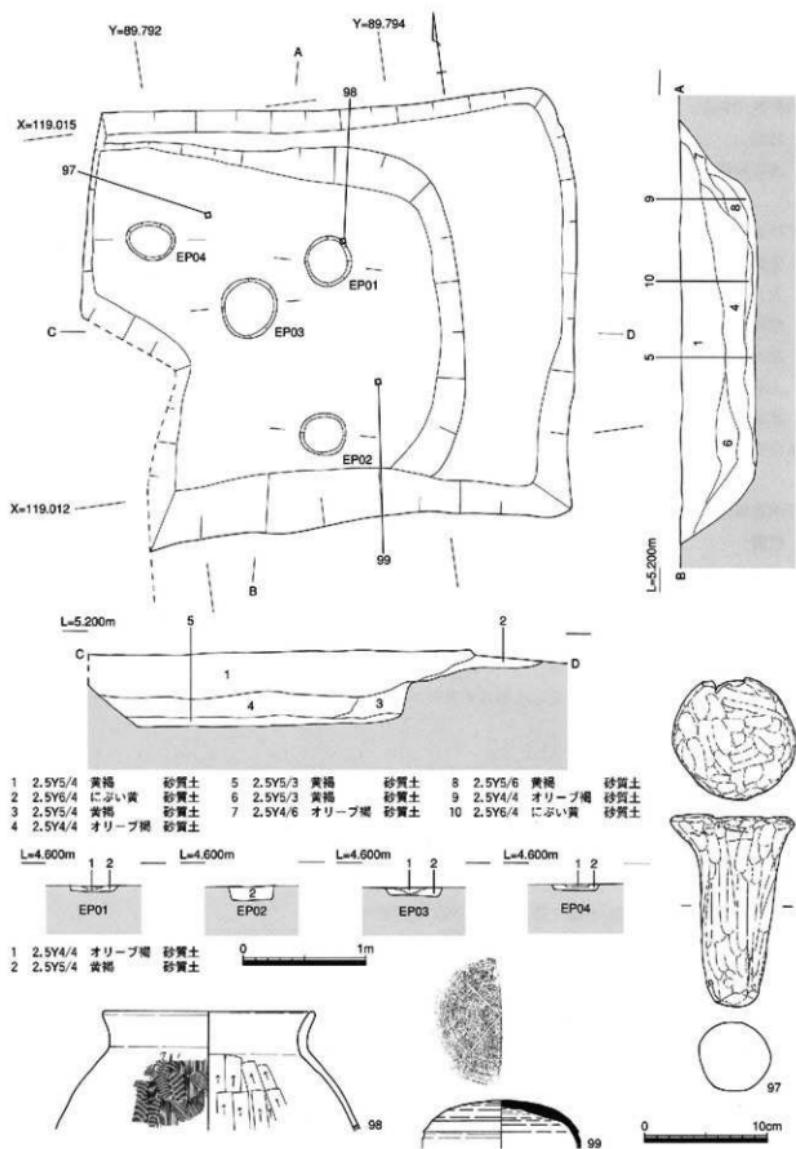
不明遺構内柱穴（SX5001EP04）（第80図）

位置

大グリッド Loc.G-1、中グリッド α-III、小グリッド C-19に位置する。

規模と形状

検出長0.40m、最大幅0.30m、最大深度0.04m の円形である。



第80図 北区（1999・2001年度）SX5001平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

不明遺構（SX5002）（第81図）

位置

大グリッドLoc.G-1、中グリッドα-N、小グリッドE、F-4に位置する。

規模と形状

検出長5.20m、最大幅1.00m、最大深度0.38mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈する砂質土層である。2層はオリーブ褐色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

100、101は須恵器の杯である。102は土師器の壺である。時期は古墳時代後期である。

不明遺構（SX5003）（第82、83図）

位置

大グリッドLoc.G-1、中グリッドα-I、小グリッドD-20に位置する。

規模と形状

検出長3.70m、最大幅1.80m、最大深度0.25mの楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

土器は15点を図化した。103は須恵器の杯蓋である。104~109は須恵器の杯身である。110~116は土師器の壺である。117は土師器の瓶である。外面は丁寧にハケ口を入れ、内面はヘラケズリが施されている。時期は古墳時代後期である。

第5包含層出土遺物（第84図）

土器は9点を図化した。118は須恵器の杯蓋である。119は須恵器の杯身である。120は須恵器の壺である。121は須恵器の横瓶である。外面はタタキのちカキメが施され、内面には多数の當て具痕が見られる。122は土師器の杯である。123は土師器の壺である。124は土師器の壺である。125は平瓦である。126は土師器の壺である。

時期

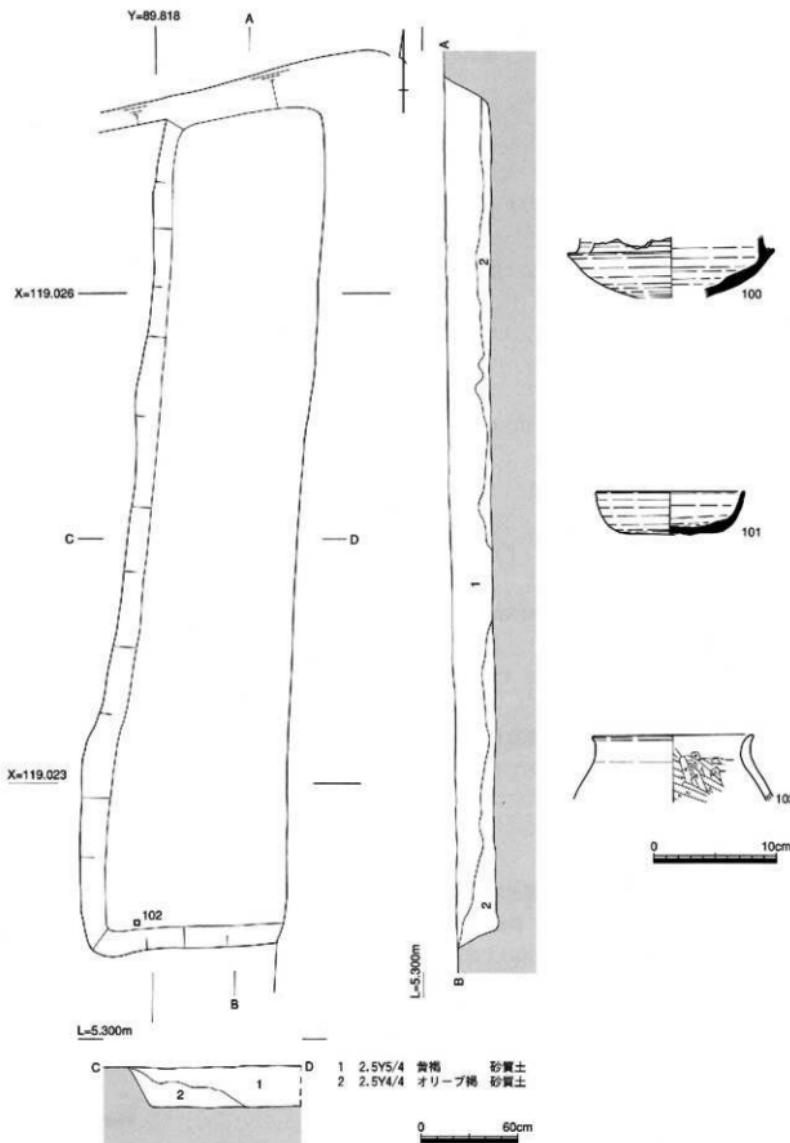
古墳時代後期~奈良時代である。



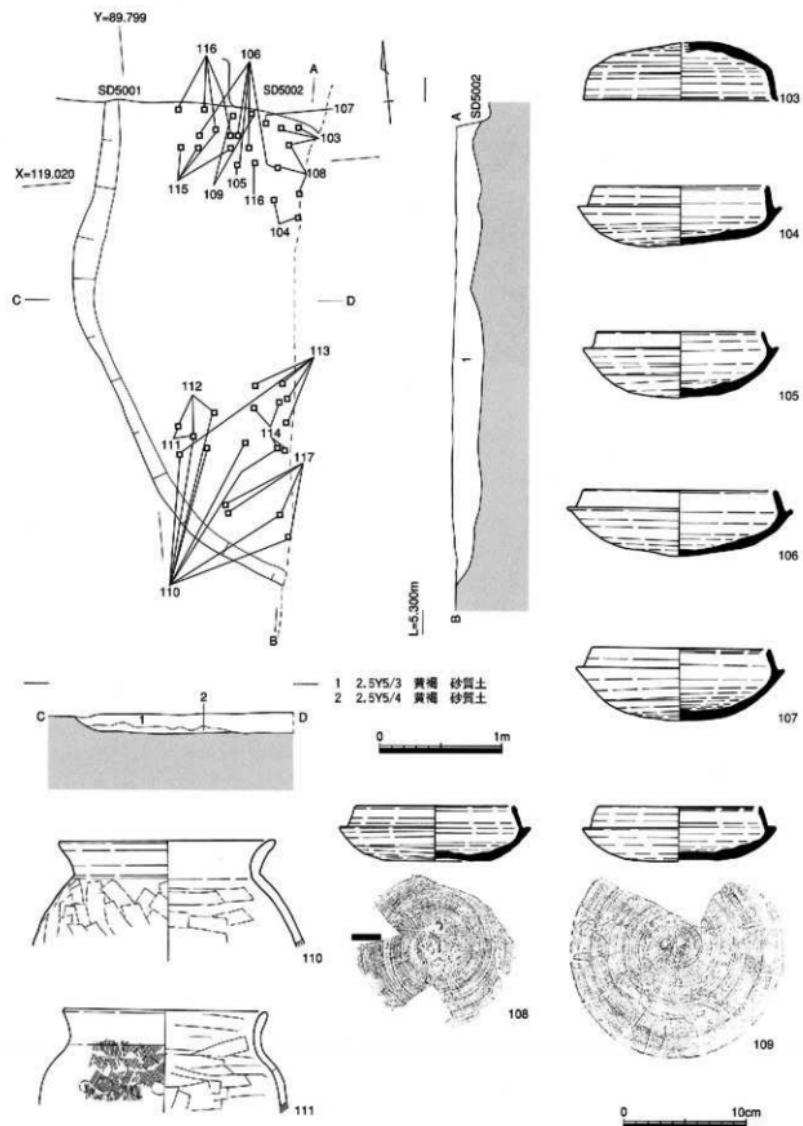
側溝出土遺物（第85図）

127は須恵器の杯身である。

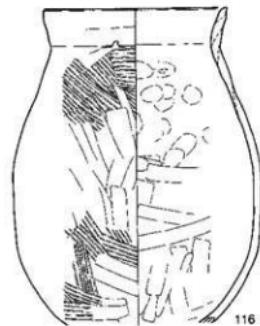
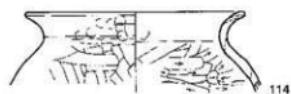
第85図 北区（1999・2001年度）
側溝出土遺物



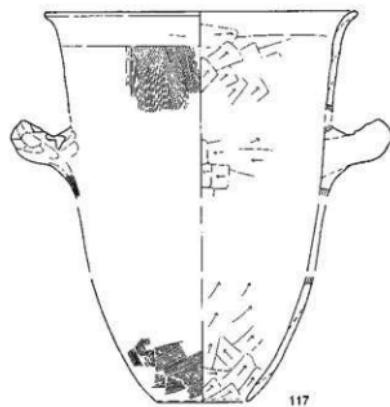
第81図 北区（1999・2001年度）SX5002平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物



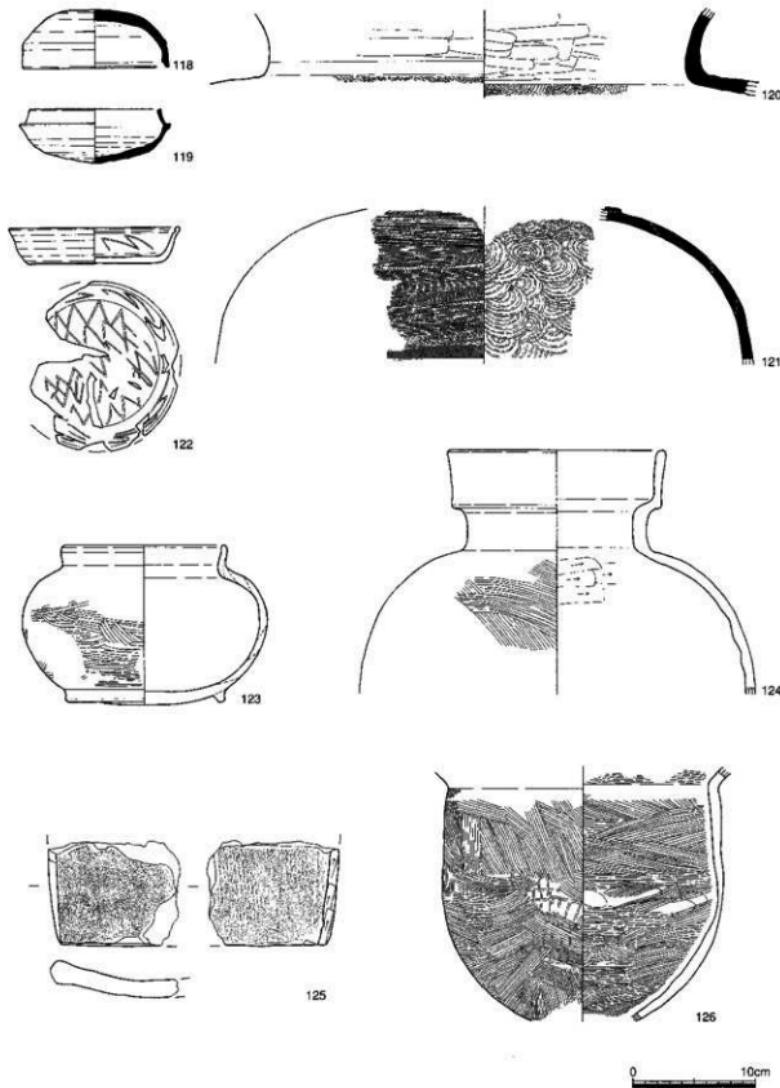
第82図 北区（1999・2001年度）SX5003平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物（1）



0 10cm



第83図 北区（1999・2001年度）SX5003出土遺物（2）



第84図 北区（1999・2001年度）第5包含層出土遺物

南 区

(1) 2000年度2区(第1邊構面)

溝 (SD1001) (第87図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-H-5~7に位置する。

規模と形状

検出長41.70m、最大幅3.30m、最大深度0.40mの溝である。N-10°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは7層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黒褐色を呈する砂質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層はオリーブ黒色を呈するシルト層である。5層は、にぶい黄褐色を呈するシルト層である。6層、7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層はオリーブ黒色を呈するシルト層である。3層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。4層は暗灰黄色を呈するシルト層である。

E-Fは5層に分層した。1層~3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は暗灰黄色を呈するシルト層である。5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

G-Hは7層に分層した。1層~5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。6層は暗オリーブ色を呈するシルト層である。7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

I-Jは5層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層は暗灰黄色を呈するシルト層である。

溝 (SD1002) (第88図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-6に位置する。

規模と形状

検出長9.60m、最大幅0.40m、最大深度0.10mの溝である。N-11°-Wを軸に直線状を呈するが、北端は二股に分かれる。

土層

邊構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

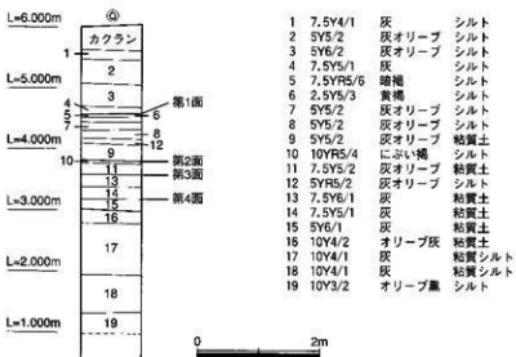
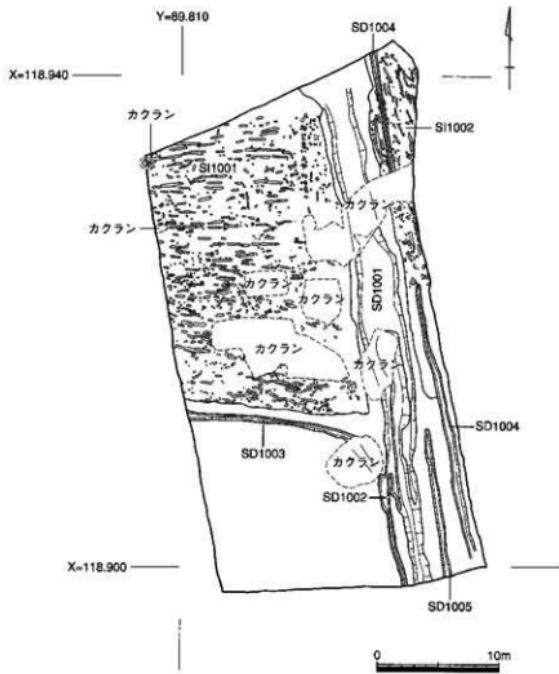
溝 (SD1003) (第89図)

位置

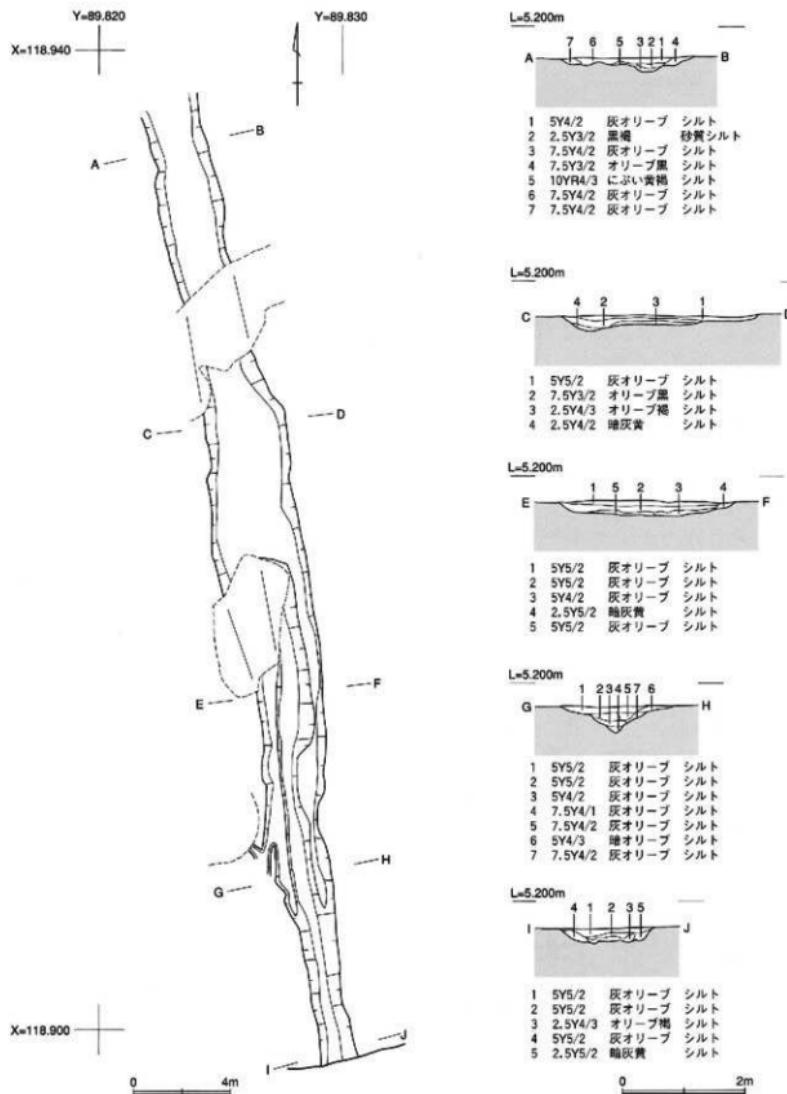
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド B、C-3~6に位置する。

規模と形状

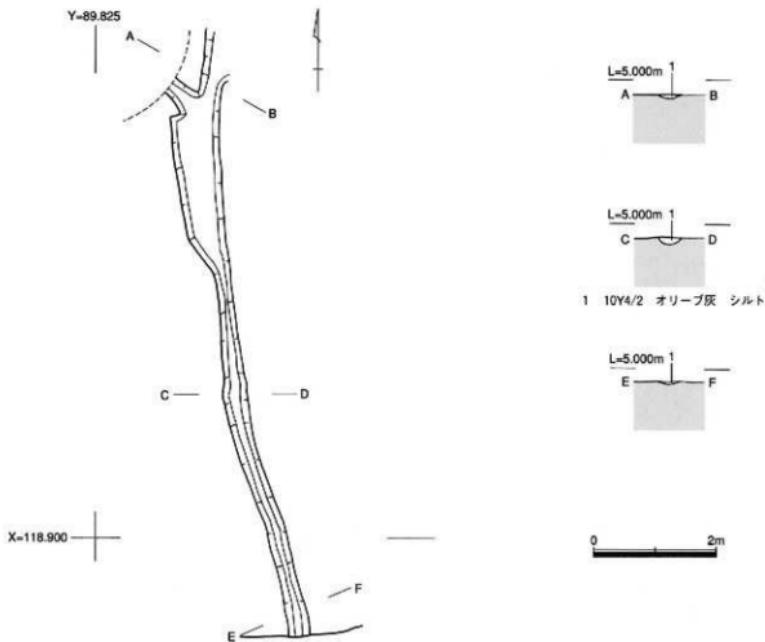
検出長18.00m、最大幅0.60m、最大深度0.10mの溝である。東西方向に伸びるが、東端は弧を描い



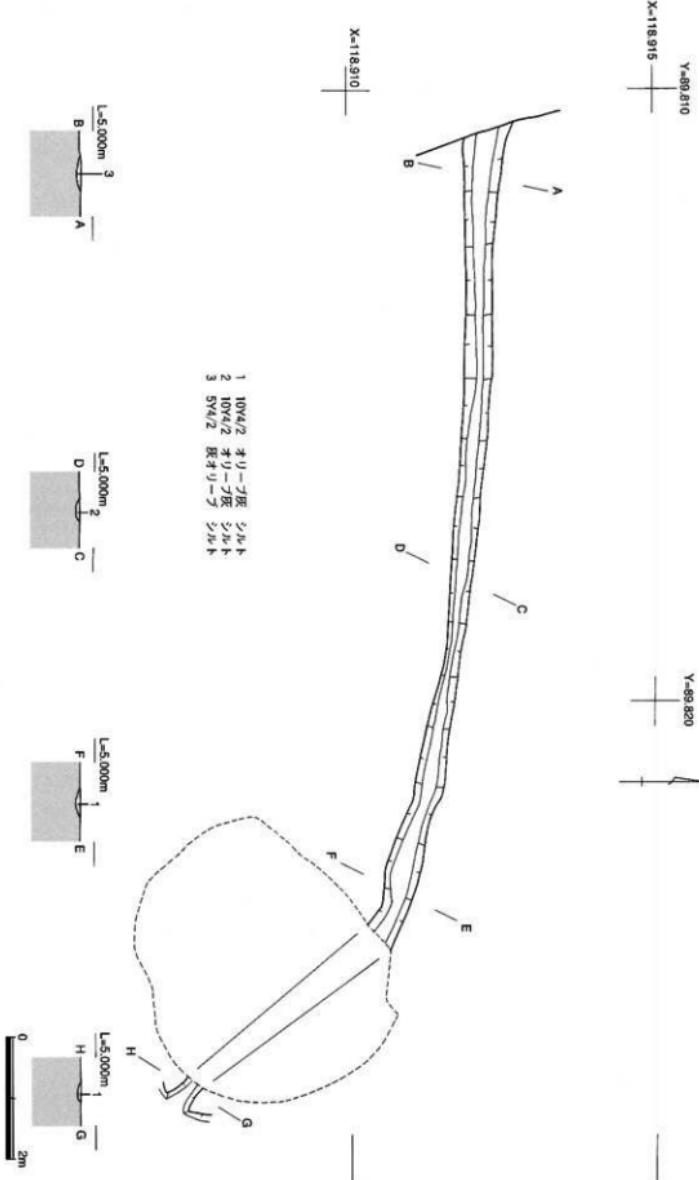
第86図 南区（2000年度2区）第1造構面 調査区造構平面図・土層柱状図



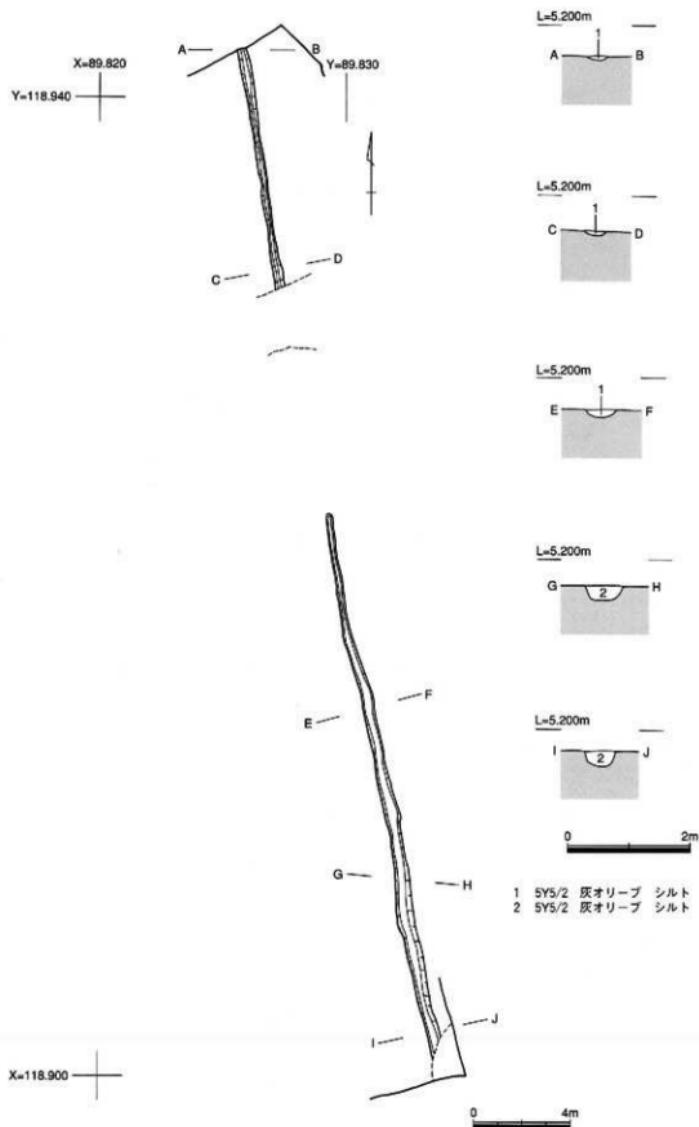
第87図 南区（2000年度2区）SD1001平・断面図



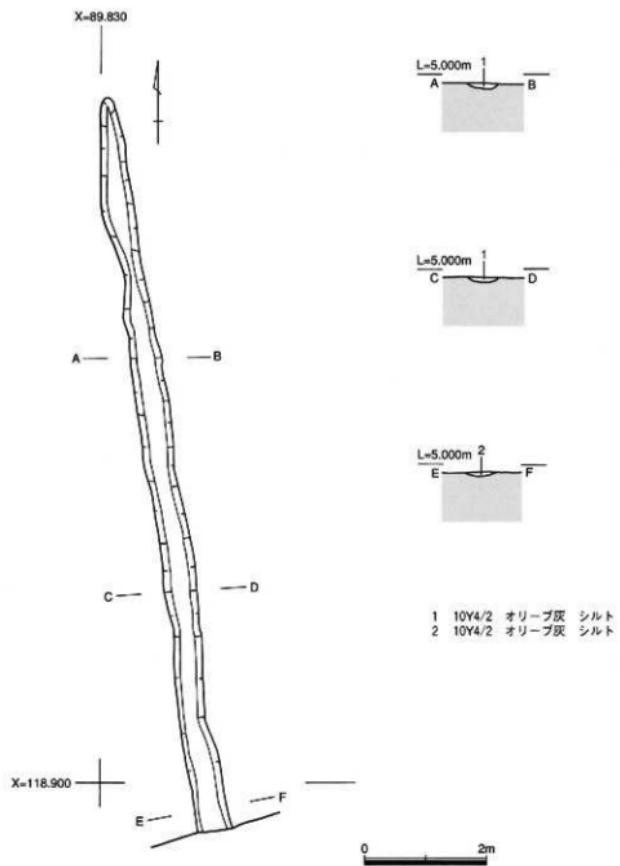
第88図 南区 (2000年度 2区) SD1002平・断面図



第89図 南区(2000年度2区) SD1003平・断面図



第90図 南区（2000年度2区）SD1004平・断面図



第91図 南区（2000年度2区）SD1005平・断面図

て南へ湾曲する。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層、2層はオリーブ灰色を呈するシルト層である。3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD1004）（第90図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド A-E-6、7に位置する。

規模と形状

検出長22.60m、最大幅0.60m、最大深度0.25mの溝である。N-11°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD1005）（第91図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド A、B-7に位置する。

規模と形状

検出長11.80m、最大幅0.55m、最大深度0.10mの溝である。N-9°-Wを軸とした直線状を呈するが、北側は浅く調査区内で途切れている。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層、2層はオリーブ灰色を呈するシルト層である。

水田跡（第86図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド D-J-2~6に位置する。

規模と形状

SD1003以北に形成される。東側はN-10°-Wを軸としたSD1001によって区画されているが、耕作痕は正方位で東西方向のものが検出された。

(2) 2000年度2区(第2遺構面)

溝 (SD2001) (第93図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドH-6に位置する。

規模と形状

検出長5.30m、最大幅1.50m、最大深度0.50mの溝である。N-52°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は15層に分層した。1層～5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。6層、7層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。8層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。9層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。10層は灰オリーブ色を呈する砂混じり粘質シルト層である。11層、12層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。13層は黄褐色を呈するシルト層である。14層はオリーブ灰色を呈する砂混じり粘質土層である。15層はオリーブ灰色を呈する粘質土混じり砂層である。

出土遺物・時期

128は須恵器の高杯である。129は上師器の杯蓋である。時期は平安時代である。

溝 (SD2002) (第93図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドI-6に位置する。

規模と形状

検出長2.45m、最大幅0.50m、最大深度0.30mのややいびつな形状の溝であるが、SD1001の北側で平行に位置する。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層、5層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。

溝 (SD2003) (第94図)

位置

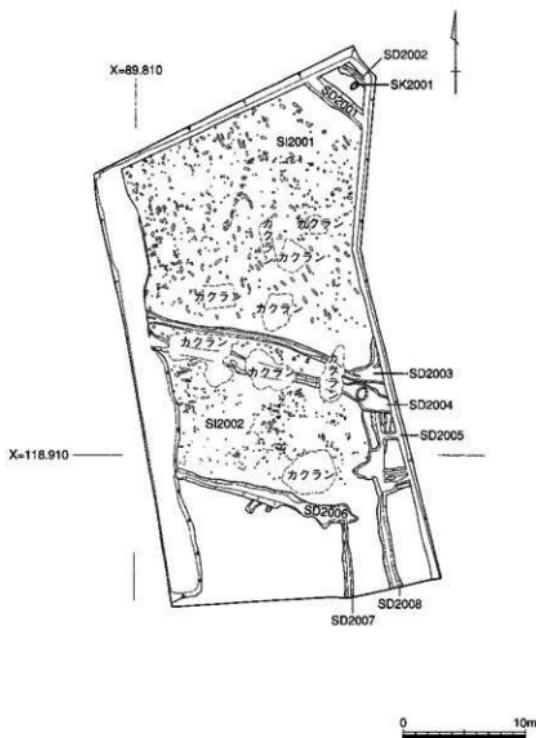
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドD、E-3～6に位置する。

規模と形状

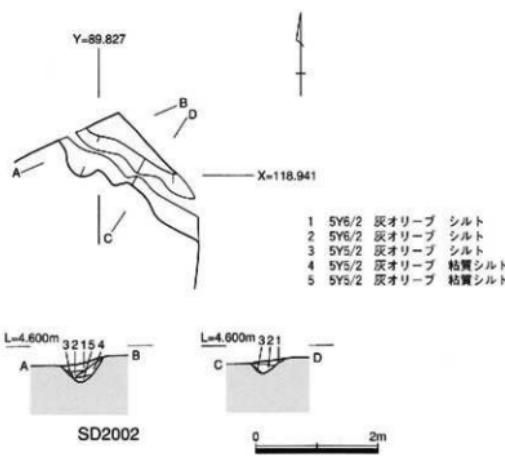
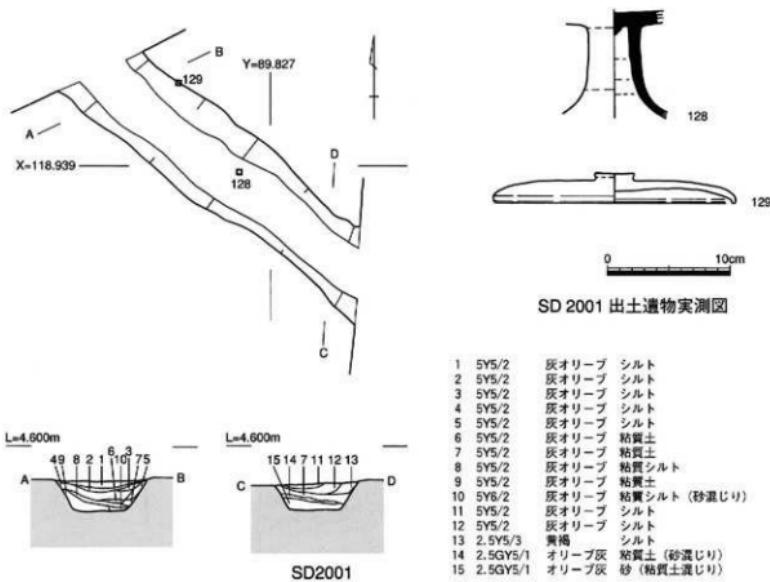
検出長20.30m、最大幅1.75m、最大深度0.30mの溝である。東西方向に延びるが、東側はやや南へ湾曲する。

土層

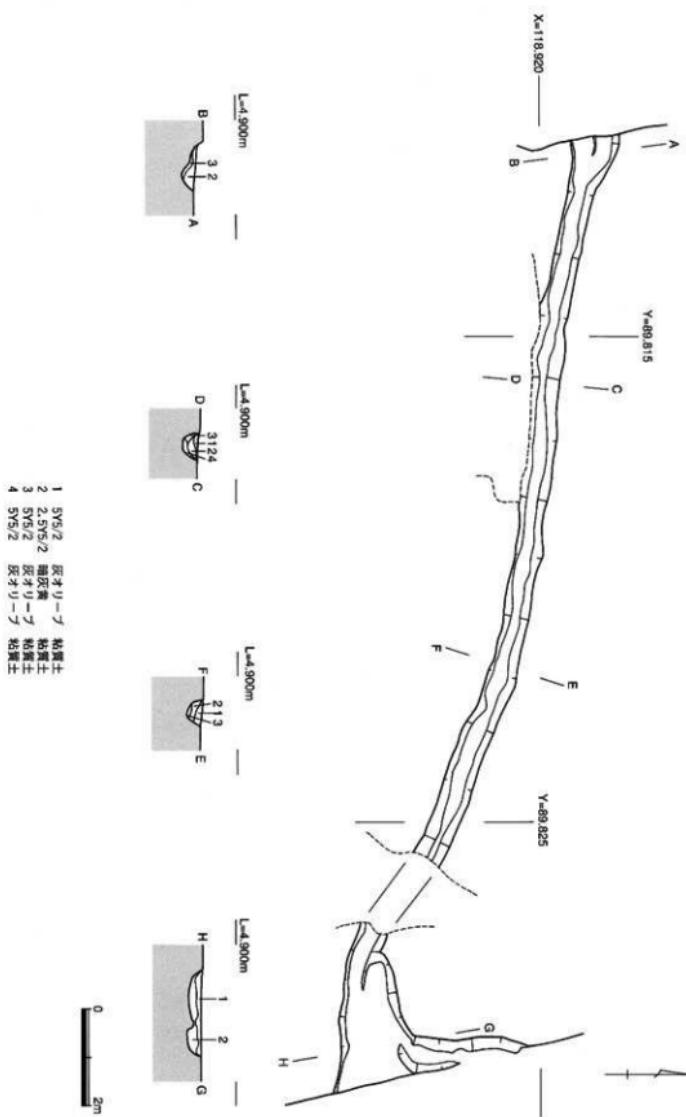
遺構の堆積土は4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。2層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。3層、4層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。



第92図 南区（2000年度2区）第2遭構面 調査区造構平面図



第93図 南区(2000年度2区) SD2001・SD2002平・断面図・遺物出土状況ドット図・SD2001出土遺物



第94図 南区(2000年度2区) SD2003平・断面図

溝（SD2004）（第95図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-N、小グリッドD-3～6に位置する。

規模と形状

検出長20.35m、最大幅1.40m、最大深度0.20mの溝である。現代の擾乱により分断されているが、東西方向N-77°-Wを軸に延びていたものと推定される。

土層

遺構の堆積土は4層に分層できる。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。

出土遺物

130は土師器の皿である。

溝（SD2005）（第96図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-N、小グリッドB-7に位置する。

規模と形状

検出長6.90m、最大幅1.40m、最大深度0.35mのいびつな形状である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層、4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層、6層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD2006）（第97図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-N、小グリッドB-3～6に位置する。

規模と形状

検出長14.65m、最大幅1.10m、最大深度0.40mの溝である。N-76°-Wを軸に直線状を呈するが、東端は調査区内で終息する。

土層

遺構の堆積土は10層に分層した。1層～10層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

溝（SD2007）（第98図）

位置

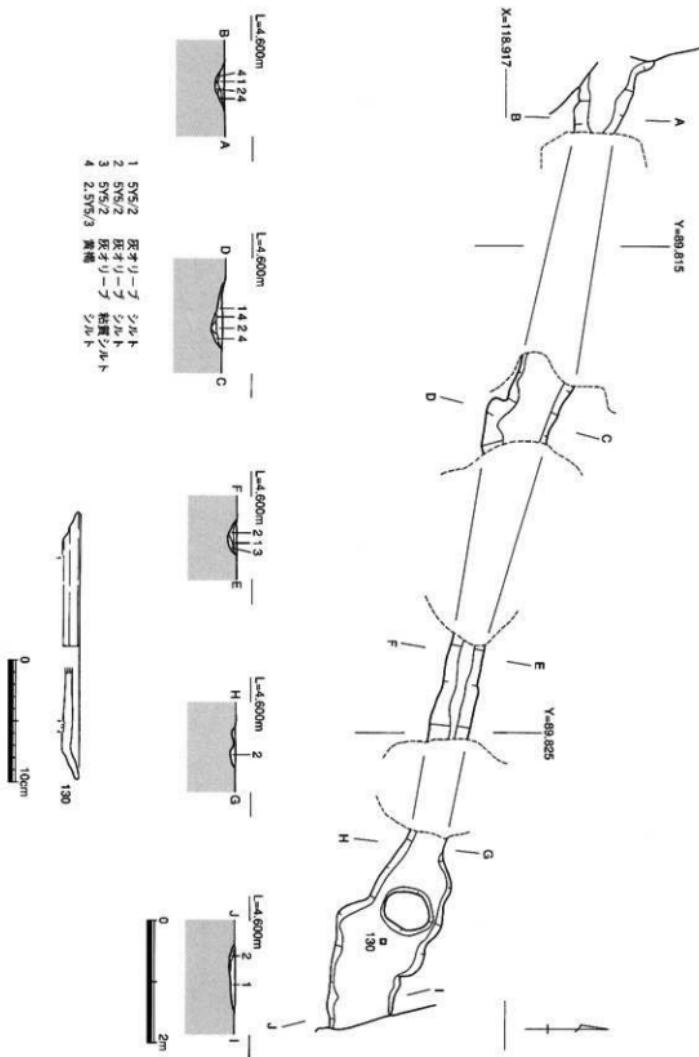
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-N、小グリッドA-6に位置する。

規模と形状

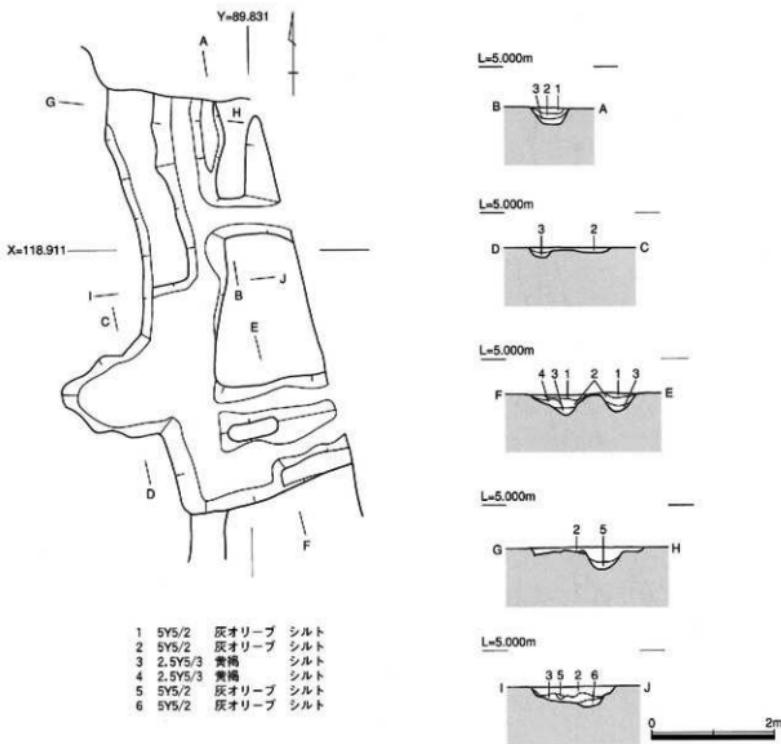
検出長6.30m、最大幅0.60m、最大深度0.20mの溝である。N-4°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

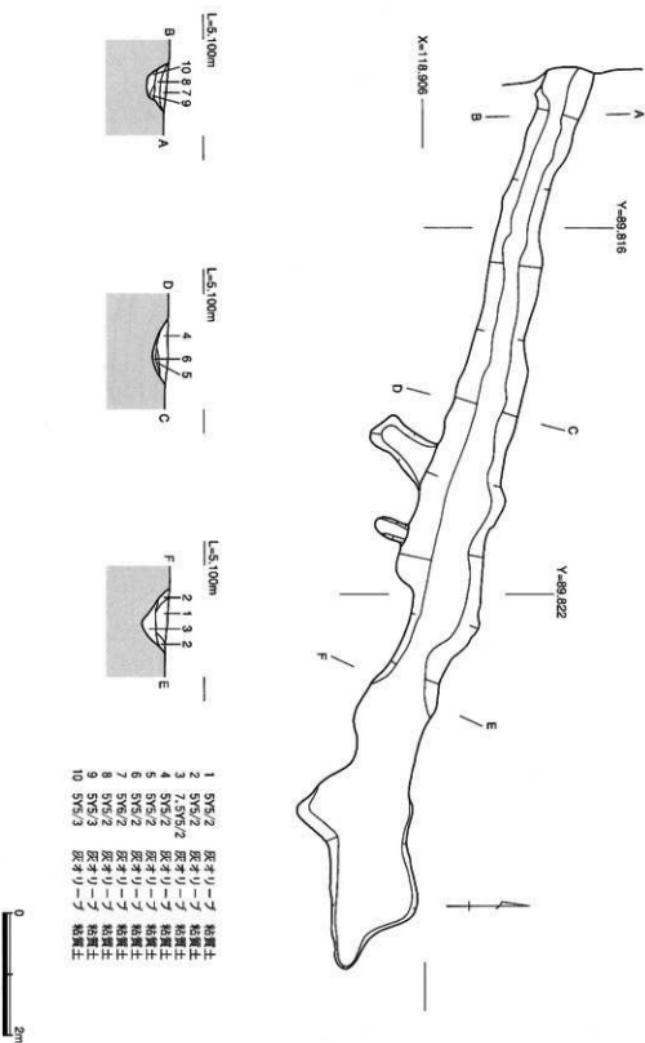
遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。



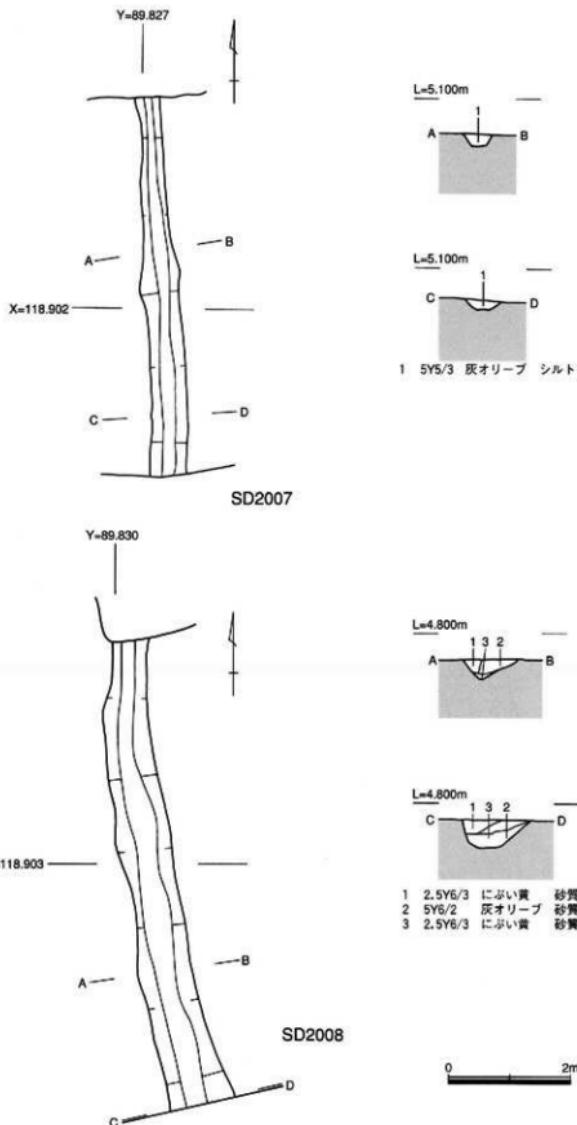
第95図 南区（2000年度2区）SD2004平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物



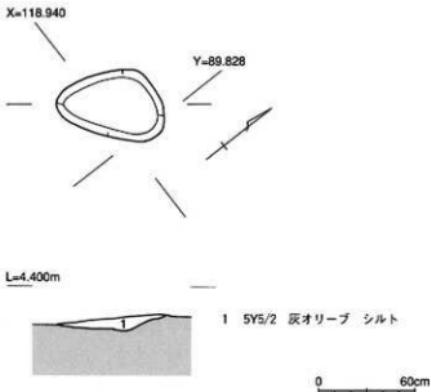
第96図 南区（2000年度2区）SD2005平・断面図



第97図 南区(2000年度2区) SD2006平・断面図



第98図 南区（2000年度2区）SD2007・SD2008平・断面図



第99図 南区（2000年度2区）SK2001平・断面図

溝（SD2008）（第98図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-7 に位置する。

規模と形状

検出長7.70m、最大幅1.10m、最大深度0.45m の溝である。N-8°-W を軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。2層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。3層は、にぶい黄色を呈する砂質土層である。

水田跡（第92図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド D-J-2~6 に位置する。

規模と形状

SD2006以北に形成され、中央部を SD2003、2004が横断する。溝の方向は一定しておらず、耕作痕にも明確な方向性は見られない。

土坑（SK2001）（第99図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド I-6 に位置する。

規模と形状

検出長0.67m、最大幅0.46m、最大深度0.08m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

(3) 2000年度2区(第3造構面)

溝 (SD3001) (第101図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドH-5に位置する。

規模と形状

検出長7.30m、最大幅2.60m、最大深度1.10mの溝である。N-77°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は13層に分層した。1層は、にぶい黄褐色を呈する砂質土層である。2層、3層は灰黄色を呈するシルト層である。4層は黄灰色を呈する砂質土層である。5層は灰オリーブ色を呈する砂質上層である。6層は灰色を呈する砂質土層である。7層は、にぶい黄褐色を呈する細砂層である。8層は暗緑灰色を呈するシルト混じり砂質土層である。9層は灰色を呈するシルト層である。10層は灰色を呈する砂混じり粘質シルト層である。11層、12層は、灰色を呈する粘質シルト層である。13層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

131は雑具の火鑄板である。火鑄白が2ヶ所残存している。132は土師器の高杯である。時期は平安時代である。

溝 (SD3002) (第102図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドH-6に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅0.75m、最大深度0.25mの溝である。N-30°-Wを軸にした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈する砂質土層である。2層は黄灰色を呈する砂質土層である。

出土遺物・時期

133は土師器の杯である。時期は平安時代である。



第100図 南区(2000年度2区)
第3造構面 調査区造構平面図

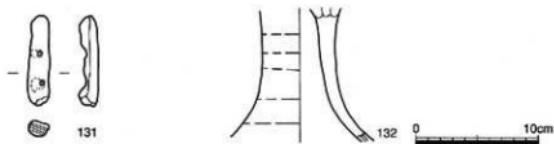
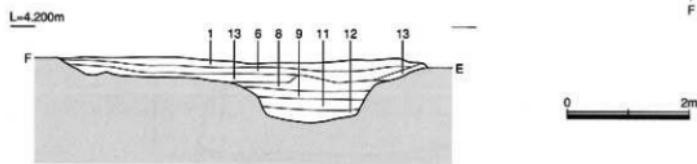
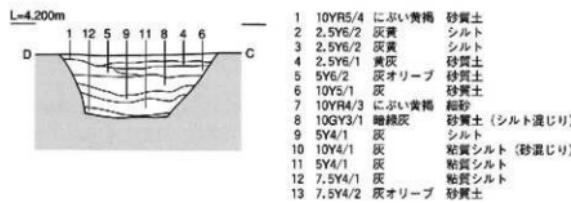
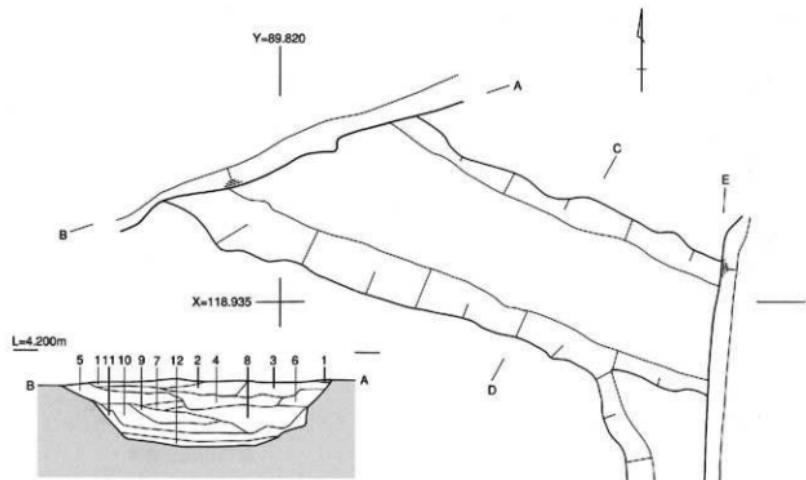
溝 (SD3003) (第102図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドE-5、6に位置する。

規模と形状

検出長6.30m、最大幅0.60m、最大深度0.30mの



第101図 南区（2000年度2区）SD3001平・断面図・出土遺物

溝である。ほぼ東西方向を軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質土による単一層である。

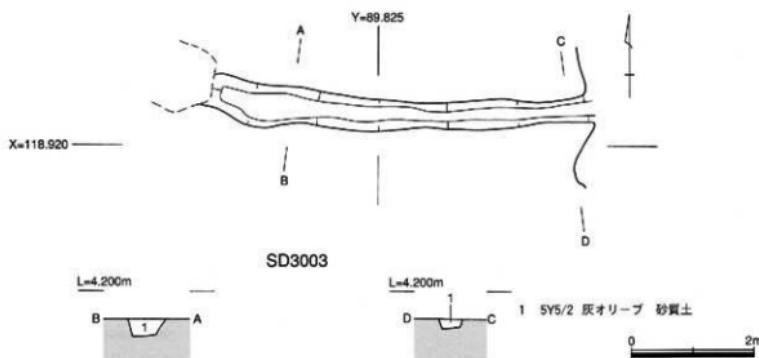
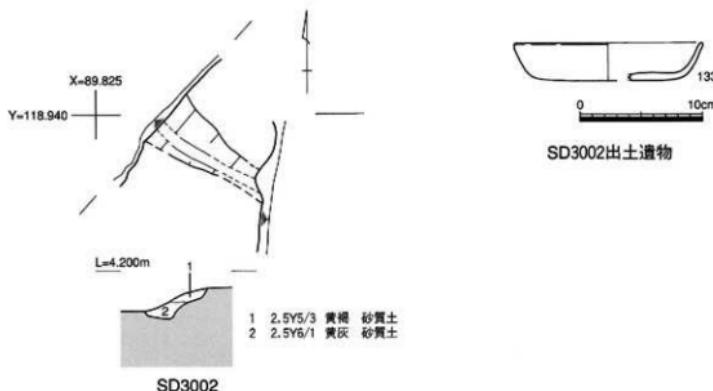
水田跡（第100図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-I、小グリッドE-J-2~6に位置する。

規模と形状

水田土壤は南北10m、東西15mの範囲に残存するのみで、耕作痕も明確な方向性は見られない。



第102図 南区（2000年度2区）SD3002・SD3003平・断面図・SD3002出土遺物

(4) 2000年度2区(第4造構面)

溝 (SD4001) (第104図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドB-F-6に位置する。

規模と形状

検出長21.40m、最大幅0.90m、最大深度0.30mの溝である。N-9°-Wを軸とした直線状を呈するが、南端は調査区内で収束している。

土層

造構の堆積土は6層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層、4層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。5層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。6層は灰オリーブ色を呈する粘質上層である。

土坑 (SK4001) (第105図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドE-5に位置する。

規模と形状

検出長1.10m、最大幅0.53m、最大深度0.20mの橢円形である。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。2層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

柱穴 (SP4001) (第106図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドF-5に位置する。

規模と形状

検出長0.40m、最大幅0.38m、最大深度0.06mの円形である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質シルトによる單一層である。

柱穴 (SP4002) (第106図)

位置

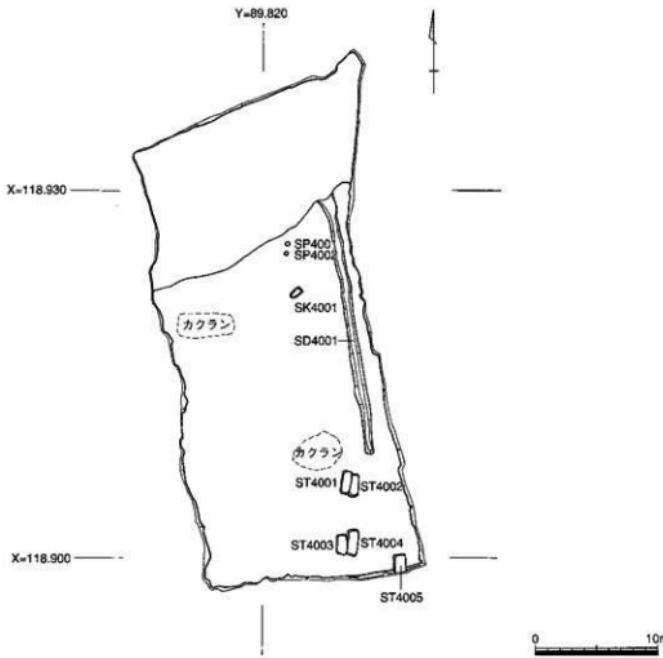
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドE-5に位置する。

規模と形状

検出長0.33m、最大幅0.31m、最大深度0.05mの円形である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質シルトによる單一層である。



第103図 南区（2000年度2区）第4遺構面 調査区遺構平面図

土壌墓（ST4001）（第107図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドB-6に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.80m、最大深度0.40mの長方形である。

土層

遺構の堆積上は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質上層である。

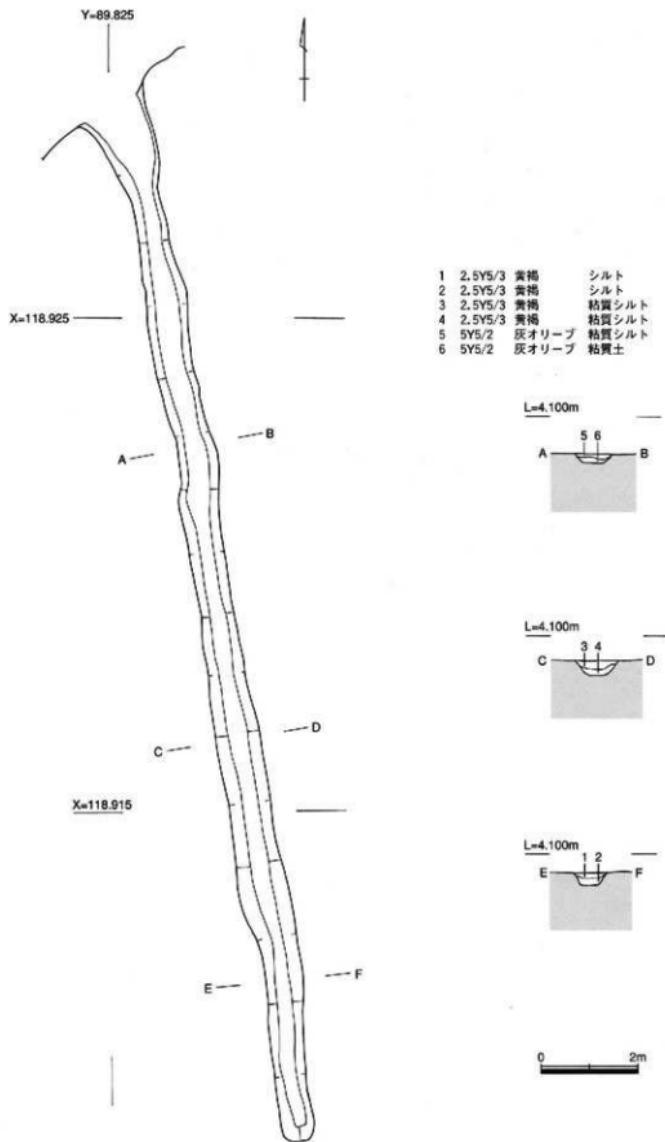
土壌墓（ST4002）（第107図）

位置

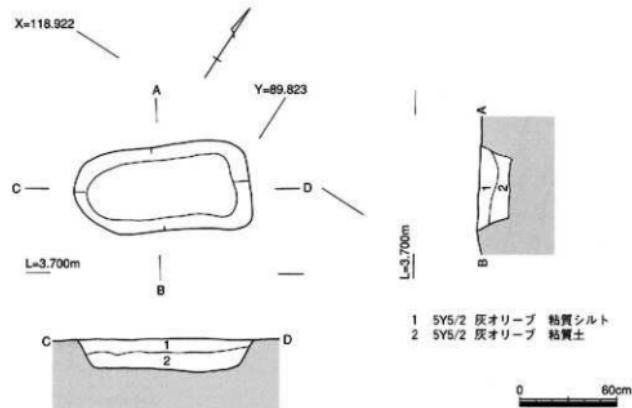
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドB-6に位置する。

規模と形状

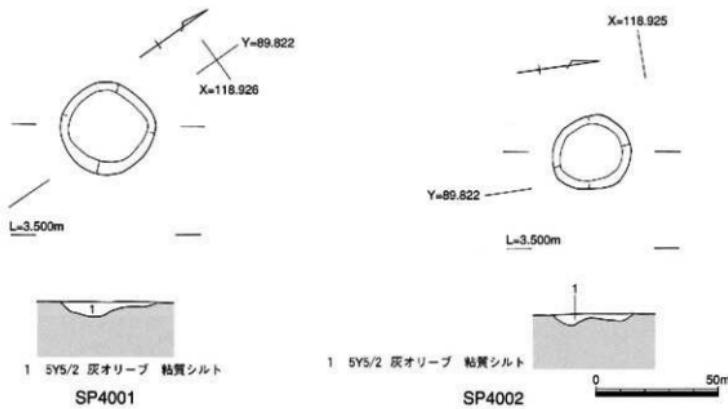
検出長1.95m、最大幅0.65m、最大深度0.60mの長方形である。



第104図 南区（2000年度2区）SD4001平・断面図



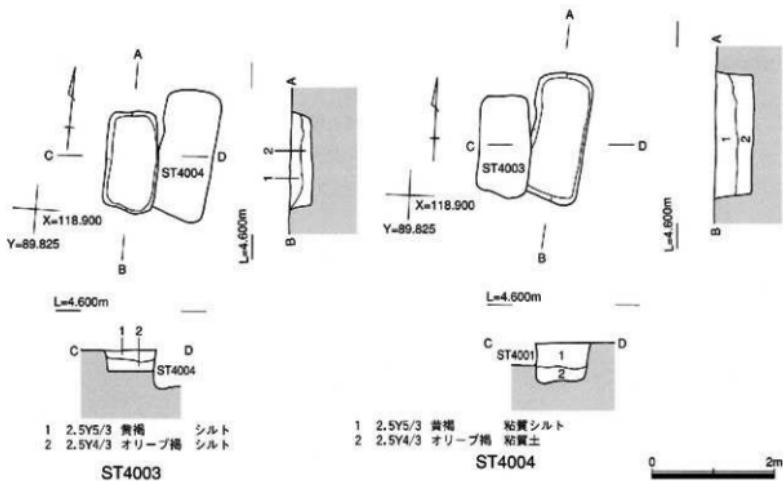
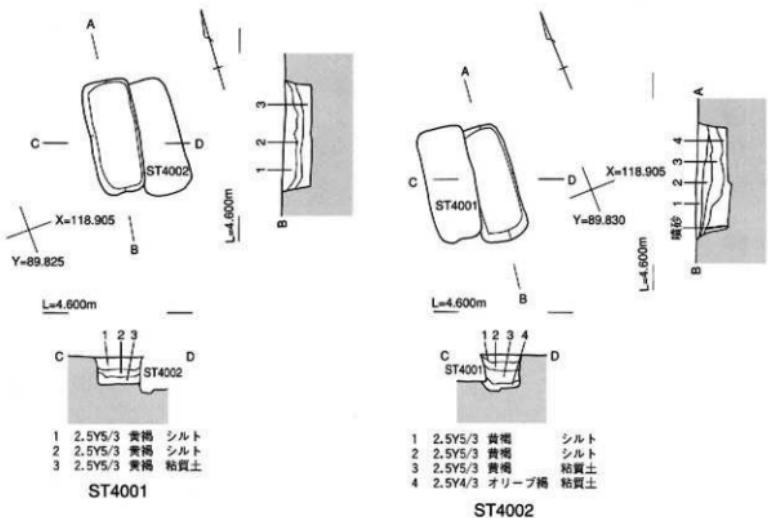
第105図 南区（2000年度2区）SK4001平・断面図



第106図 南区（2000年度2区）SP4001・SP4002平・断面図

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質土層である。4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。



第107図 南区（2000年度2区）ST4001・ST4002・ST4003・ST4004平・断面図

土壤基（ST4003）（第107図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-6 に位置する。

規模と形状

検出長1.65m、最大幅0.85m、最大深度0.40m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。

土壤基（ST4004）（第107図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド A-6 に位置する。

規模と形状

検出長2.15m、最大幅0.90m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。2層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壤基（ST4005）（第108図）

位置

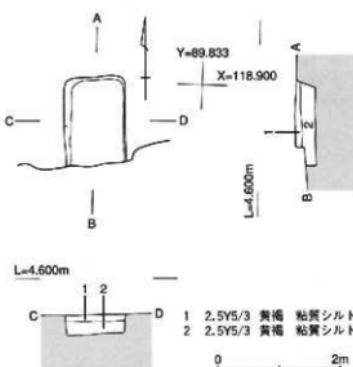
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド T-7 に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅1.00m、最大深度0.30m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。



第108図 南区（2000年度2区）
ST4005平・断面図

(5) 2000年度2区(第5遺構面)

柱穴(SP5001)(第110図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドB-4に位置する。

規模と形状

検出長0.33m、最大幅0.32m、最大深度0.15mの梢円形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

柱穴(SP5002)(第110図)

位置

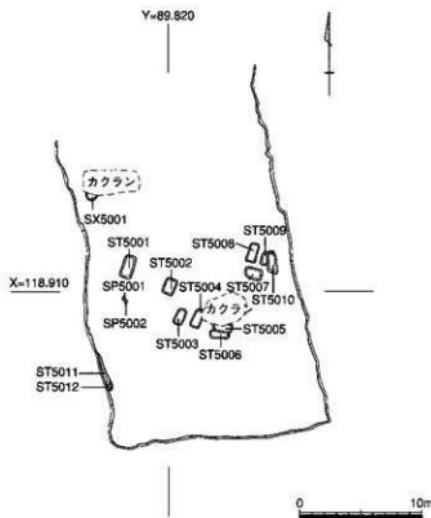
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドB-4に位置する。

規模と形状

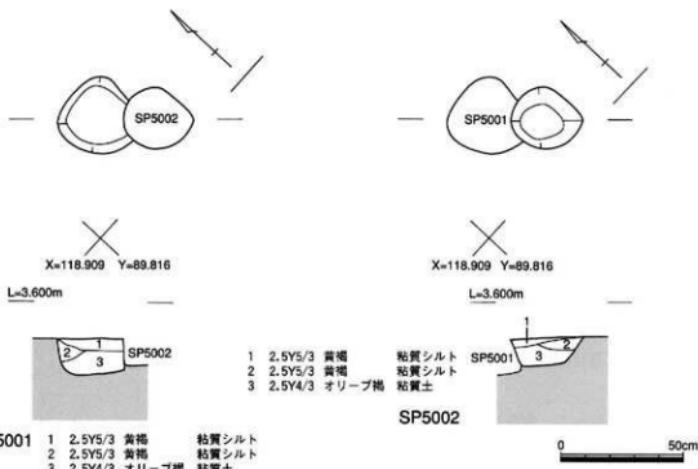
検出長0.29m、最大幅0.26m、最大深度0.12mの梢円形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。



第109図 南区(2000年度2区)第5遺構面 調査区遺構平面図



第110図 南区（2000年度2区）SP5001・SP5002平・断面図

土壤堆（ST5001）（第111図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド C-4 に位置する。

規模と形状

検出長1.80m、最大幅0.90m、最大深度0.64m の長方形である。

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

土壤堆（ST5002）（第111図）

位置

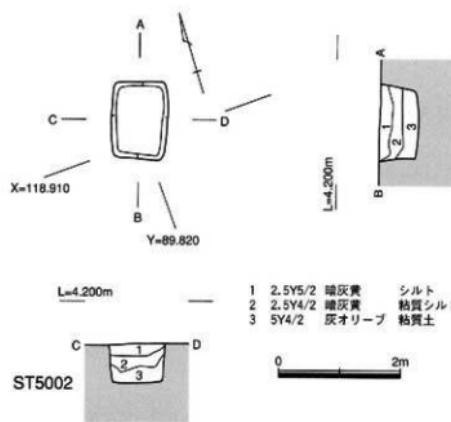
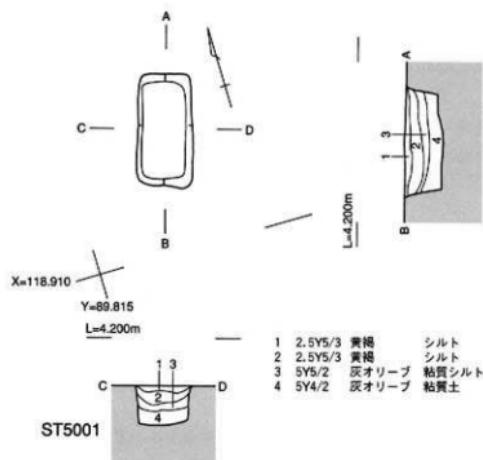
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド C-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.27m、最大幅0.93m、最大深度0.65m の長方形である。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層は暗灰黄色を呈するシルト層である。2層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。



第111図 南区（2000年度2区）ST5001・ST5002平・断面図

土壤墓（ST5003）（第112図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.40m、最大幅0.72m、最大深度0.52m の長方形である。

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する粘質土層である。

土壤墓（ST5004）（第112図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.47m、最大幅0.65m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層、4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壤墓（ST5005）（第112図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.55m、最大幅0.70m、最大深度0.43m の長方形である。

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壤墓（ST5006）（第112図）

位置

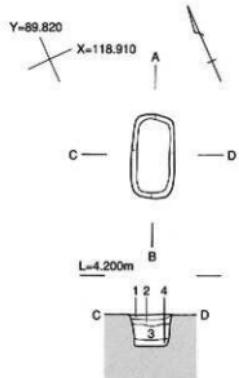
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド B-5 に位置する。

規模と形状

検出長1.52m、最大幅0.65m、最大深度0.45m の長方形である。

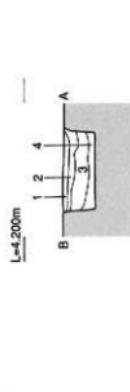
土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。4層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。



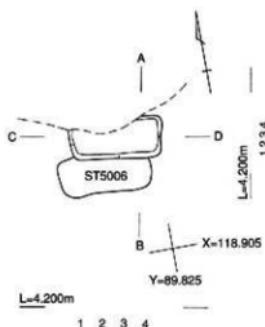
- 1 2.5Y5/3 黄褐色 シルト
2 2.5Y5/4 黄褐色 粘質シルト
3 SY5/2 灰オリーブ褐色 粘質シルト
4 SY5/3 灰オリーブ褐色 粘質土

ST5003



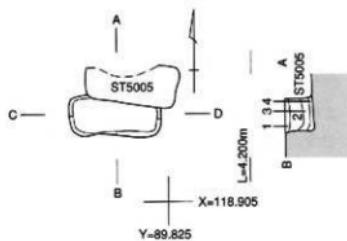
- 1 2.5Y5/3 黄褐色 シルト
2 2.5Y5/4 黄褐色 粘質シルト
3 2.5Y4/3 オリーブ褐色 粘質土
4 2.5Y4/3 オリーブ褐色 粘質土

ST5004



- 1 SY5/3 灰オリーブ シルト
2 2.5Y5/3 黄褐色 粘質シルト
3 2.5Y4/3 オリーブ褐色 粘質シルト
4 2.5Y4/3 オリーブ褐色 粘質土

ST5005



- 1 SY5/3 灰オリーブ シルト
2 2.5Y5/3 黄褐色 粘質シルト
3 2.5Y4/3 オリーブ褐色 粘質シルト
4 2.5Y4/3 オリーブ褐色 粘質土

ST5006



第112図 南区(2000年度2区) ST5003・ST5004・ST5005・ST5006平・断面図

土壤墓（ST5007）（第113図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドC-6に位置する。

規模と形状

検出長1.40m、最大幅0.88m、最大深度0.45mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層、2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壤墓（ST5008）（第113図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドC-6に位置する。

規模と形状

検出長1.53m、最大幅0.80m、最大深度0.47mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。1層は黄褐色を呈するシルト層である。2層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。3層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。

土壤墓（ST5009）（第113図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドC-6に位置する。

規模と形状

検出長1.15m、最大幅0.55m、最大深度0.40mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。4層は灰色を呈する粘質土層である。

土壤墓（ST5010）（第113図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドC-6に位置する。

規模と形状

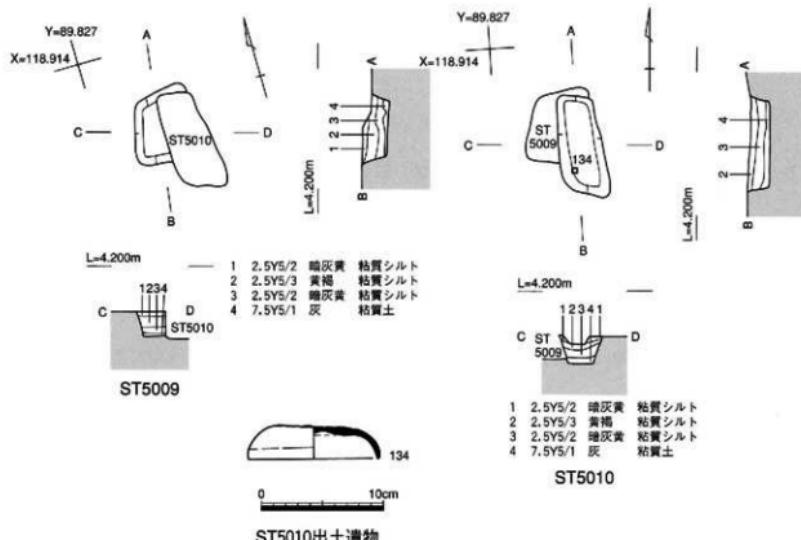
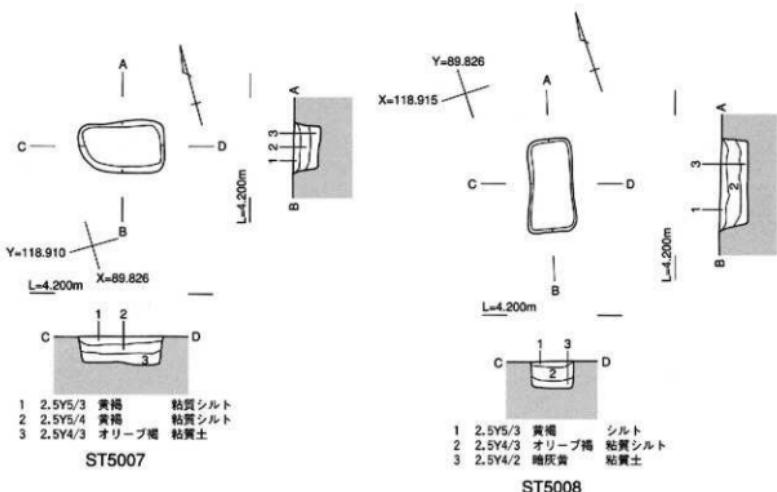
検出長1.60m、最大幅0.73m、最大深度0.35mの長方形である。

土層

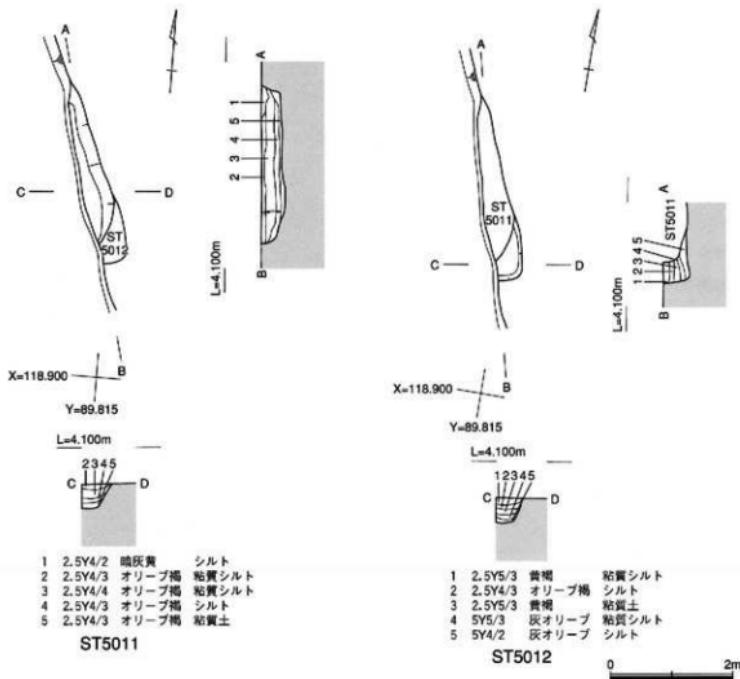
遺構の堆積土は4層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。2層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。3層は暗灰黄色を呈する粘質シルト層である。4層は灰色を呈する粘質土層である。

出土遺物・時期

134は須恵器の杯蓋である。時期は古墳時代後期である。



第113図 南区(2000年度2区) ST5007・ST5008・ST5009・ST5010
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST5010出土物



第114図 南区（2000年度2区）ST5011・ST5012平・断面図

土壤堆（ST5011）（第114図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドA-3に位置する。

規模と形状

検出長2.95m、最大幅0.50m、最大深度0.40m。遺構の大部分は調査区外にあり形状は不明である。

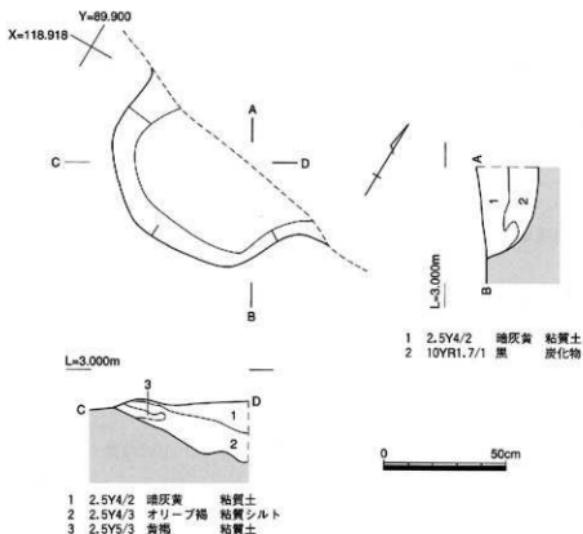
土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層は暗灰黄色を呈するシルト層である。2層、3層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。4層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。5層、6層はオリーブ褐色を呈する粘質土層である。

土壤堆（ST5012）（第114図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドA-4に位置する。



第115図 南区（2000年度2区）SX5001平・断面図

規模と形状

検出長1.05m、最大幅0.40m、最大深度0.43m。ST5011と同様に遺構の大部分は調査区外にあり、形状は不明である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は黄褐色を呈する粘質シルト層である。2層はオリーブ褐色を呈するシルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質上層である。4層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

不明遺構（SX5001）（第115図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドD-3に位置する。

規模と形状

検出長0.82m、最大幅0.49m、最大深度0.26mの半円形である。

土層

A-Bは2層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。2層は黒色を呈する炭化物層である。

C-Dは3層に分層した。1層は暗灰黄色を呈する粘質土層である。2層はオリーブ褐色を呈する粘質シルト層である。3層は黄褐色を呈する粘質土層である。

(6) 2004年度3区(第1邊構面)

溝 (SD1001) (第117、118図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA~G-15~18に位置する。

規模と形状

検出長8.75m、最大幅0.15m、最大深度0.03mの溝である。大部分はN-8°-Wを軸とした直線状を呈するが、北端は東へ屈曲しN-40°-Eを軸としている。

土層

A-B、C-Dは2層に分層した。1層、2層は灰色を呈するシルト層である。

E-F、G-H、I-Jは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD1002) (第118図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドG-17~19に位置する。

規模と形状

検出長9.30m、最大幅0.80m、最大深度0.25mの溝である。N-78°-Eを軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1層~3層は灰色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD1003) (第119図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA~D-16~19に位置する。

規模と形状

検出長8.95m、最大幅0.20m、最大深度0.10mの溝である。N-25°-Eを軸とした直線状を呈する

土層

A-Bは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-D、E-F、G-Hは灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD1004) (第120図)

位置

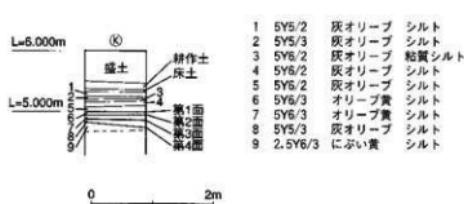
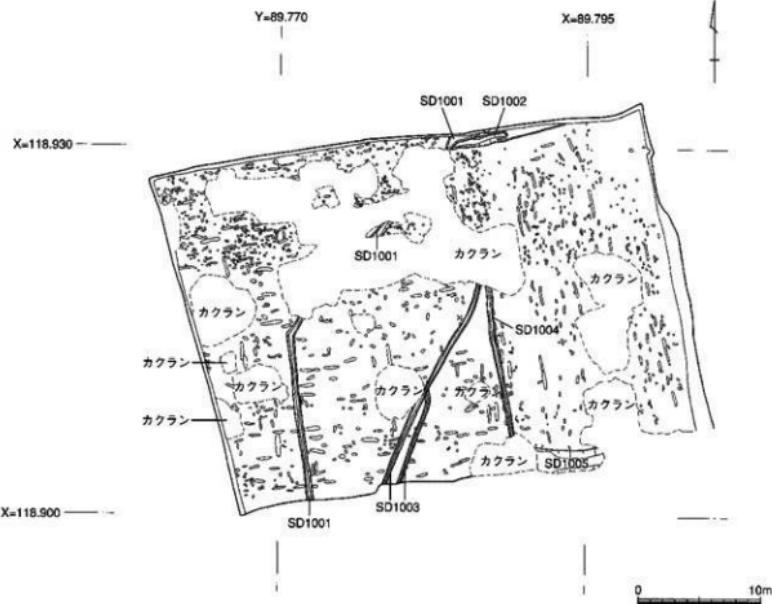
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドB~D-18に位置する。

規模と形状

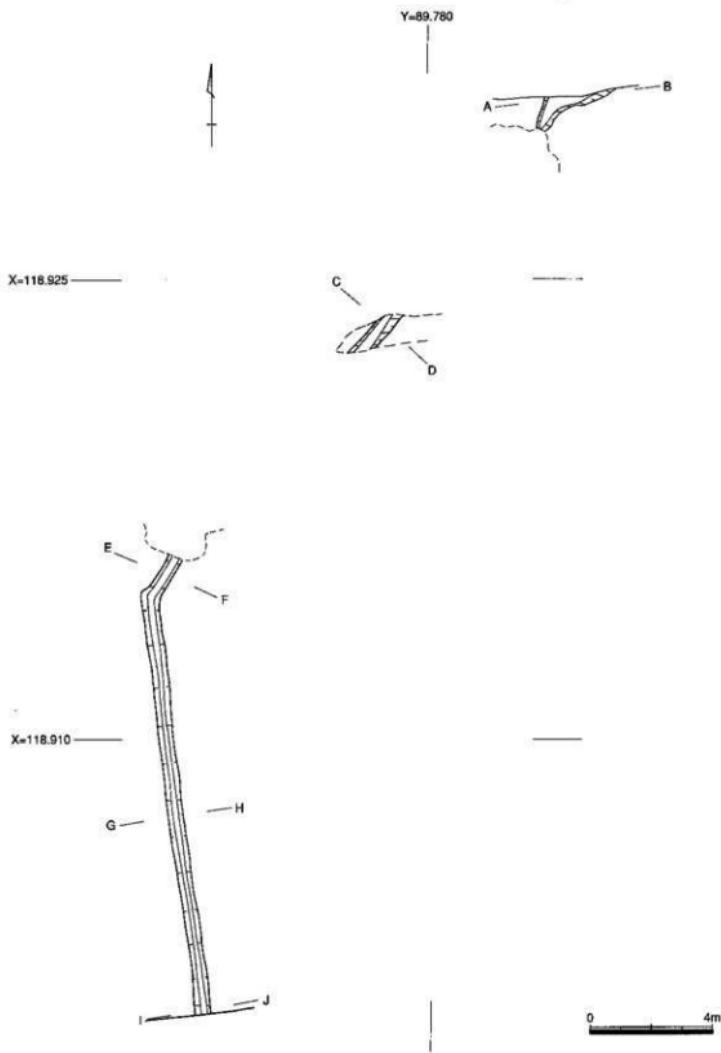
検出長12.50m、最大幅0.40m、最大深度0.02mの溝である。N-8°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

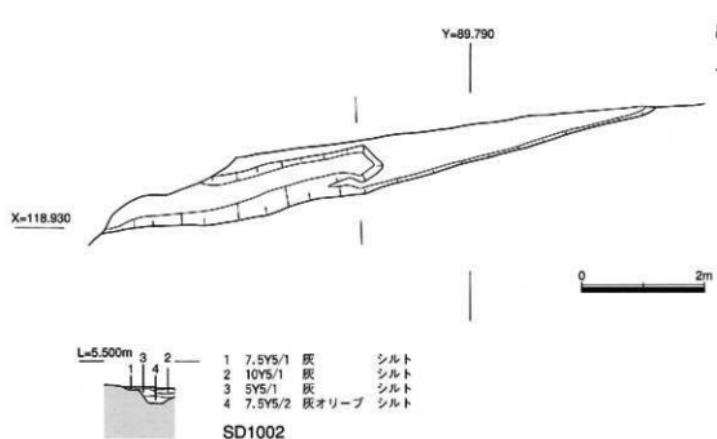
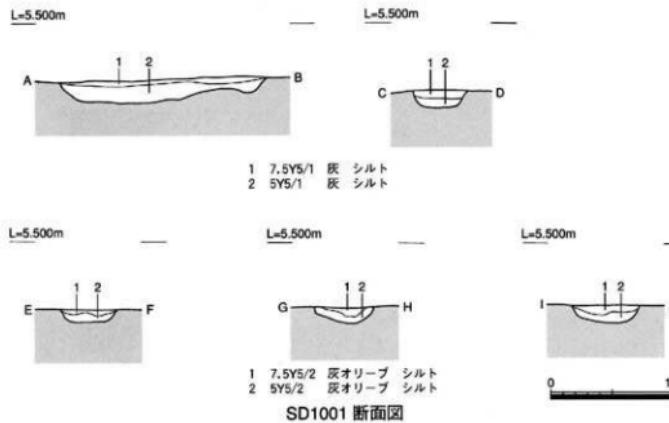
造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。



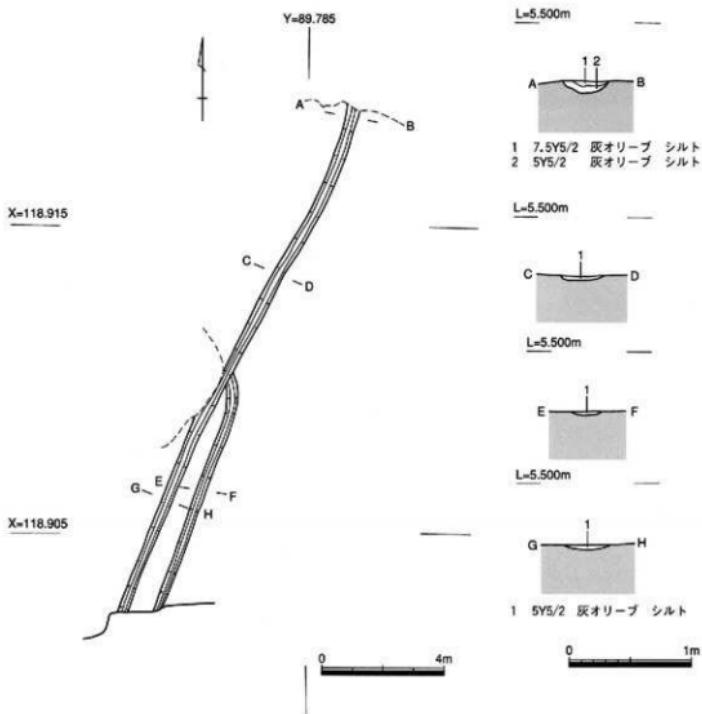
第116図 南区（2004年度3区）第1造構面 調査区造構平面図・土層柱状図



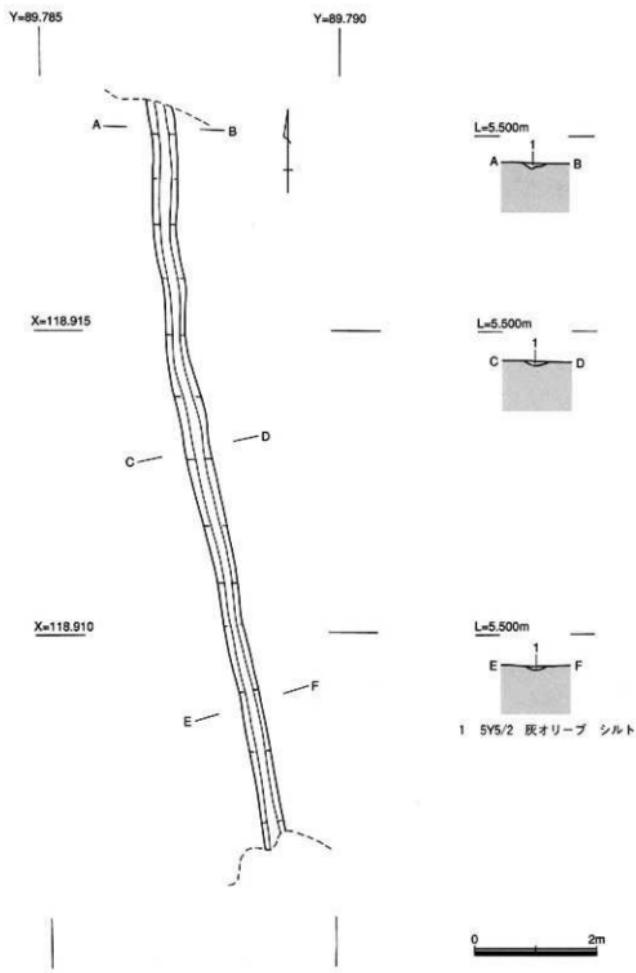
第117図 南区（2004年度3区）SD1001平面図



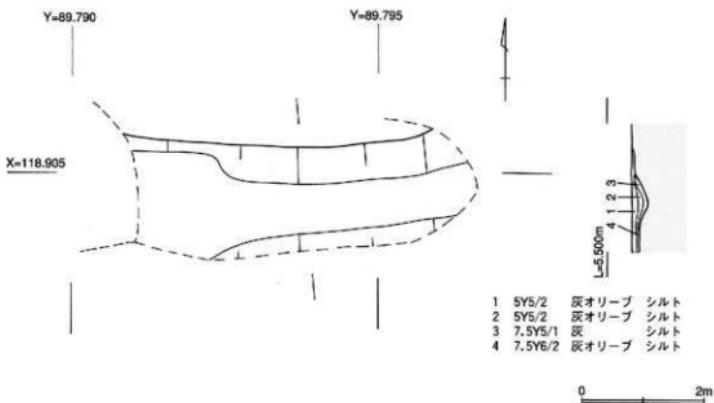
第118図 南区（2004年度3区）SD1001断面図・SD1002平・断面図



第119図 南区（2004年度 3区）SD1003平・断面図



第120図 南区（2004年度3区）SD1004平・断面図



第121図 南区（2004年度3区）SD1005平・断面図

溝（SD1005）（第121図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA、B-19、20に位置する。

規模と形状

検出長5.50m、最大幅1.70m、最大深度0.25mの溝である。現代の擾乱によって形状は不明であるが、残存部はN-86°-Eを軸としている。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層は灰色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

水田跡（第116図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、IV、小グリッドA～G-13～1に位置する。

規模と形狀

調査区全域に水田面が形成がされているが、区画は明確はない。SD1001と1004は約17mの間隔で南北に平行にのびる。とともにN-8°-Wの方向で掘られているが、深さ20cm未溝の浅い溝である。SD1004より東側は耕作痕が南北方向を示すのに対し、西側は東西方向を指す傾向が見られるため、SD1004は区画溝の可能性を残す。

(7) 2004年度3区(第2造構面)

溝 (SD2001) (第123図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドE-13~15に位置する。

規模と形状

検出長10.40m、最大幅0.60m、最大深度0.10mの溝である。N-82°-Eを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。

C-Dは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2002) (第123図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドE-13に位置する。

規模と形状

検出長11.36m、最大幅0.92m、最大深度0.20mの溝である。現代の擾乱によって大部分は不明であるが、残存部はN-85°-Eを軸とした直線状を呈し東端は南へ湾曲していると推測される。

土層

A-Bは2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは3層に分層した。1層~3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2003) (第124図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドE-13に位置する。

規模と形状

検出長29.60m、最大幅1.36m、最大深度0.48mの溝である。N-9°-Wを軸として、直線状を呈する。北側で擾乱を受けているが、西へ向かって屈曲していると推定される。

土層

A-Bは4層に分層した。基本的には、全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

E-Fは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

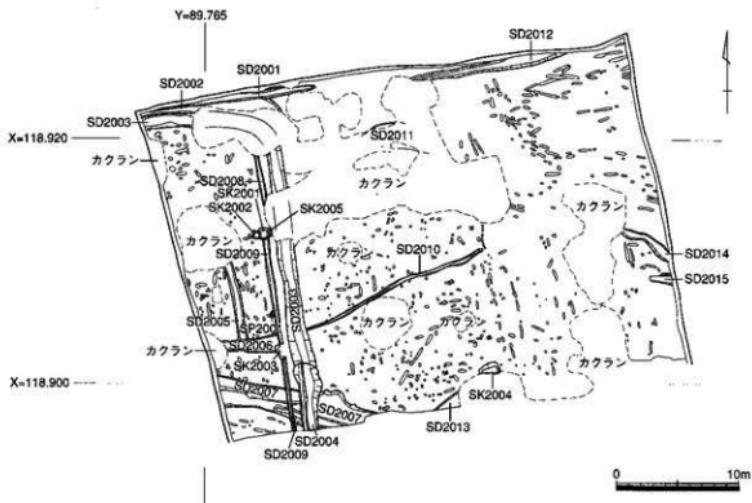
G-Hは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

I-Jは3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD2004) (第125図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-IV、小グリッドC-1に位置する。



第122図 南区（2004年度3区）第2造構面 調査区造構平面図

規模と形状

検出長5.65m、最大幅2.00m、最大深度0.50mの溝である。SD2003とはほぼ同位置であるが、N-6°-Wを軸としている。

土層

A-Bは4層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰色を呈するシルト層である。

C-Dは3層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD2005）（第125図）

位置

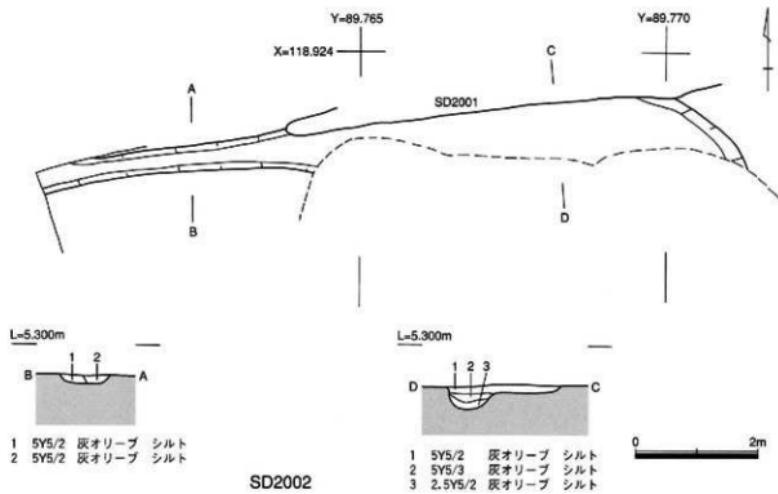
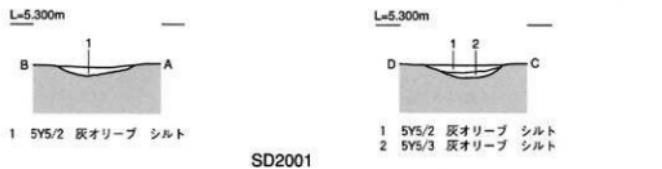
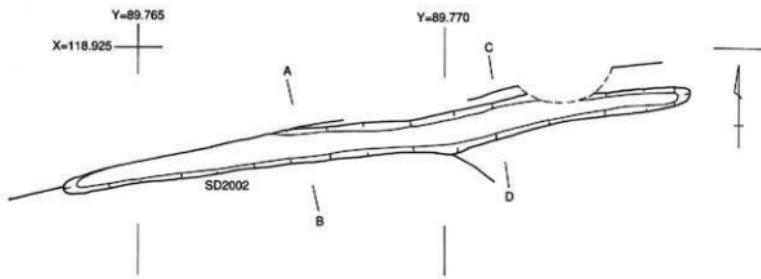
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA～C-14に位置する。

規模と形状

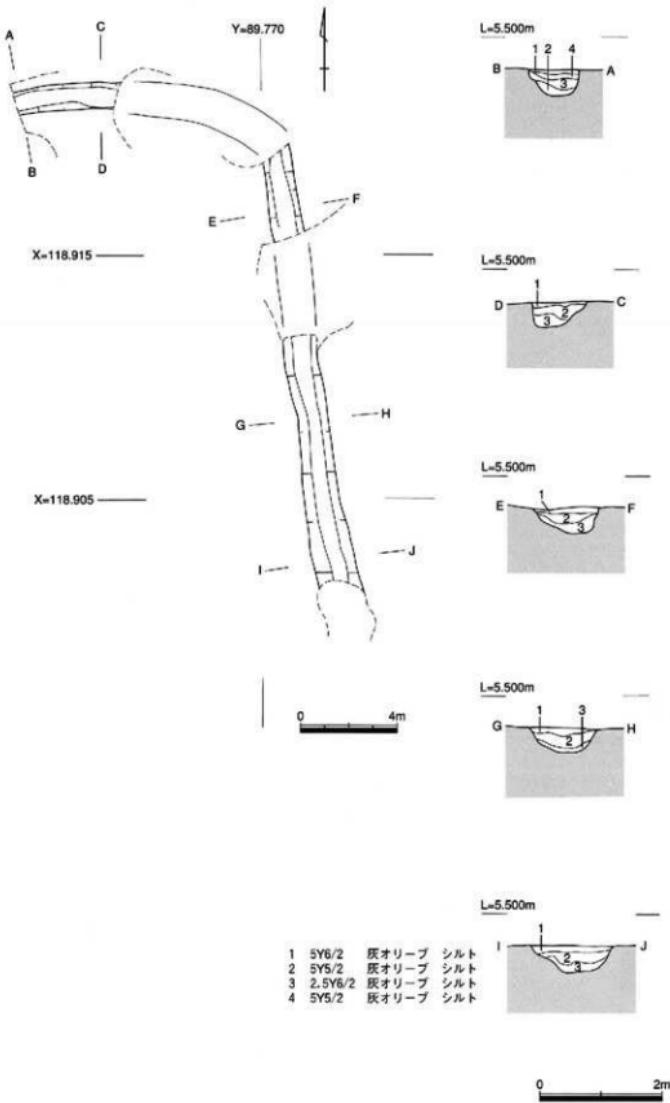
検出長6.30m、最大幅0.75m、最大深度0.06mの溝である。N-11°-Wを軸として、直線状を呈する。

土層

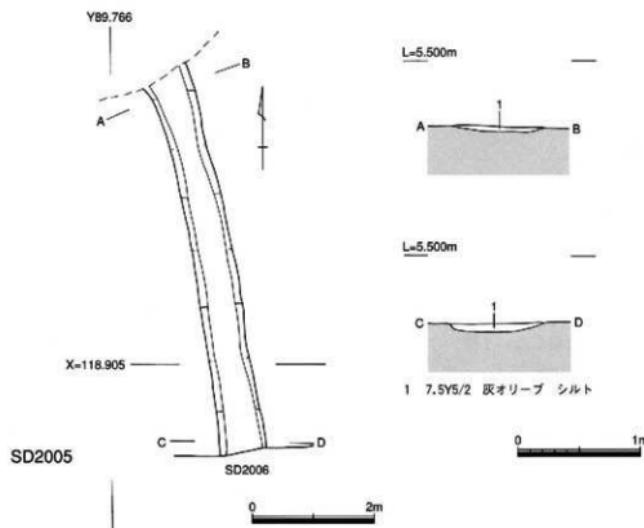
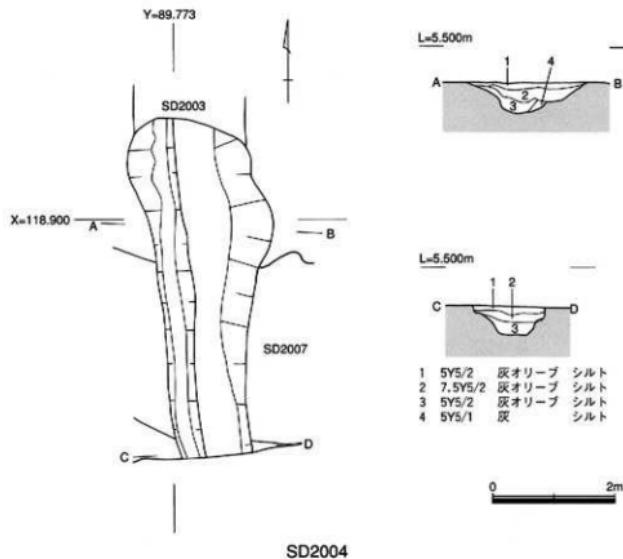
造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。



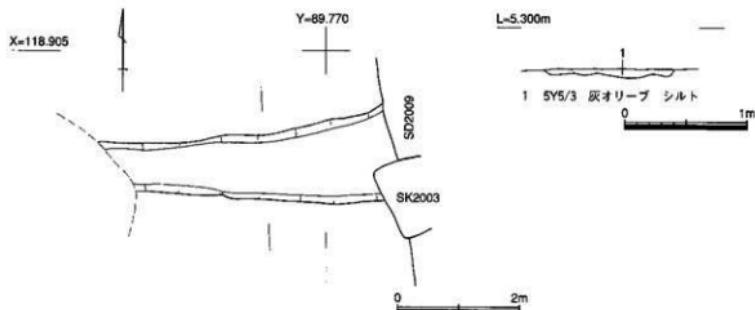
第123図 南区（2004年度3区）SD2001・SD2002平・断面図



第124図 南区（2004年度3区）SD2003平・断面図



第125図 南区（2004年度3区）SD2004・SD2005平・断面図



第126図 南区（2004年度3区）SD2006平・断面図

溝（SD2006）（第126図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA-14、15に位置する。

規模と形状

検出長4.80m、最大幅1.45m、最大深度0.08mの溝である。N-86°-Eを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。

溝（SD2007）（第127図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドd-III、小グリッドT-15、16に位置する。

規模と形状

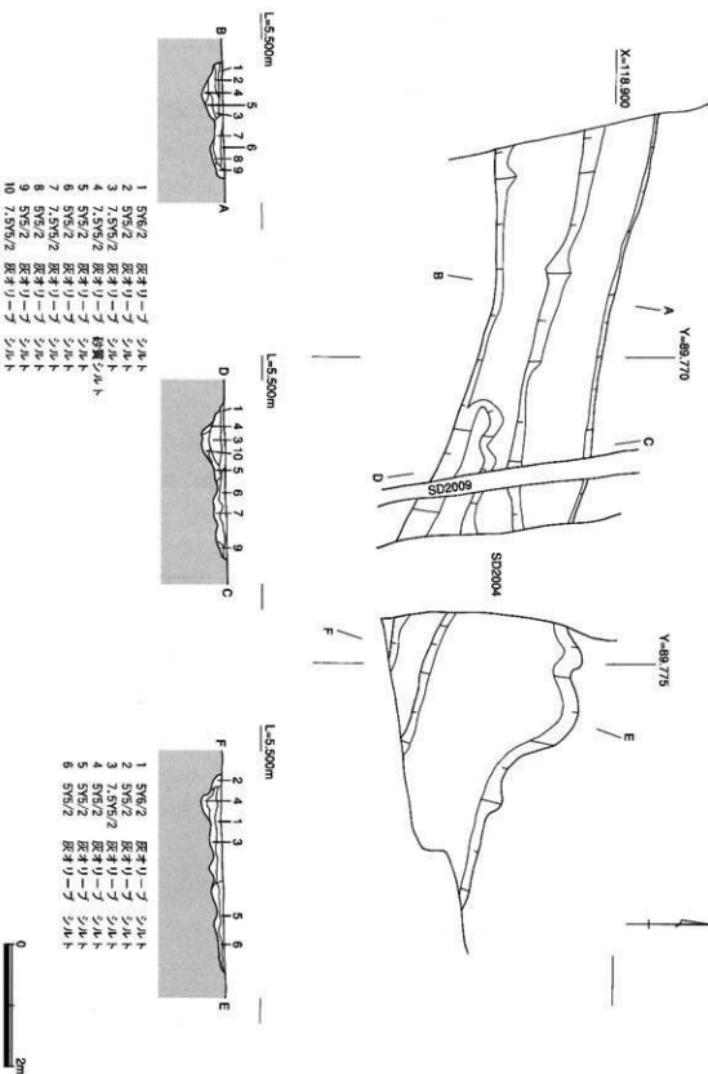
検出長13.40m、最大幅3.28m、最大深度0.35mの幅の溝である。N-74°-Wを軸として直線状を呈する。

土層

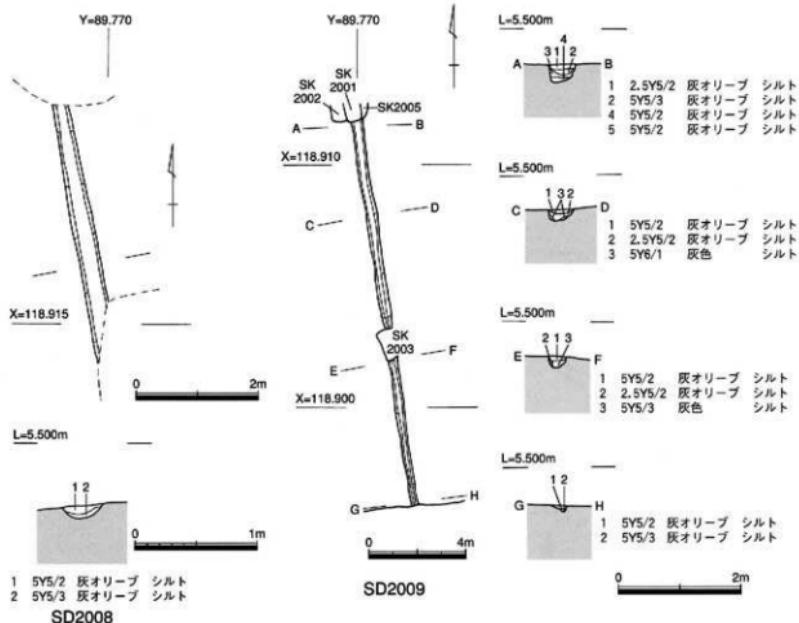
A-Bは9層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。5層～9層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは8層に分層した。1層、3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。5層～7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。9層、10層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

E-Fは6層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層～7層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第127図 南区(2004年度3区) SD2007平・断面図



第128図 南区（2004年度3区）SD2008・SD2009平・断面図

溝（SD2008）（第128図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドε-III、小グリッドD-14に位置する。

規模と形状

検出長4.25m、最大幅0.35m、最大深度0.12mの溝である。

土層

造構の堆積上は2層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD2009）（第128図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドδ、ε-III、小グリッドT-E-14、15に位置する。

規模と形状

検出長16.00m、最大幅0.48m、最大深度0.32mの溝である。N-9°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは4層に分層した。1層～4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-D、E-F、G-Hは3層に分層した。1層、2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。3層

は灰色を呈するシルト層である。

溝（SD2010）（第129図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ、ε-III、小グリッド T-C-15~18に位置する。

規模と形状

検出長15.80m、最大幅0.40m、最大深度0.12m の溝である。N-66°-E を軸とした直線状を呈する。

土層

A-B、C-D は灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。

E-F、G-II は 2 層に分層した。1 層、2 層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD2011）（第129図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド D、E-16、17に位置する。

規模と形状

検出長2.50m、最大幅1.76m、最大深度0.08m で大部分が攪乱を受けており、形状は不明である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。

溝（SD2012）（第130図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド F-17~19に位置する。

規模と形状

検出長13.20m、最大幅0.96m、最大深度0.16m の溝である。N-79°-E を軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は 3 層に分層した。基本的には、全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD2013）（第130図）

位置

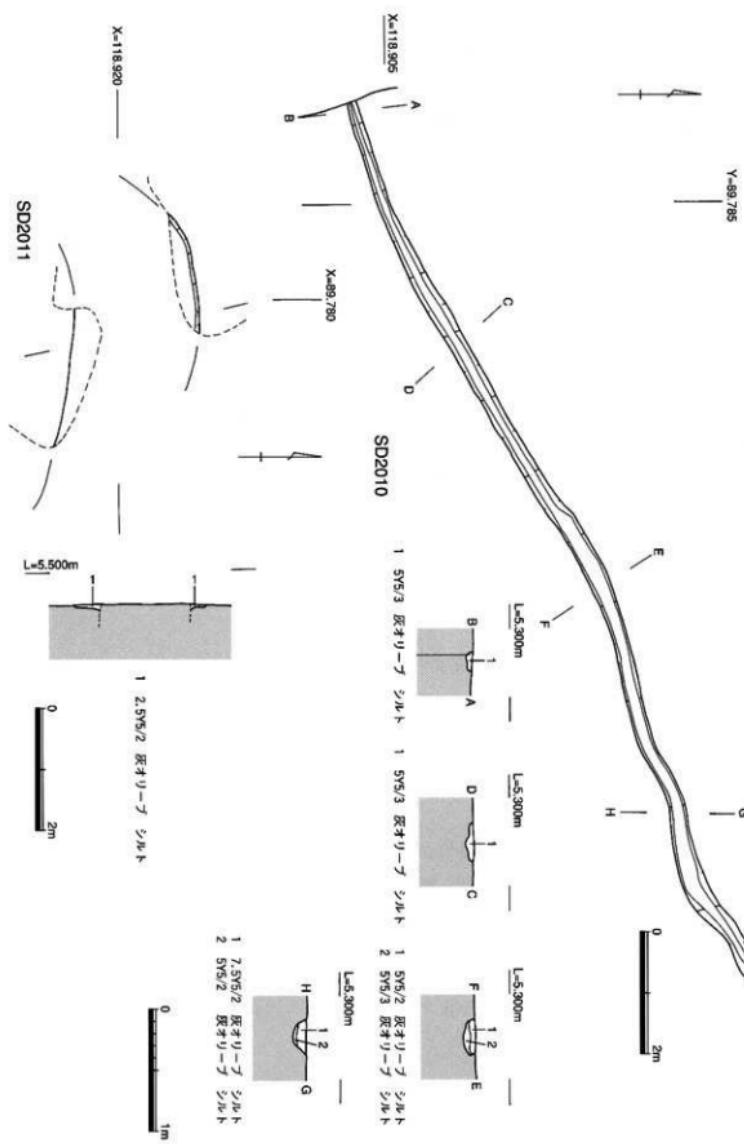
大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ-III、小グリッド T-17、18に位置する。

規模と形状

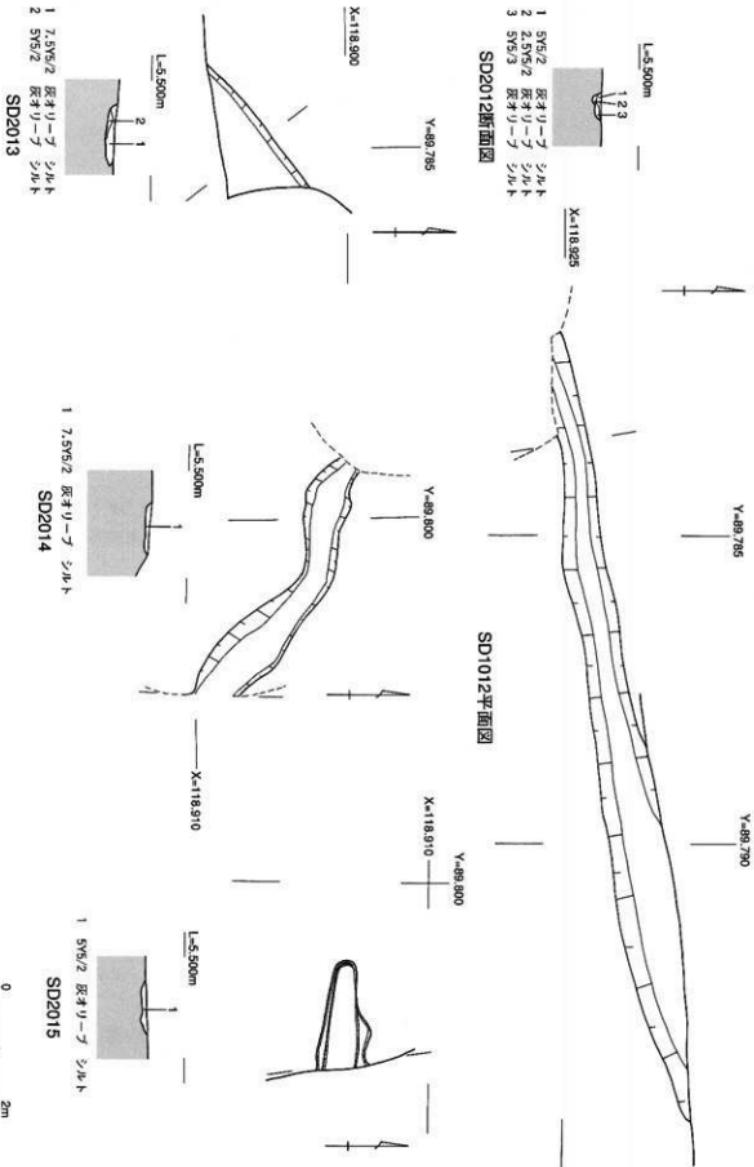
検出長2.64m、最大幅1.20m、最大深度0.16m であるが、大部分が調査区外にあたるため、検出された平面形は三角形を呈する。

土層

造構の堆積土は分層した。1 層、2 層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第129回 南区(2004年度3区) SD2010・SD2011平・断面図



第130図 南区(2004年度3区) SD2012・SD2013・SD2014・SD2015平・断面図

SD2013

1 7.5V5/2 反オーリーブ シルト
2 5V5/2 反オーリーブ シルト

SD2014

1 7.5V5/2 反オーリーブ シルト
2 5V5/2 反オーリーブ シルト

SD2015

溝（SD2014）（第130図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド C-1 に位置する。

規模と形状

検出長4.72m、最大幅0.96m、最大深度0.08m の溝で、N-60°-W を軸に蛇行している。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。

溝（SD2015）（第130図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-IV、小グリッド B-1 に位置する。

規模と形状

検出長1.75m、最大幅0.85m、最大深度0.12m の溝の西端にあたる。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる單一層である。

水田跡（第122図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、IV、小グリッド A-G-13~1 に位置する。

規模と形状

調査区全域に水田面が形成がされている。SD2003と2009は、N-9°-W の方向で南北に延び、区画溝の可能性があるが、耕作痕の方向は一定していない。

土坑（SK2001）（第131図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド C-14、15 に位置する。

規模と形状

検出長0.95m、最大幅0.73m、最大深度0.28m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑（SK2002）（第131図）

位置

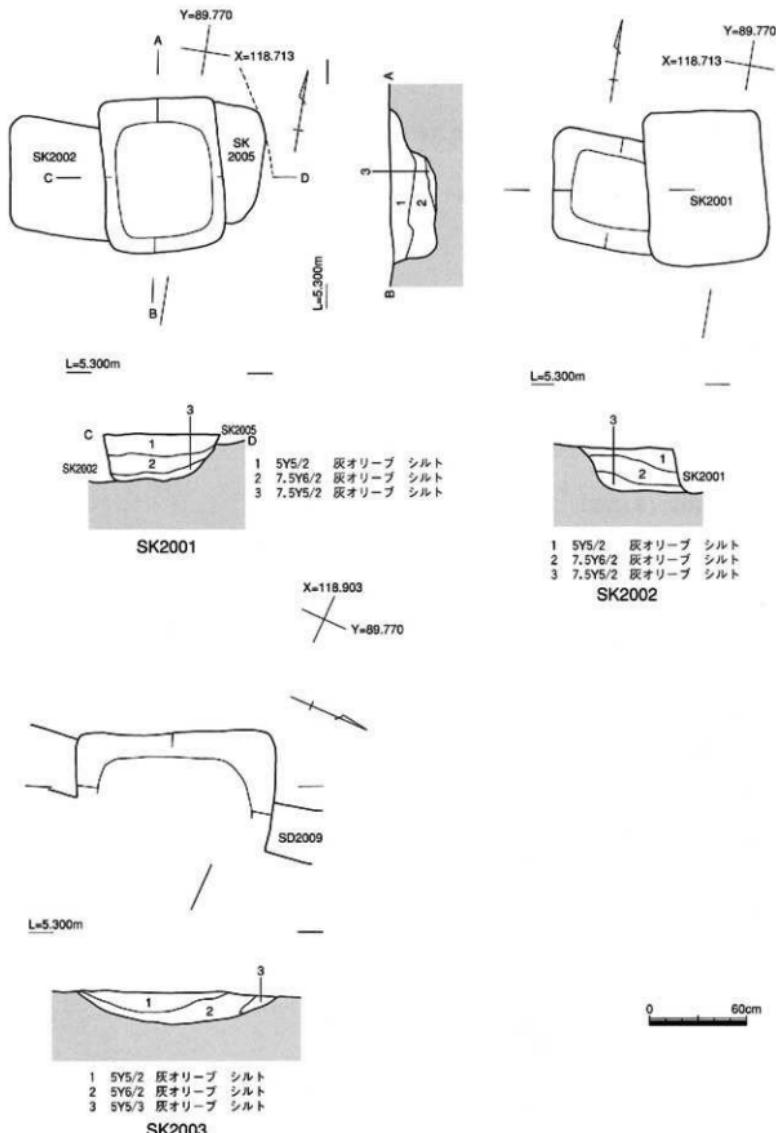
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド C-14 に位置する。

規模と形状

検出長0.70m、最大幅0.56m、最大深度0.26m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第131図 南区（2004年度3区）SK2001・SK2002・SK2003平・断面図

土坑（SK2003）（第131図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ-III、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長1.22m、最大幅0.39m、最大深度0.20m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑（SK2004）（第132図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド δ-III、小グリッド A-18に位置する。

規模と形状

検出長1.62m、最大幅0.85m、最大深度0.24m の梢円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑（SK2005）（第132図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド C-15に位置する。

規模と形状

検出長0.65m、最大幅0.19m、最大深度0.05m の半梢円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

柱穴（SP2001）（第133図）

位置

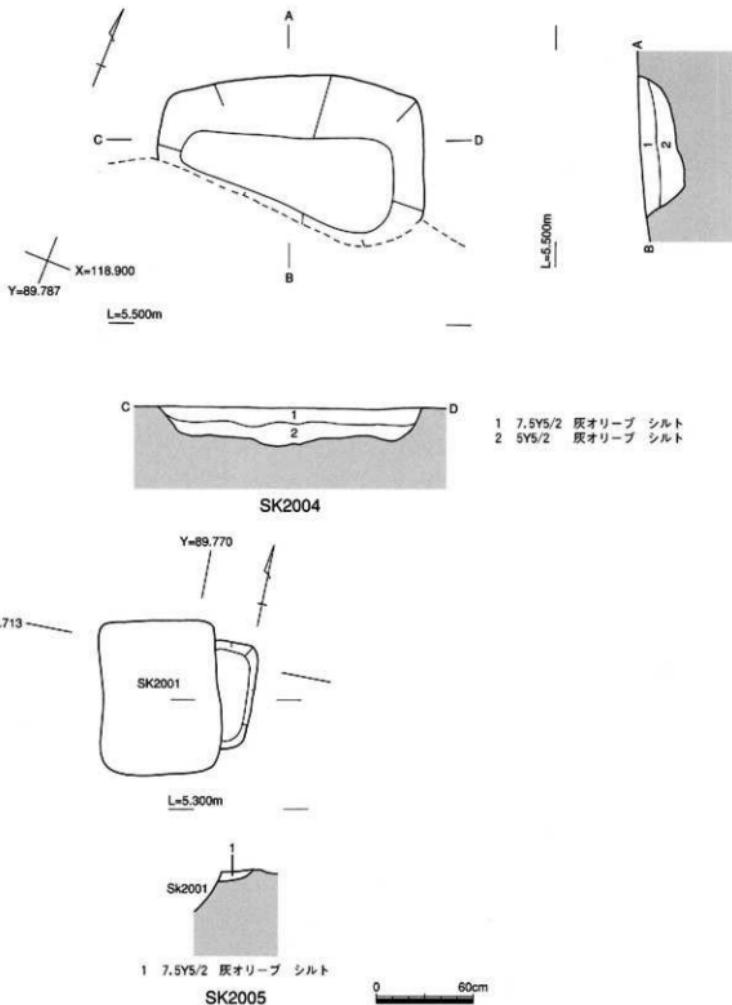
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド B-15に位置する。

規模と形状

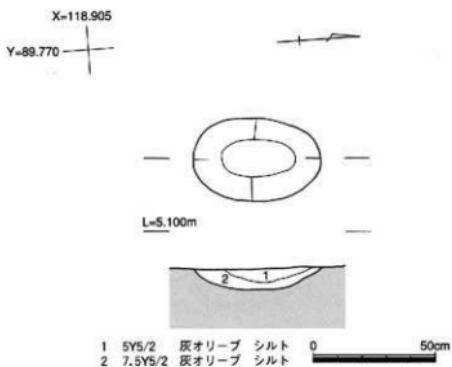
検出長0.52m、最大幅0.33m、最大深度0.08m の梢円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第132図 南区（2004年度3区）SK2004・SK2005平・断面図



第133図 南区（2004年度3区）SP2001平・断面図

(8) 2004年度3区(第3邊構面)

溝 (SD3001) (第135図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド B、C-14に位置する。

規模と形状

検出長5.40m、最大幅0.35m、最大深度0.10mの溝である。N-4.5°-Eを軸とした直線状を呈している。

土層

造構の堆積土は黄褐色を呈する粘質シルトによる単一層である。

溝 (SD3002) (第135図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド C-13~15に位置する。

規模と形状

検出長6.95m、最大幅0.42m、最大深度0.09mの溝である。N-73°-Wを軸とし、ほぼ直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は黄褐色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD3003) (第136図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド B~F-13、14に位置する。

規模と形状

検出長15.78m、最大幅0.65m、最大深度0.08mの溝である。N-10°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD3004) (第137図)

位置

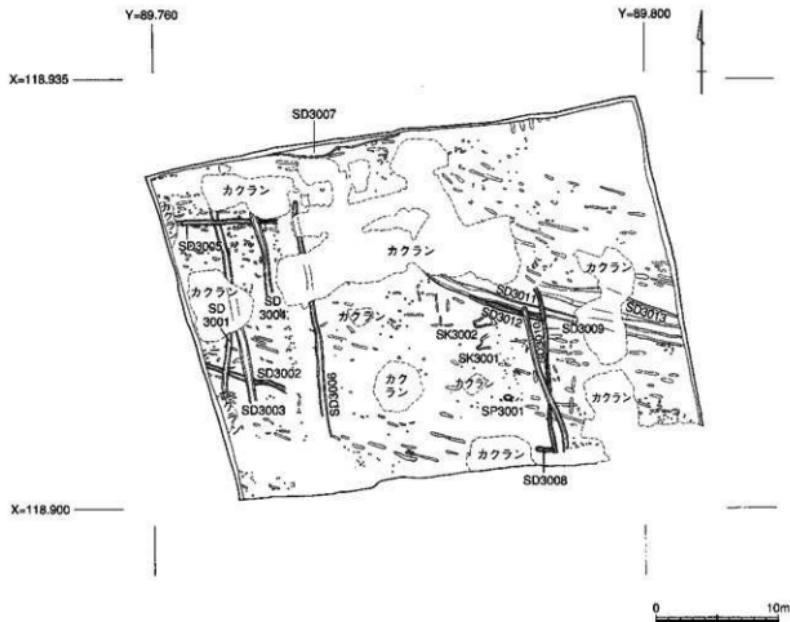
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド D、E-14に位置する。

規模と形状

検出長6.45m、最大幅0.50m、最大深度0.20mの溝である。N-11°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は灰オリーブ色を呈する粘質シルト層である。



第134図 南区（2004年度3区）第3造構面 調査区造構平面図

溝（SD3005）（第137図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドE-13、14に位置する。

規模と形状

検出長8.27m、最大幅0.40m、最大深度0.05mの溝である。正方位の東西を軸とした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

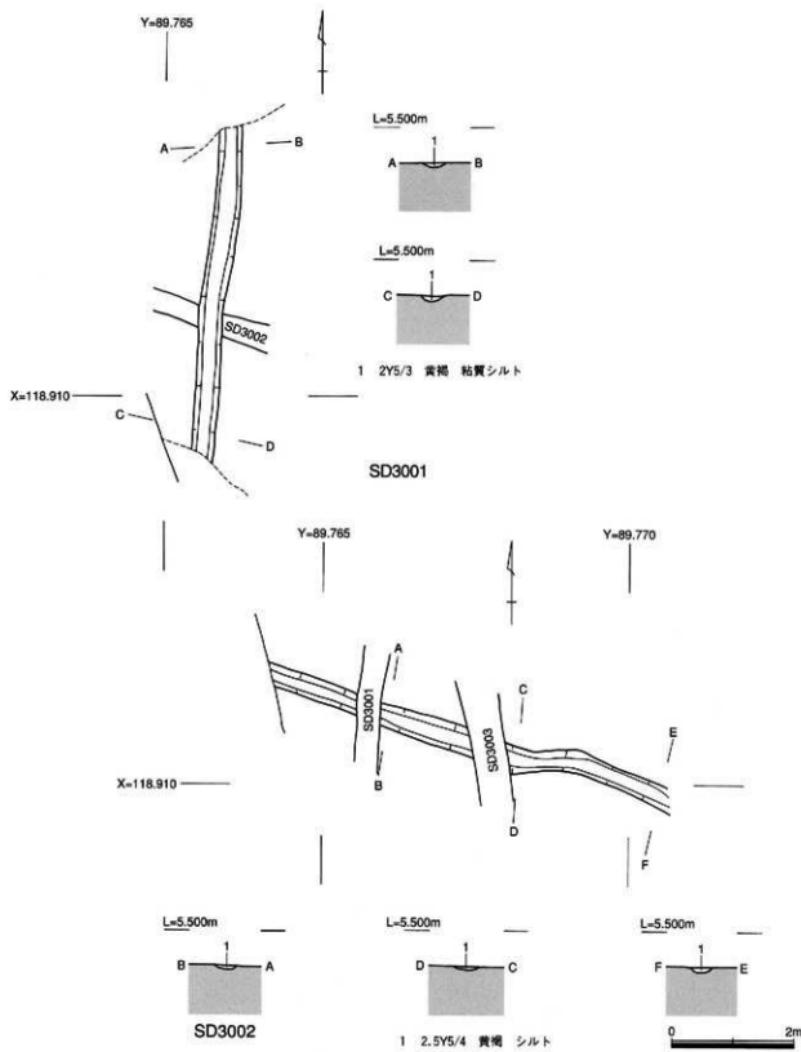
溝（SD3006）（第138図）

位置

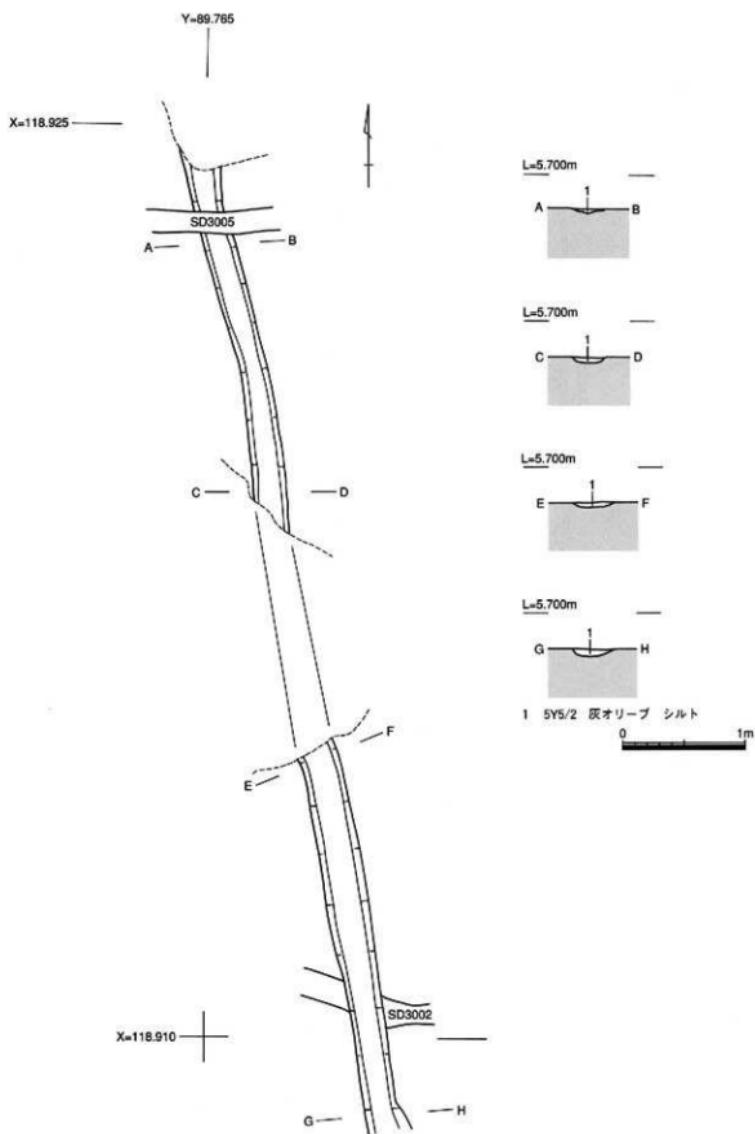
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドB~F-15に位置する。

規模と形状

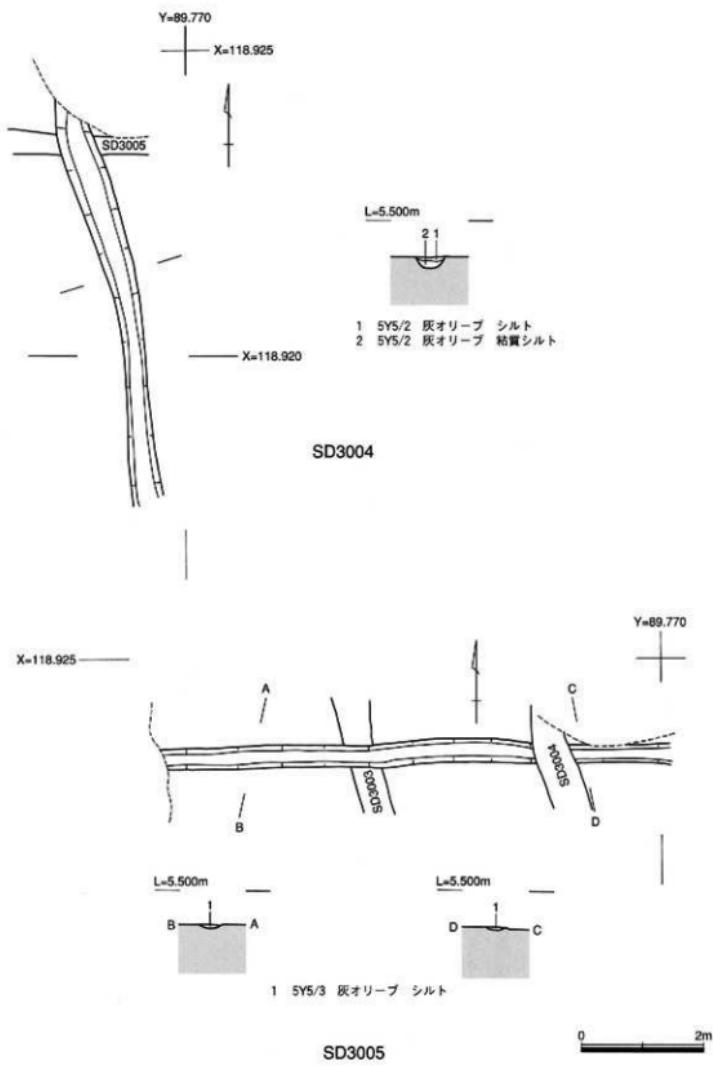
検出長19.35m、最大幅0.50m、最大深度0.12mの溝である。N-10°-Wを軸とした直線状を呈する。北端は調査区内で終息する。



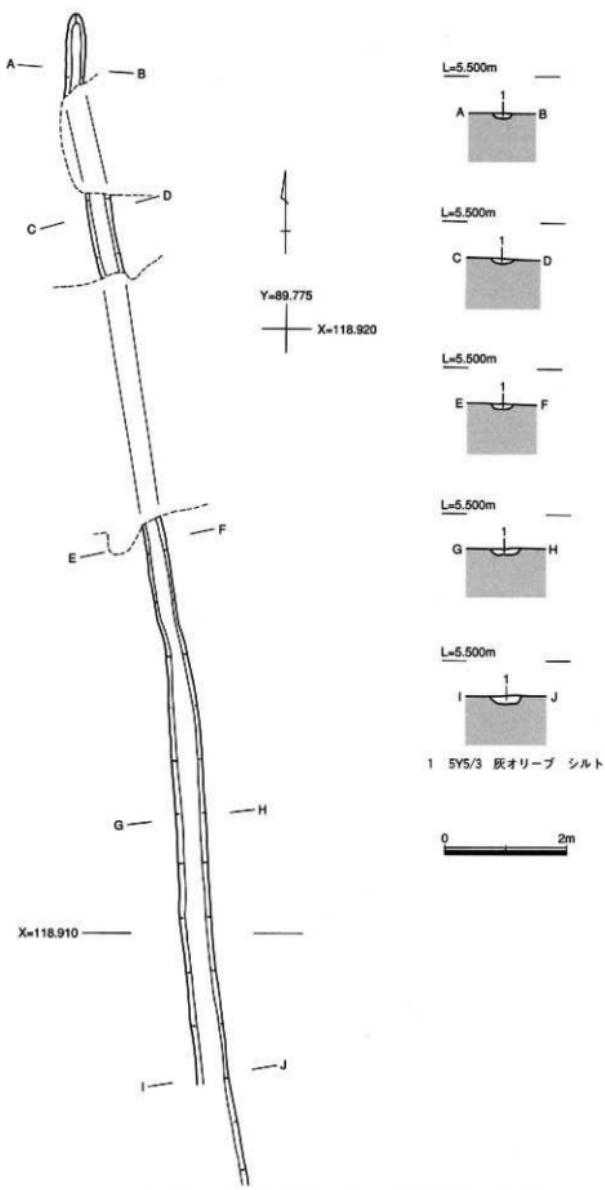
第135図 南区（2004年度3区）SD3001・SD3002平・断面図



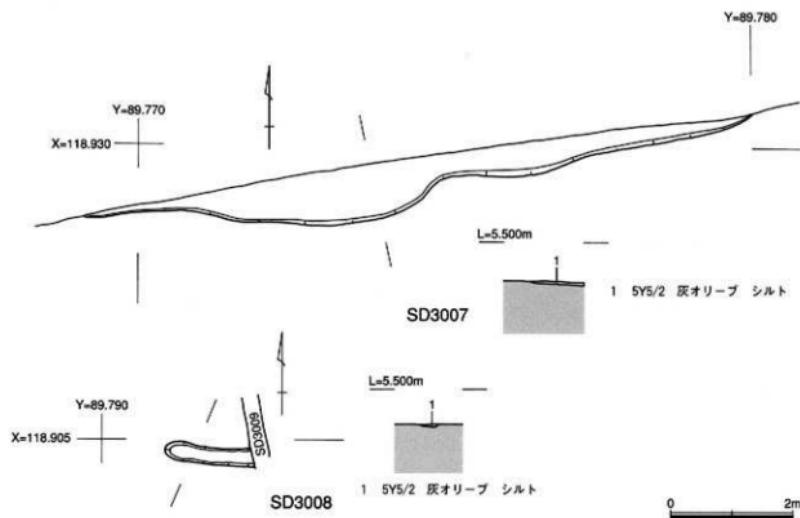
第136図 南区（2004年度3区）SD3003平・断面図



第137図 南区（2004年度3区）SD3004・SD3005平・断面図



第138図 南区（2004年度3区）SD3006平・断面図



第139図 南区（2004年度3区）SD3007・SD3008平・断面図

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルト層による単一層である。

溝（SD3007）（第139図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドε-III、小グリッドF、G-14~16に位置する。

規模と形状

検出長11.00m、最大幅0.90m、最大深度0.05mの溝である。大部分が調査区外に位置し、形状は不明である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝（SD3008）（第139図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドε-III、小グリッドA-19に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅0.30m、最大深度0.05mの溝である。N-83°-Wを軸にした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝（SD3009）（第140図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA~D-19に位置する。

規模と形状

検出長13.80m、最大幅0.35m、最大深度0.07mの溝である。N-5°-Wと軸とした直線状を呈するが、北端はやや西へ傾斜する。

土層

遺構の堆積土はオリーブ黄色を呈するシルトによる単一層である。

溝（SD3010）（第140図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA~D-19に位置する。

規模と形状

検出長12.15m、最大幅0.42m、最大深度0.10mの溝である。N-16°-Wを軸に、やや蛇行した直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土はオリーブ黄色を呈するシルトによる単一層である。

溝（SD3011）（第141図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、IV、小グリッドC、D-17~1に位置する。

規模と形状

検出長21.73m、最大幅0.70m、最大深度0.14mの溝である。N-76°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ黄色を呈するシルト層である。2層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝（SD3012）（第141図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドD-18、19に位置する。

規模と形状

検出長6.25m、最大幅0.35m、最大深度0.10mの溝である。N-73°-Wを軸とした直線状を呈する。

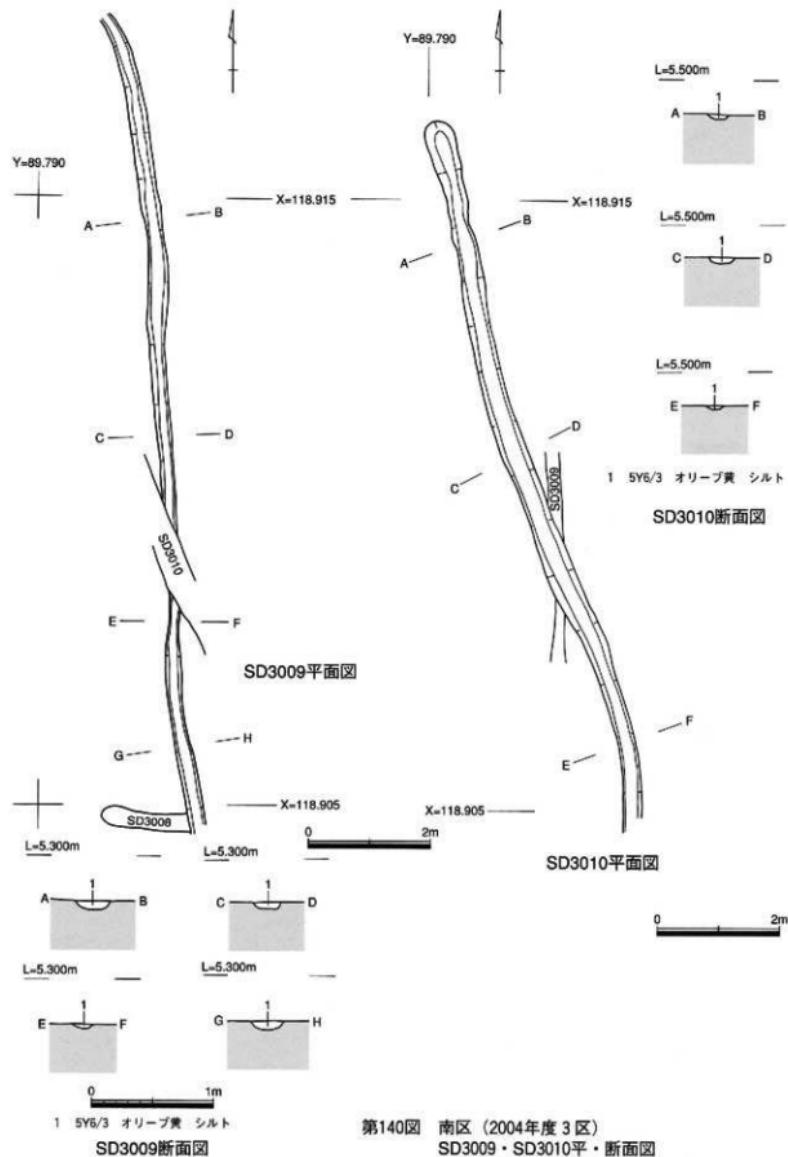
土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

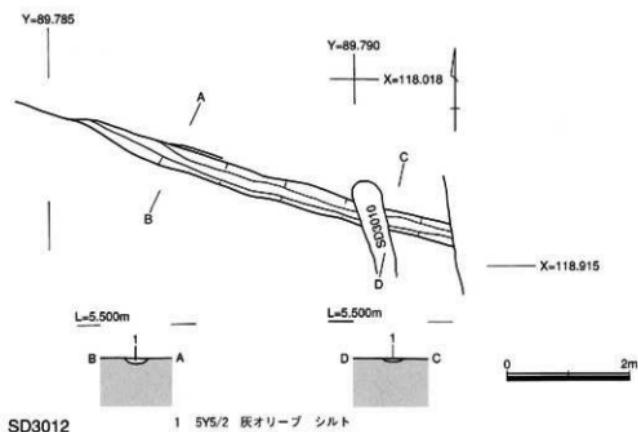
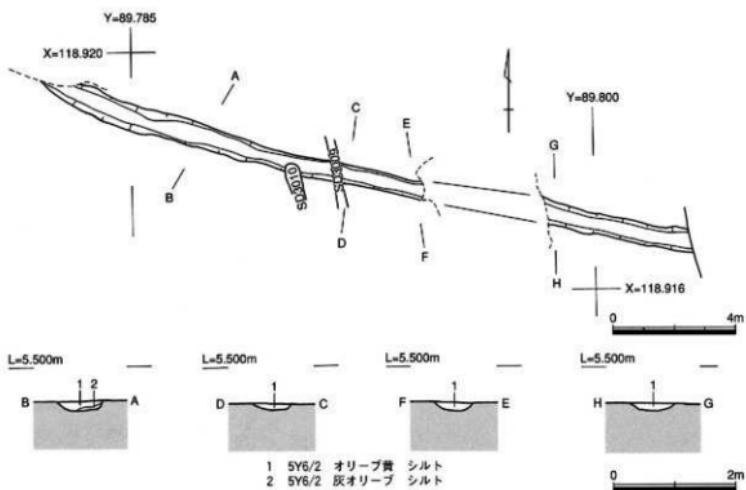
溝（SD3013）（第142図）

位置

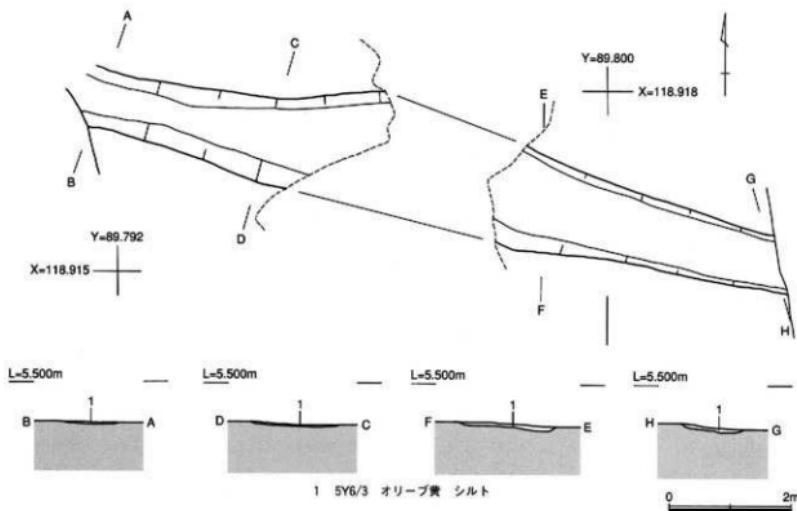
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドD-19~1に位置する。



第140図 南区（2004年度3区）
SD3009・SD3010平・断面図



第141図 南区（2004年度3区）SD3011・SD3012平・断面図



第142図 南区（2004年度3区）SD3013平・断面図

規模と形状

検出長16.95m、最大幅1.57m、最大深度0.07mの溝である。N-76°-Wを軸とした直線状を呈する。中央部は擾乱を受けている。

土層

造構の堆積土はオリーブ黄色を呈するシルトによる単一層である。

水田跡（第134図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、IV、小グリッドA~G-13~1に位置する。

規模と形状

調査区全域に水田面が形成されている。SD3003、3004、3006は、ほぼN-10°-Wを軸にした細く浅い溝である。耕作痕は一定しておらず、明確な区画は存在しない。

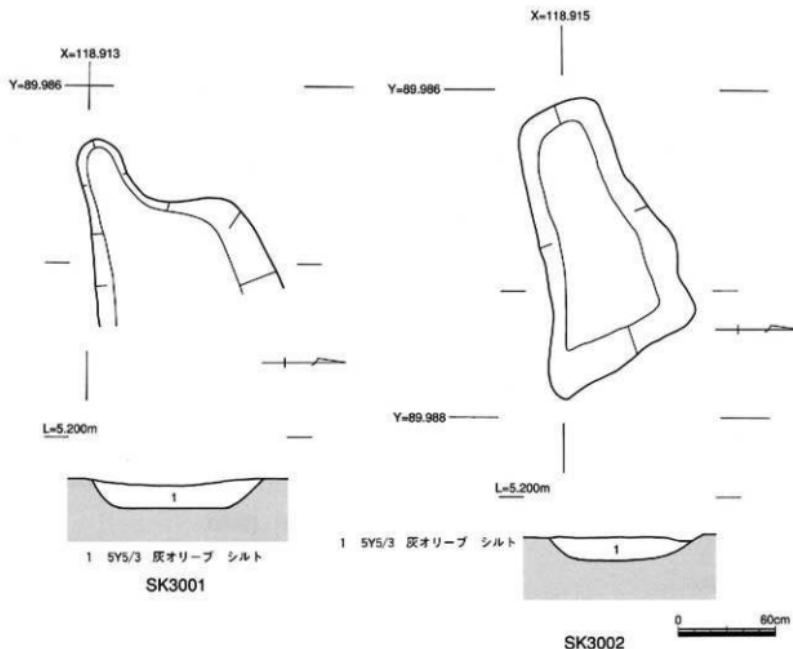
土坑（SK3001）（第143図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドC-18に位置する。

規模と形状

検出長1.14m、最大幅1.09m、最大深度0.18mの不定形である。



第143図 南区（2004年度3区）SK3001・SK3002平・断面図

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

土坑（SK3002）（第143図）

位置

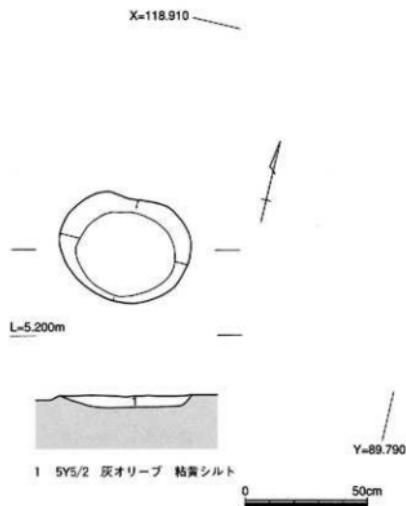
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドD-18に位置する。

規模と形状

検出長1.85m、最大幅0.84m、最大深度0.18m のいびつな台形である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。



第144図 南区（2004年度3区）SP3001平・断面図

柱穴（SP3001）（第144図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドB-18に位置する。

規模と形状

検出長0.55m、最大幅0.45m、最大深度0.04mの円形である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈する粘質シルトによる単一層である。

(9) 2004年度 3区 (第4造構面)

溝 (SD4001) (第146図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド A~D-15に位置する。

規模と形状

検出長27.40m、最大幅1.40m、最大深度0.40m の溝である。N-9°-E を軸にした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

溝 (SD4002) (第146図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド A~C-18に位置する。

規模と形状

検出長10.70m、最大幅0.80m、最大深度0.08m の溝である。N-16°-E を軸にした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルト層による単一層である。

溝 (SD4003) (第147図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド B、C-18に位置する。

規模と形状

検出長7.40m、最大幅0.95m、最大深度0.07m の溝である。正方位の南北を軸にした直線状を呈する。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

溝 (SD4004) (第148図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、IV、小グリッド C~F-13~1に位置する。

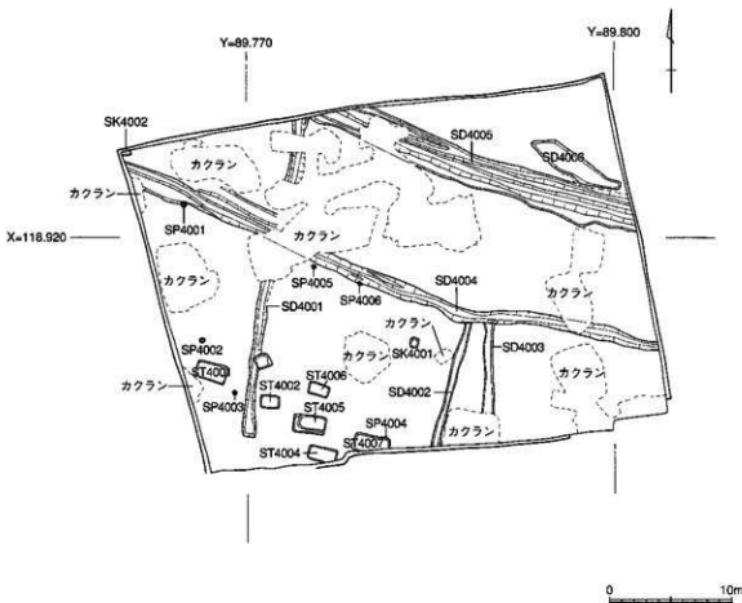
規模と形状

検出長46.20m、最大幅2.40m、最大深度0.30m の溝である。西側2/3は N-68°-W を軸とした直線状を呈するが、東側1/3は N-80°-W に変化している。

土層

A-Bは4層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは5層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第145図 南区（2004年度3区）第4造構面 調査区造構平面図

溝（SD4005）（第149図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、IV、小グリッドE~G-16~1に位置する。

規模と形状

検出長27.00m、最大幅1.55m、最大深度0.65mの溝である。N-71°-Wを軸とした直線状を呈する。

土層

A-Bは6層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

C-Dは5層に分層した。2層~5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。7層は黄褐色を呈するシルト層である。

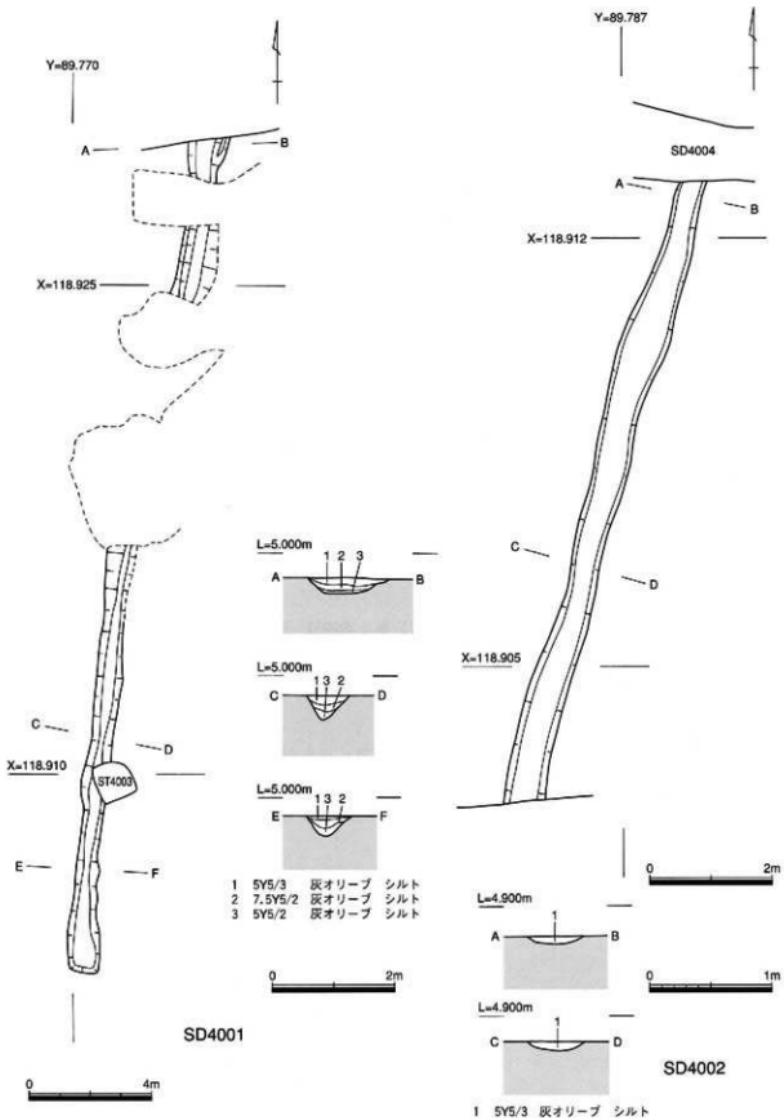
出土遺物

135は須恵器の鉢である。

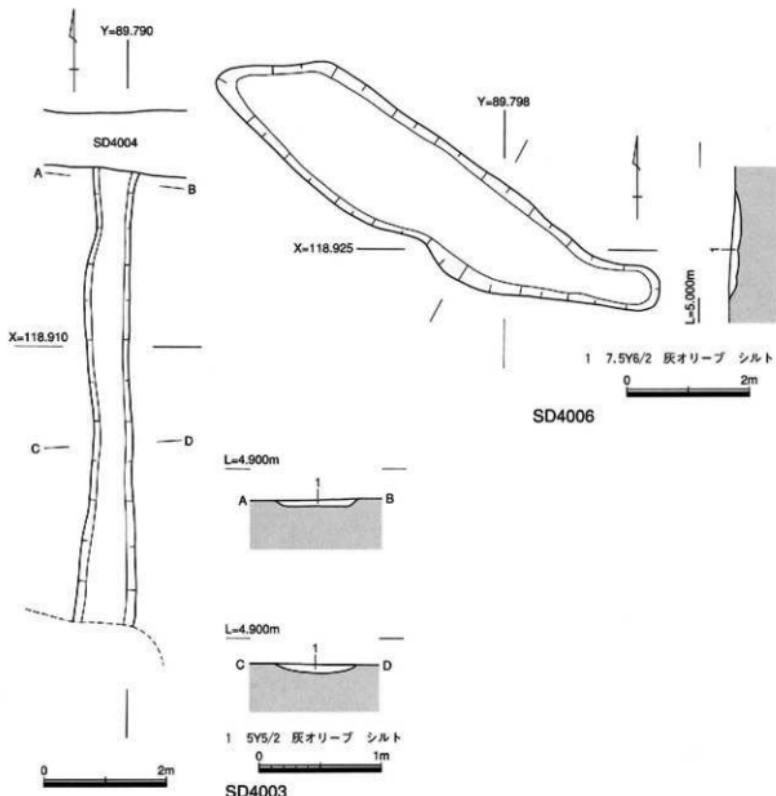
溝（SD4006）（第147図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、IV、小グリッドE、F-19~1に位置する。



第146図 南区（2004年度3区）SD4001・SD4002平・断面図



第147図 南区（2004年度3区）SD4003・SD4006平・断面図

規模と形状

検出長8.00m、最大幅0.88m、最大深度0.15mの溝である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

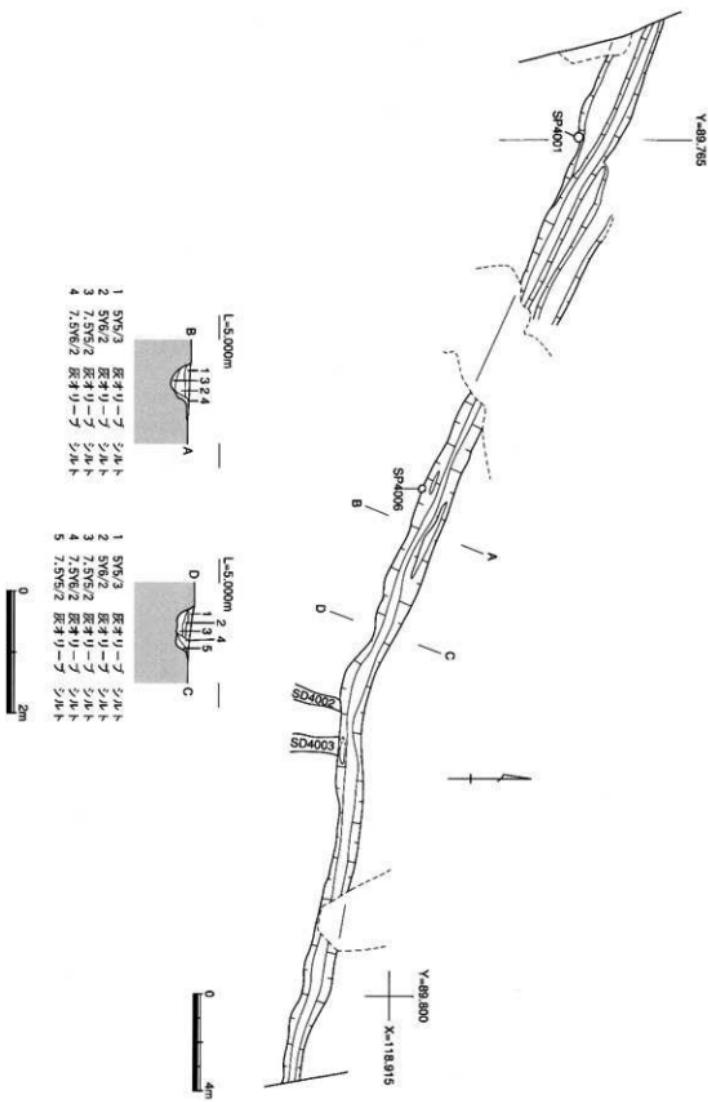
土坑（SK4001）（第150図）

位置

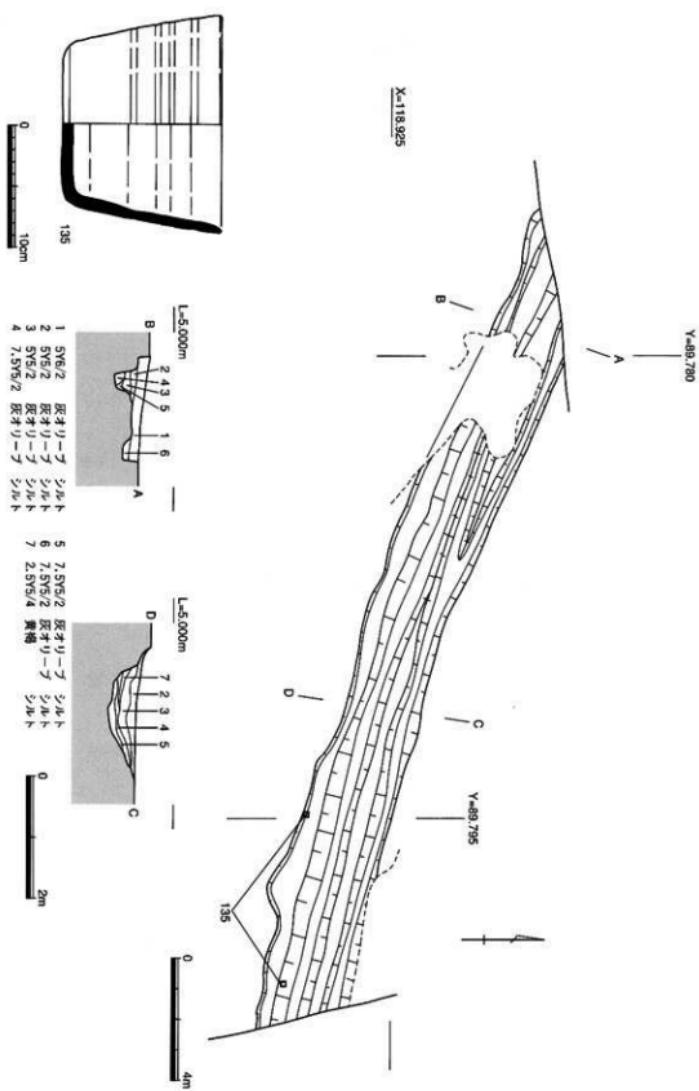
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-I、小グリッドC-17に位置する。

規模と形状

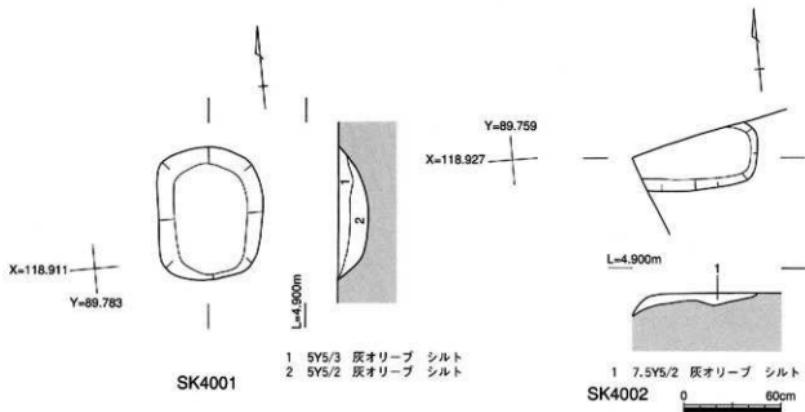
検出長0.82m、最大幅0.68m、最大深度0.17mの楕円形である。



第148図 南区 (2004年度3区) SD4004平・断面図



第149図 南区(2004年度3区) SD4005平・断面図・遺物出土状況ドット図・出土遺物



第150図 南区（2004年度3区）SK4001・SK4002平・断面図

土層

造構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土坑（SK4002）（第150図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドF-13に位置する。

規模と形状

検出長0.75m、最大幅0.36m、最大深度0.07mであるが、造構の半分は調査区外に位置するため形状は不明である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

柱穴（SP4001）（第151図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドE-13に位置する。

規模と形状

検出長0.38m、最大幅0.36m、最大深度0.20mの円形である。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP4002) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド C-14に位置する。

規模と形状

検出長0.40m、最大幅0.31m、最大深度0.14m の円形である。

土層

遺構の堆積土は灰オリーブ色を呈するシルトによる単一層である。

柱穴 (SP4003) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド B-14に位置する。

規模と形状

検出長0.35m、最大幅0.31m、最大深度0.18m の円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP4004) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド A-17に位置する。

規模と形状

検出長0.27m、最大幅0.26m、最大深度0.21m の円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP4005) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド D-16に位置する。

規模と形状

検出長0.31m、最大幅0.31m、最大深度0.12m の円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

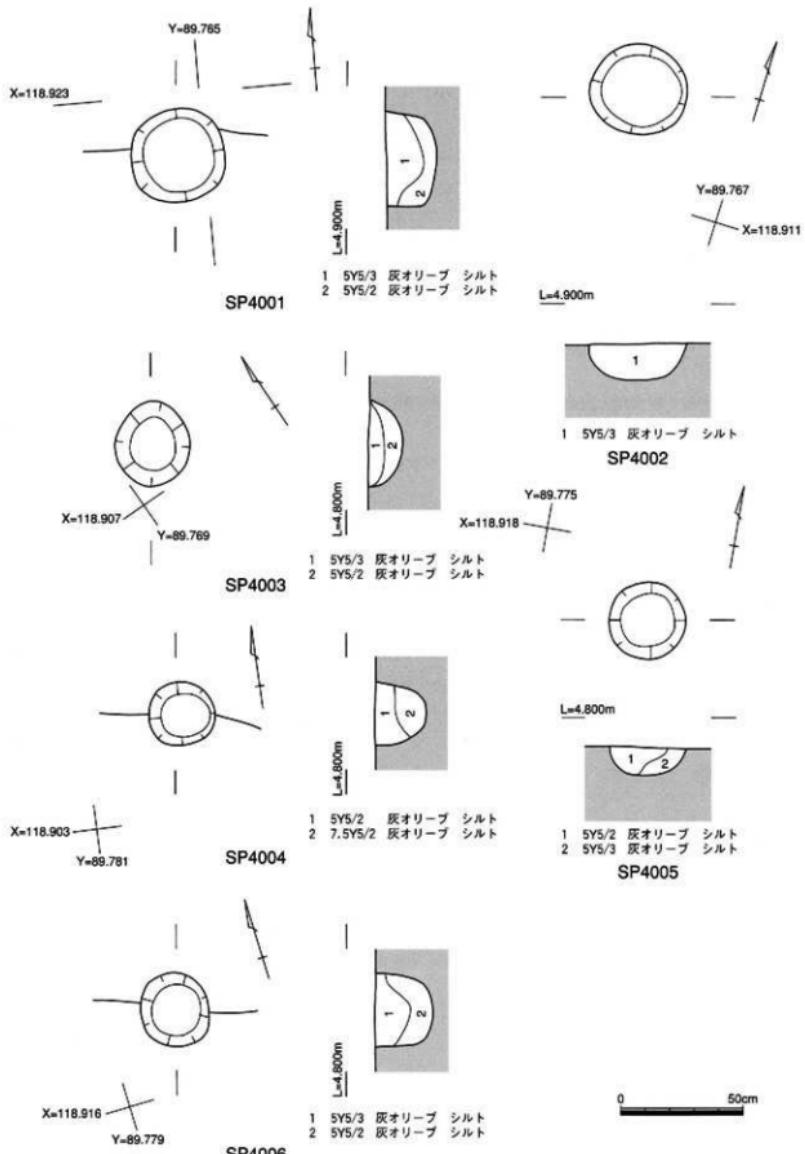
柱穴 (SP4006) (第151図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド D-16に位置する。

規模と形状

検出長0.31m、最大幅0.28m、最大深度0.24m の円形である。



第151図 南区（2004年度3区）SP4001・SP4002・SP4003・SP4004・SP4005・SP4006平・断面図

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST4001）（第152図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドB-14に位置する。

規模と形状

検出長2.45m、最大幅1.75m、最大深度0.51mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層、6層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST4002）（第152図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドB-15に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅0.95m、最大深度0.55mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST4003）（第152図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドB-15に位置する。

規模と形状

検出長1.21m、最大幅1.16m、最大深度0.40mの四角形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壙墓（ST4004）（第152図）

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA-16に位置する。

規模と形状

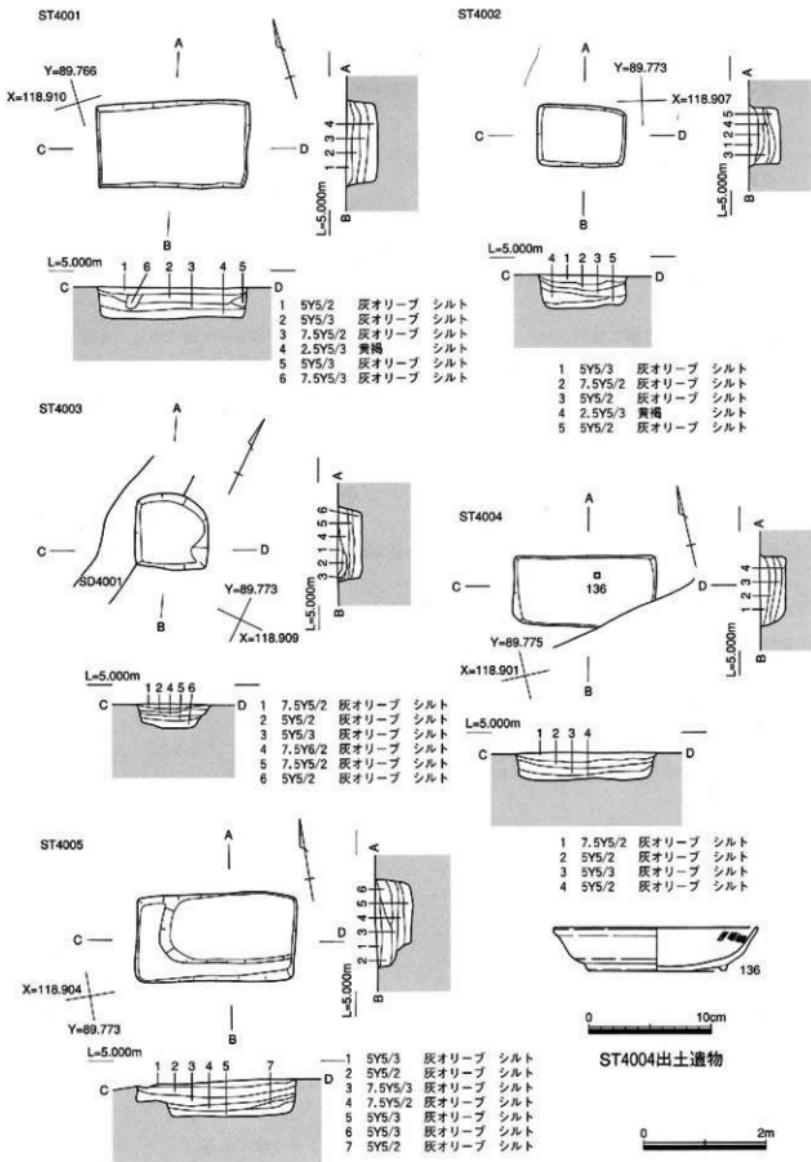
検出長2.30m、最大幅1.15m、最大深度0.42mの長方形である。

土層

遺構の堆積土は4層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。

出土遺物・時期

136は土師器の杯である。内面に放射状暗文が一部残存する。時期は奈良時代である。



第152図 南区（2004年度3区）ST4001・ST4002・ST4003・ST4004・ST4005
平・断面図・遺物出土状況ドット図・ST4004出土遺物

土壤墓（ST4005）（第152図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド A-16に位置する。

規模と形状

検出長2.60m、最大幅1.50m、最大深度0.62m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は7層に分層した。すべて灰オリーブ色を呈するシルト層である。

土壤墓（ST4006）（第153図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド B-16に位置する。

規模と形状

検出長1.10m、最大幅0.95m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層は暗灰黄色を呈するシルト層である。

土壤墓（ST4007）（第153図）

位置

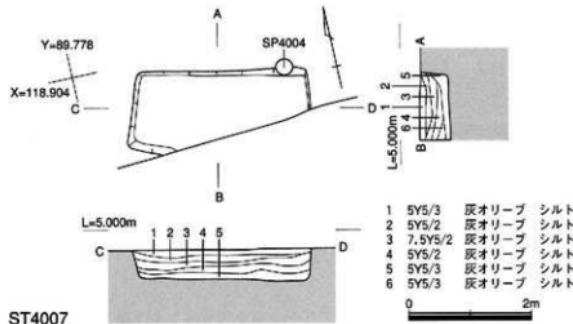
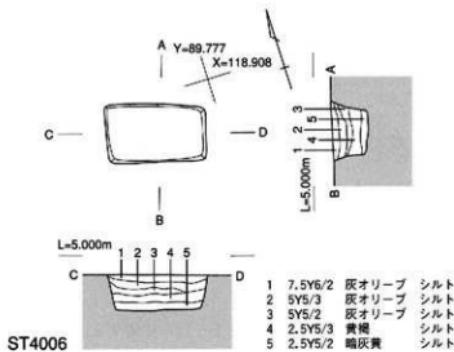
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-I、小グリッド A-17に位置する。

規模と形状

検出長2.90m、最大幅1.40m、最大深度0.55m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。全て灰オリーブ色を呈するシルト層である。



第153図 南区（2004年度3区）ST4006・ST4007平・断面図

(10) 2004年度3区(第5造構面)

溝 (SD5001) (第155図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA-14に位置する。

規模と形状

検出長2.00m、最大幅0.40m、最大深度0.07mの溝である。

土層

造構の堆積土は灰色を呈する砂質土による単一層である。

溝 (SD5002) (第155図)

位置

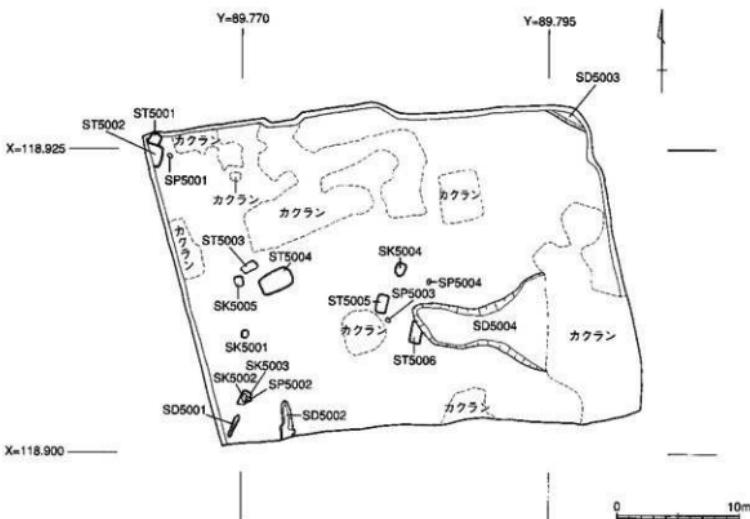
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドA-15に位置する。

規模と形状

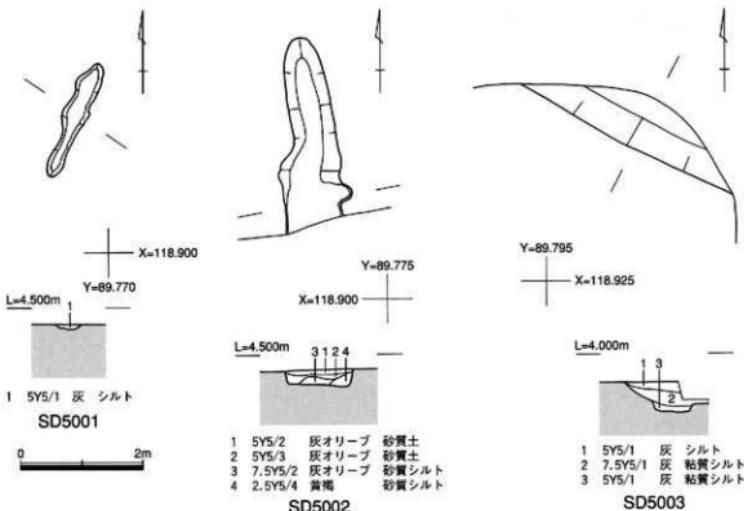
検出長3.05m、最大幅1.10m、最大深度0.27mの溝である。

土層

造構の堆積土は4層に分層した。1、2層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。3層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。4層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。



第154図 南区(2004年度3区) 第5造構面 調査区造構平面図



第155図 南区(2004年度3区) SD5001・SD5002・SD5003平・断面図

溝 (SD5003) (第155図)

位置

大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドF-20に位置する。

規模と形状

検出長3.40m、最大幅0.88m、最大深度0.50mの溝である。

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層は灰色を呈するシルト層である。2、3層は灰色を呈する粘質シルト層である。

溝 (SD5004) (第156図)

位置

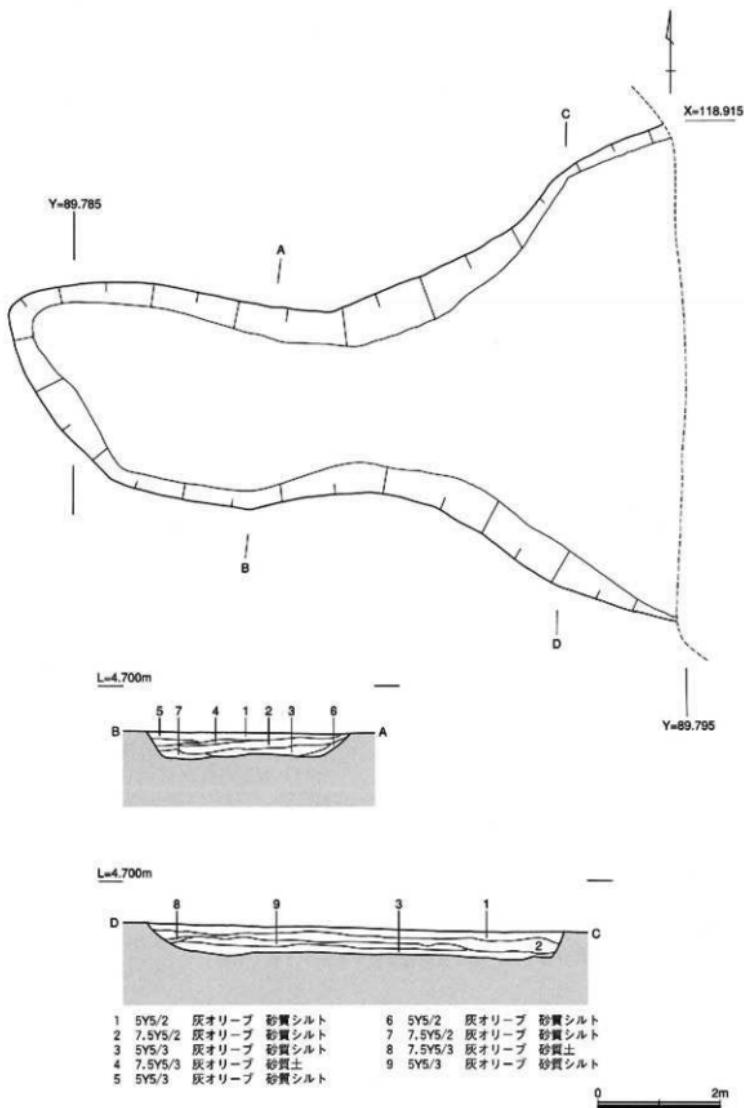
大グリッドLoc.F-1、中グリッドe-III、小グリッドB、C-17~19に位置する。

規模と形状

検出長11.00m、最大幅7.70m、最大深度0.50mの溝である。

土層

造構の堆積土は9層に分層した。1層～3層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。4層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。5層～7層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。8層は灰オリーブ色を呈する砂質土層である。9層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。



第156図 南区（2004年度3区）SD5004平・断面図

土坑（SK5001）（第157図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド B-15に位置する。

規模と形状

検出長0.71m、最大幅0.56m、最大深度0.25m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。

土坑（SK5002）（第157図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長0.58m、最大幅0.50m、最大深度0.08m の平面形が、いびつな五角形である。

土層

遺構の堆積土は2層に分層した。1層はオリーブ色を呈する砂質シルト層である。2層は灰色を呈する砂質土層である。

土坑（SK5003）（第157図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長1.20m、最大幅0.81m、最大深度0.14m の平面形が、いびつな六角形である。

土層

遺構の堆積土は灰色を呈する砂質シルトによる單一層である。

土坑（SK5004）（第158図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド D-17に位置する。

規模と形状

検出長1.13m、最大幅0.78m、最大深度0.37m の楕円形である。

土層

遺構の堆積土は3層に分層した。全て黄褐色を呈するシルト層である。

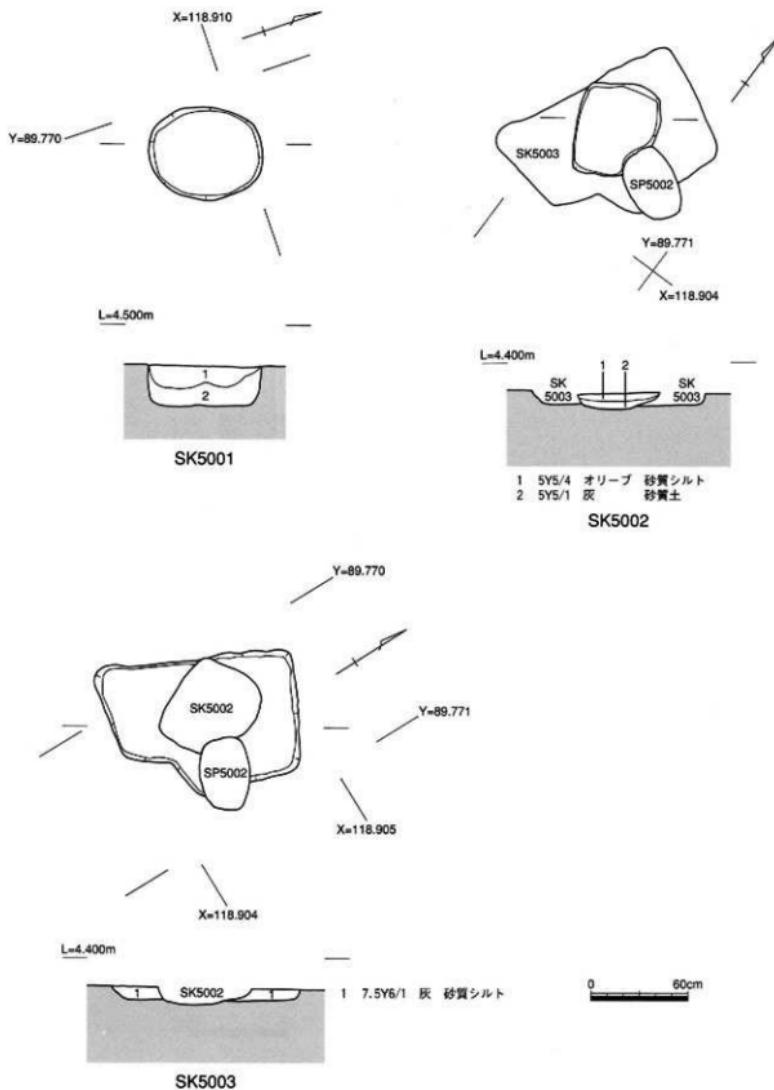
土坑（SK5005）（第158図）

位置

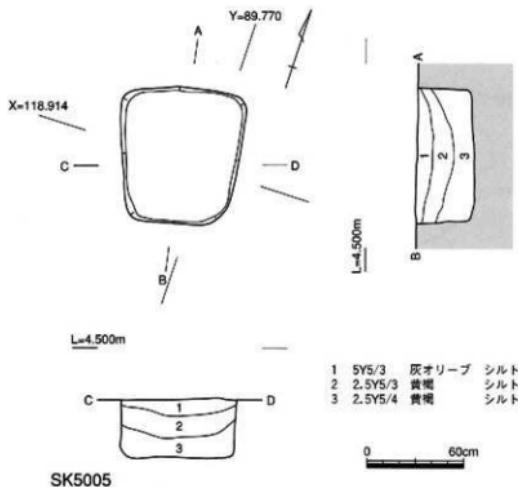
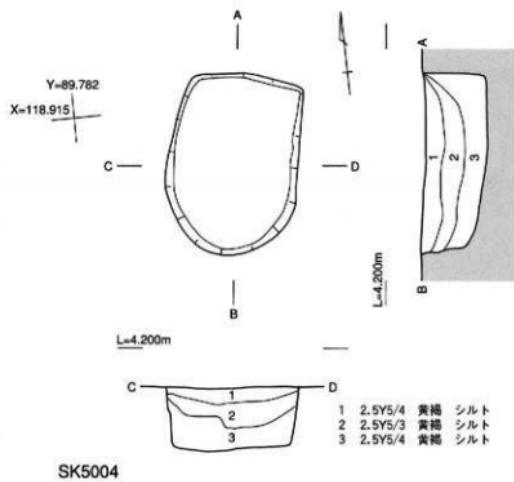
大グリッド Loc.F-1、中グリッド ε-III、小グリッド C-14に位置する。

規模と形状

検出長0.83m、最大幅0.71m、最大深度0.35m の四角形である。



第157図 南区（2004年度3区）SK5001・SK5002・SK5003平・断面図



第158図 南区（2004年度3区）SK5004・SK5005平・断面図

土層

造構の堆積土は3層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層、3層は黄褐色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP5001) (第159図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド E-13に位置する。

規模と形状

検出長0.52m、最大幅0.36m、最大深度0.18m の楕円形である。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。

柱穴 (SP5002) (第159図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド A-15に位置する。

規模と形状

検出長0.46m、最大幅0.30m、最大深度0.07m の楕円形である。

土層

造構の堆積土は灰オリーブ色を呈する砂質シルトによる單一層である。

柱穴 (SP5003) (第159図)

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド C-17に位置する。

規模と形状

検出長0.41m、最大幅0.36m、最大深度0.08m の楕円形である。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈するシルト層である。

柱穴 (SP5004) (第159図)

位置

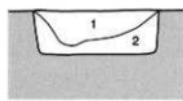
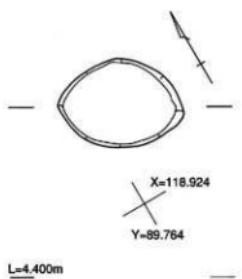
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド C-18に位置する。

規模と形状

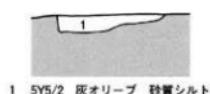
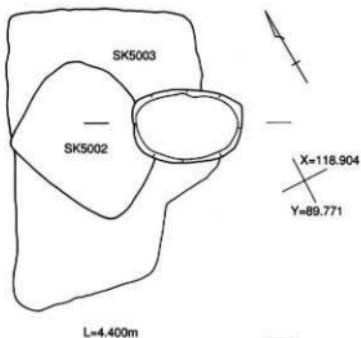
検出長0.45m、最大幅0.33m、最大深度0.28m の楕円形である。

土層

造構の堆積土は2層に分層した。

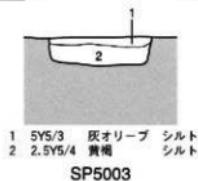
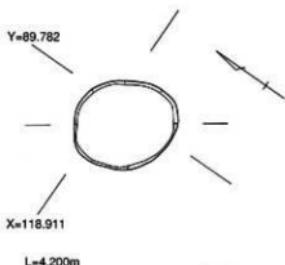


SP5001



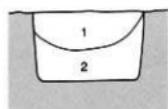
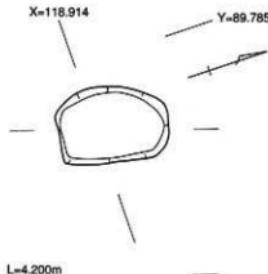
1 SYS/2 灰オリーブ 砂質シルト

SP5002



1 SYS/3 灰オリーブ シルト
2 2.5YS/4 黄褐 シルト

SP5003



SP5004

0 50cm

第159図 南区（2004年度3区）SP5001・SP5002・SP5003・SP5004平・断面図

土壌墓（ST5001）（第160図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド F-13に位置する。

規模と形状

検出長0.95m、最大幅0.93m、最大深度0.97m の正方形である。

土層

遺構の堆積土は7層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2、3層は黄褐色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層は黄褐色を呈するシルト層である。6層、7層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。

土壌墓（ST5002）（第160図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド E-13に位置する。

規模と形状

検出長1.45m、最大幅1.40m、最大深度1.01m の台形である。

土層

遺構の堆積土は6層に分層した。1層～4層は黄褐色を呈するシルト層である。5層は灰オリーブ色を呈する砂質シルト層である。6層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。

土壌墓（ST5003）（第160図）

位置

大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド D-15に位置する。

規模と形状

検出長1.60m、最大幅0.85m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層～5層は黄褐色を呈するシルト層である。

土壌墓（ST5004）（第160図）

位置

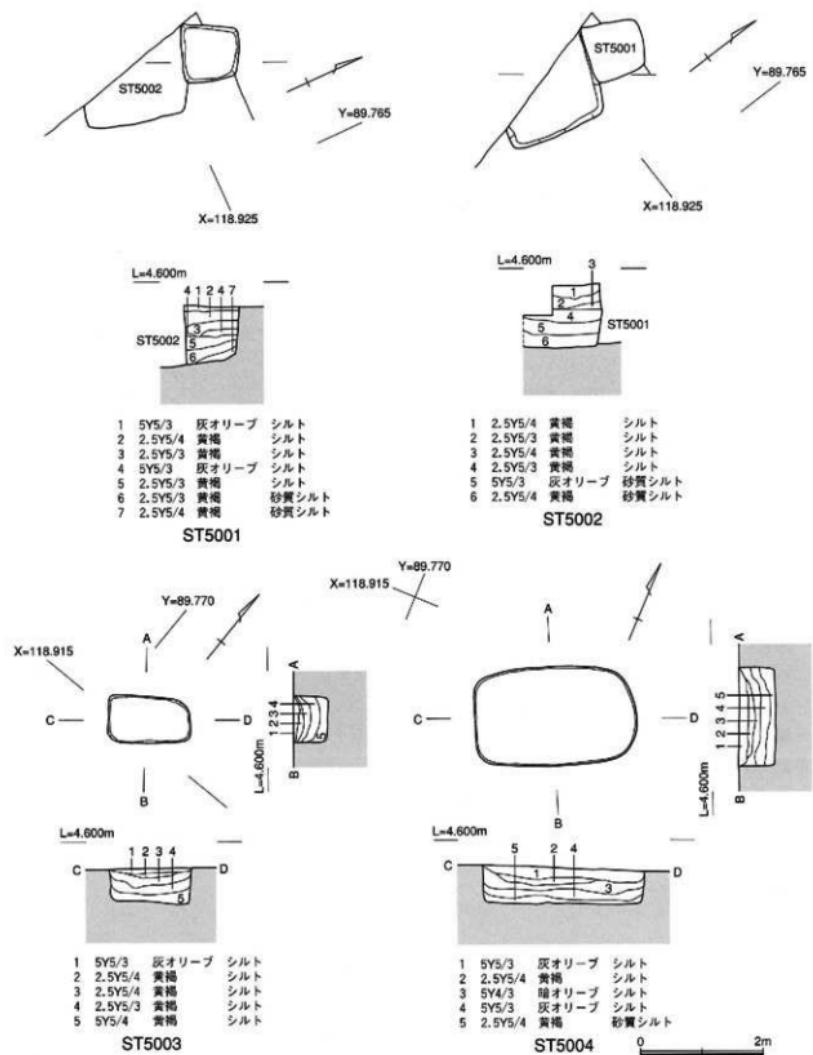
大グリッド Loc.F-1、中グリッド e-III、小グリッド C-15に位置する。

規模と形状

検出長2.62m、最大幅1.60m、最大深度0.60m の長方形である。

土層

遺構の堆積土は5層に分層した。1層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。2層は黄褐色を呈するシルト層である。3層は暗オリーブ色を呈するシルト層である。4層は灰オリーブ色を呈するシルト層である。5層は黄褐色を呈する砂質シルト層である。



第160図 南区（2004年3区）ST5001・ST5002・ST5003・ST5004平・断面図